

平成 30 年度
学生生活実態調査
報 告 書

平成 3 1 年 3 月
大 阪 体 育 大 学

はじめに

この調査は、授業・学習の状況、食事状況、アルバイトの状況など学生生活の現状及び大学への意見・要望などを幅広く把握する目的で全学部学生を対象に実施しました。

今回の調査は、全学生の9割近くの学生からの調査回答を得ることができました。これは、必修科目の担当教員、演習科目の担当教員の方々の協力によるものです。この調査結果では、前回調査結果との比較を行いながらまとめています。この報告書を参考に、関係の方々には学生の現状を確認頂き、今後の学生への指導、対応に役立てて頂ければ幸いです。

大学においても、学生がより有意義な学生生活を過ごせるよう、大学として取り組むべき課題解決方策実現に向けての基礎的資料として活用して頂きたいと思えます。

最後に、調査実施に協力に頂いた学生諸君及び教員諸氏並びに報告書作成にご尽力頂いた学生委員会の先生方、その他調査にご協力頂いた関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

平成31年3月

大阪体育大学 学生委員会

委員長 岡崎 均

副委員長 池島 明子

－ 目 次 －

I 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査設計	2
4. 回収状況	2
5. 報告書の見方	2

II 調査結果

1. 基本項目	3
2. 住居と暮らしについて	5
3. 授業・学習について	15
4. 課外活動等について	29
5. 健康等について	33
6. 不安や悩みについて	42
7. マナー等について	46
8. 進路と就職について	51
9. ボランティア活動について	65
10. 大学施設等について	72
11. 大学への意見・要望	84

III 資料

調査票	87
-----	----

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、大阪体育大学に在籍する学生を対象として、生活状況や学業などについて意見を聞き、学生生活を送る上でよりよいキャンパスづくりに役立てるとともに、今後の学生を対象とした施設や制度のあり方を検討する際の参考とすることを目的としている。

2. 調査項目

調査項目	質問項目
1. 基本項目	◆ F 1. ①所属学部・学科 ②年次 ③性別 ④入学方法 ⑤課外活動 ⑥居住形態
2. 住居と暮らしについて	◆問 1. 家賃等 ◆問 2. 大学への通学方法 ◆問 3. 通学時間 ◆問 4. 通学中の事故の経験 ◆問 4-1. 事故の内容 ◆問 5. 1ヶ月平均の生活費 ◆問 6. 家族からもらう1ヶ月平均の金額 ◆問 7. アルバイトの週平均労働時間数 ◆問 7-1. アルバイトの時間帯 ◆問 8. アルバイトの月平均収入 ◆問 9. アルバイトをする理由 ◆問 10. アルバイトが理由での授業の欠席経験
3. 授業・学習について	◆問 11. カリキュラム・時間割について ◆問 12. 授業の出席状況 ◆問 13. 授業内容の理解度 ◆問 13-1. 理解困難な理由 ◆問 14. 自習時間について ◆問 15. 学習支援室の利用状況 ◆問 16. 通信機器の所有状況 ◆問 17. 大学でのパソコンの利用目的 ◆問 18. 大学でのパソコンの主な利用場所 ◆問 19. 大阪体育大学のGoogleポータルサイトの認知度 ◆問 20. Gmailの利用状況 ◆問 21. Campusmateポータルサイトの認知度 ◆問 22. 大学の情報を見るための利用媒体
4. 課外活動等について	◆問 23. 学内の課外活動の参加状況 ◆問 23-1. 課外活動の活動時間 ◆問 23-2. 課外活動の不参加理由 ◆問 24. 大学祭(雨山祭)の参加状況 ◆問 24-1. 大学祭(雨山祭)の不参加理由
5. 健康等について	◆問 25. 朝食の摂食状況 ◆問 25-1. 朝食の摂食場所 ◆問 26. 三食の栄養摂取状況 ◆問 27. 食生活について ◆問 27-1. 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由 ◆問 28. 100円朝食の利用状況 ◆問 28-1. 100円朝食について感じたこと ◆問 29. タバコ喫煙状況 ◆問 29-1. 喫煙開始時期 ◆問 29-2. 喫煙のきっかけ ◆問 29-3. 禁煙経験の有無 ◆問 29-4. 学内が全面禁煙になった場合の対応 ◆問 30. 喫煙・禁煙について
6. 不安や悩みについて	◆問 31. 悩みや課題の有無 ◆問 32. 悩みや課題の具体的内容 ◆問 33. 悩みの相談相手 ◆問 34. 学生相談室について
7. マナー等について	◆問 35. マナーアップキャンペーンの参加状況 ◆問 35-1. マナーアップキャンペーンに5回参加したら「活動参加証明書」をもらえることについての認知度 ◆問 36. 学生のマナーが悪いと思うもの ◆問 37. 学内での被害の経験
8. 進路と就職について	◆問 38. 進路について ◆問 39. 進路を考える上での情報入手手段 ◆問 40. 将来の希望職種 ◆問 41. キャリア支援センターの利用状況 ◆問 41-1. キャリア支援センター利用の方法 ◆問 41-2. キャリア支援センターを利用していない理由 ◆問 42. 教職支援センターの利用状況 ◆問 42-1. 教職支援センター利用の方法 ◆問 42-2. 教職支援センターを利用していない理由

◆◇ I 調査の概要 ◇◆

調査項目	質問項目
9. ボランティア活動について	◆問 43. ボランティア活動の経験 ◆問 43-1. ボランティア活動の経験がない理由 ◆問 44. ボランティア活動への興味・関心 ◆問 44-1. 参加を希望するボランティア活動内容 ◆問 45. ボランティア活動に関する大学での取り扱い
10. 大学施設等について	◆問 46. 大学内で昼食時に利用する施設 ◆問 47. 大学内で空き時間に利用する施設 ◆問 48. 図書館利用について ◆問 48-1. 新聞の閲読について ◆問 48-2. 読書について ◆問 49. トレーニングルームの利用状況 ◆問 49-1. 1 週間のトレーニングルームの利用時間 ◆問 50. 大学の施設で気になること ◆問 51. 大学事務局の窓口の対応 ◆問 52. 大阪体育大学の学生生活の満足度
11. 大学への意見・要望	

3. 調査設計

調査対象	学部学生全員
調査方法	授業時に指導教員による直接配布・回収（一部、窓口提出による回収）
調査期間	平成30年10月30日～平成30年11月30日

4. 回収状況

学部・研究科	対象学生数	有効回収数	有効回収率
体育学部 / スポーツ教育学科	1,306	1,135	86.9%
体育学部 / 健康・スポーツマネジメント学科	818	721	88.1%
教育学部 / 教育学科小学校教育コース	334	284	85.0%
教育学部 / 教育学科保健体育教育コース	234	194	82.9%
所属学部・学科不明 *1)		44	
合計	2,692	2,378	88.3%

*1) 所属学部・学科不明：所属学部・学科の設問が無回答の件数

*過年度調査で記載している「健康福祉学部 健康福祉学科」は平成29年度をもって閉学している。

5. 報告書の見方

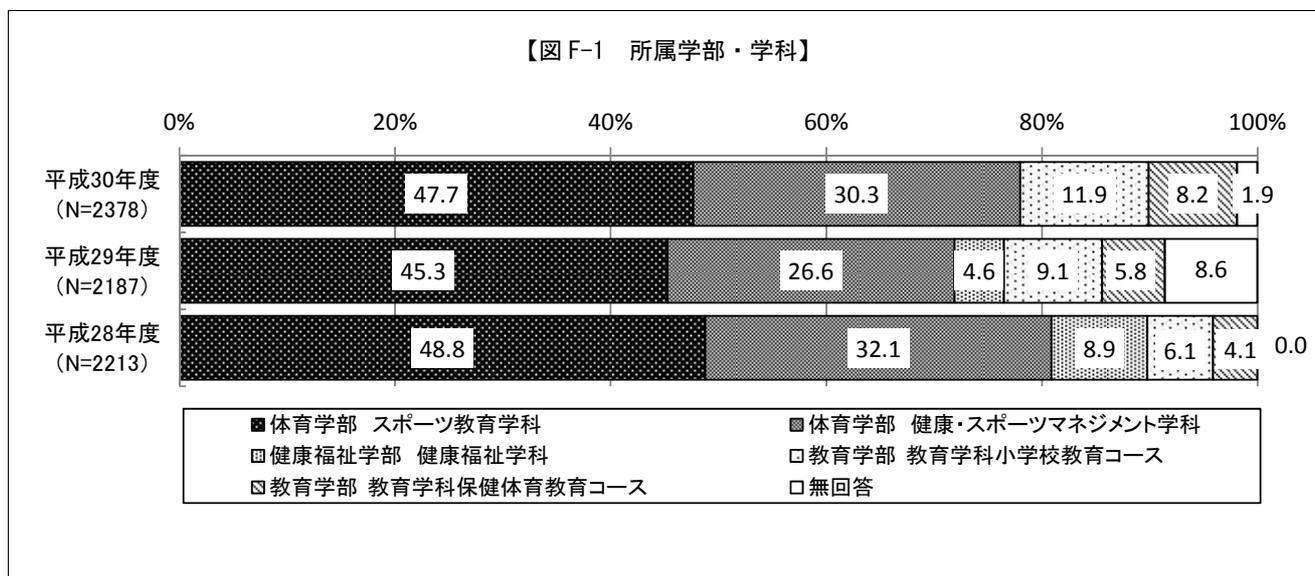
(1) 図中のN (Number of case) は、設問に対する回答者数のことである。

(2) 回答比率 (%) は回答者数 (N) を 100% として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、一人の回答者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は 100.0% を超える。

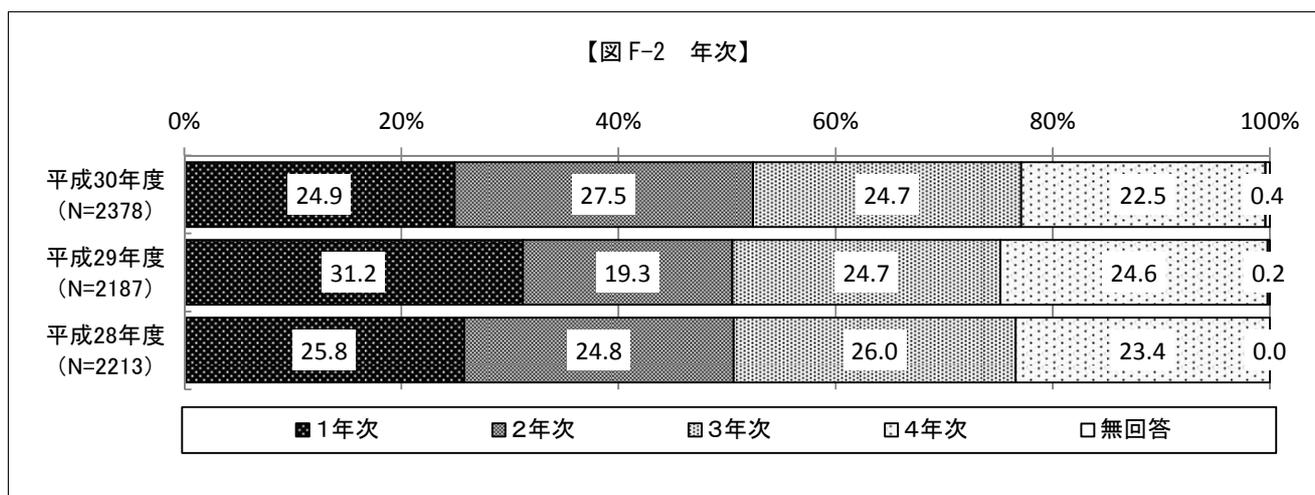
Ⅱ 調査結果

1. 基本項目

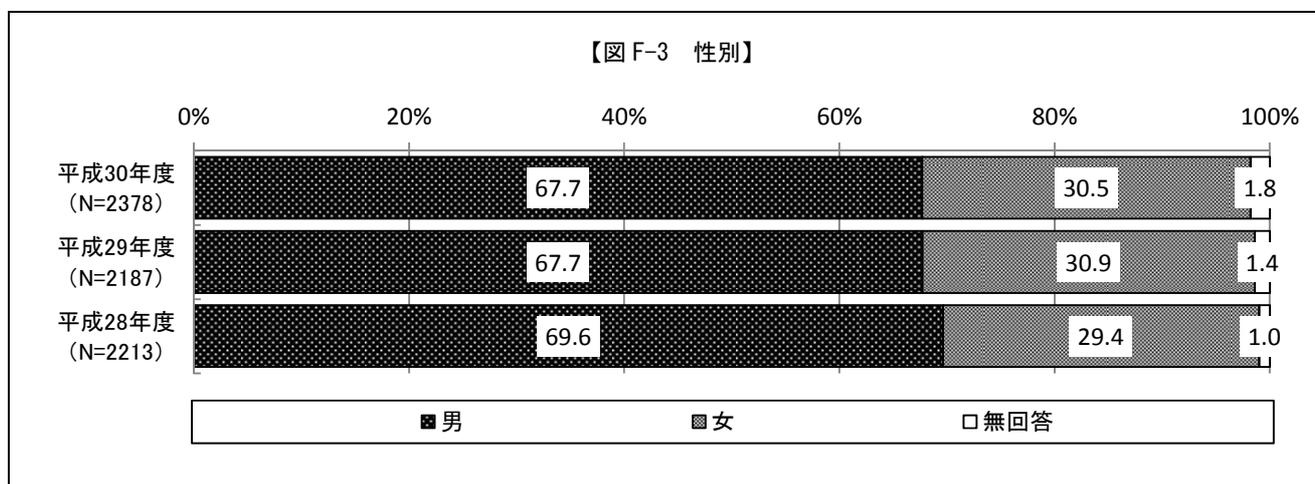
■①所属学部・学科



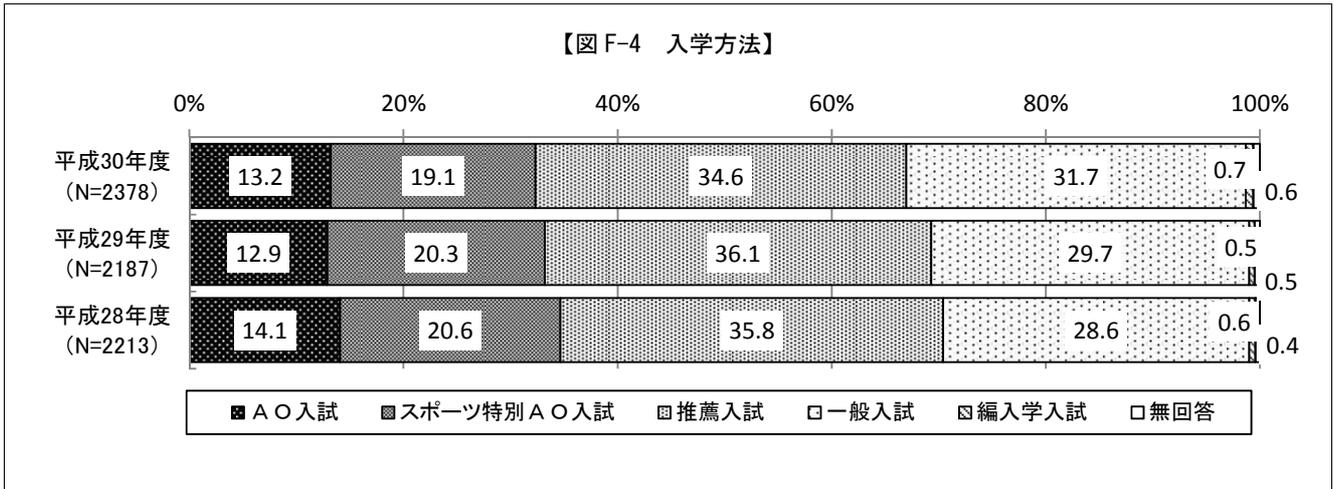
■②年次



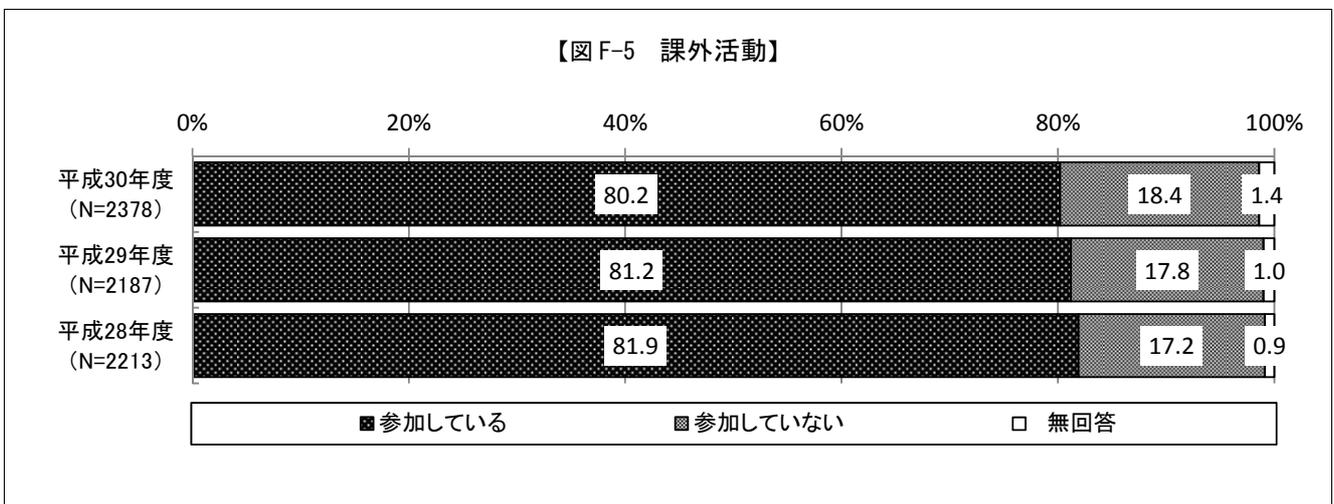
■③性別



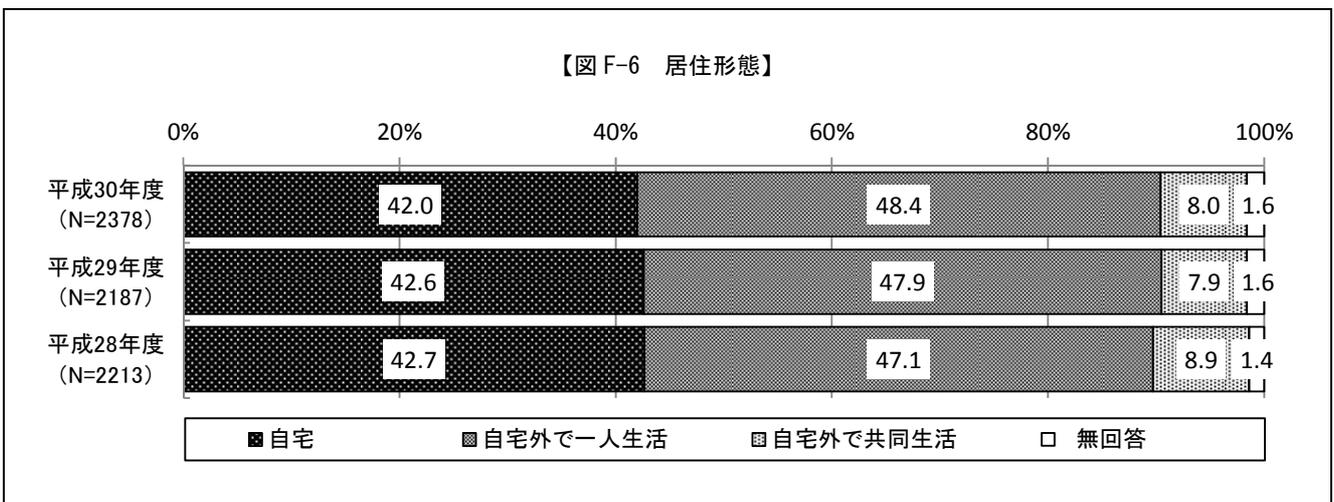
■④入学方法



■⑤課外活動



■⑥居住形態



2. 住居と暮らしについて

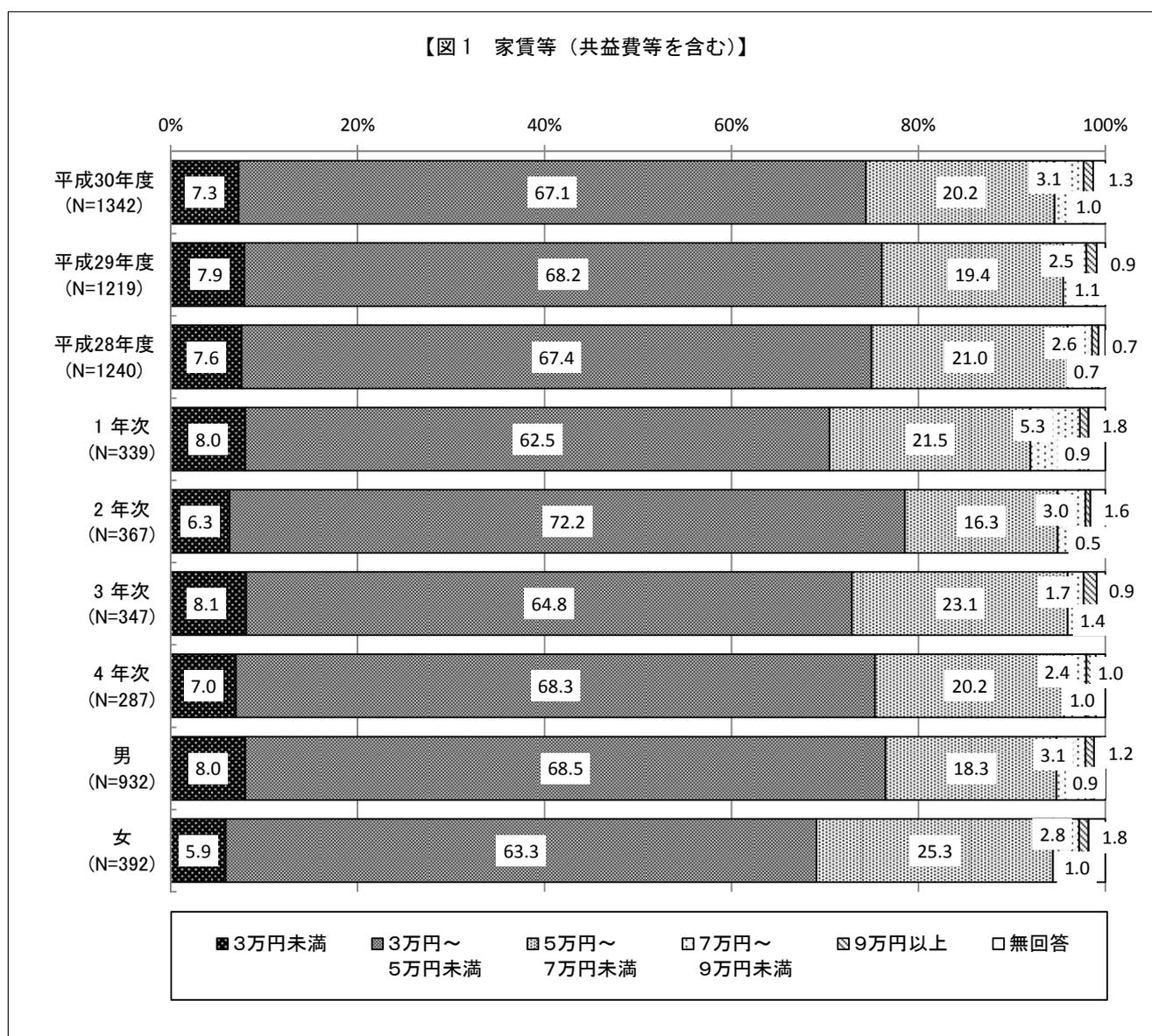
【結果概要（問1）】

問1. 自宅外で居住の場合の家賃等（共益費等を含む）は、「3万円～5万円未満」が67.1%と最も多く、「3万円未満」の7.3%と合わせると5万円未満は74.4%となっている。

平成30年度、平成29年度、平成28年度調査（以後、「今回調査」、「前回調査」、「前々回調査」とする）で比べると、「3万円～5万円未満」は前回調査（68.2%）に比べ1.1ポイント低下したが、各年度ともに大きな差はみられない。

性別でみると、「5万円未満」は男性が76.5%（8.0%+68.5%）に対し、女性は69.2%（5.9%+63.3%）と男性の方が7.3ポイント高くなっている。<図1>

■問1. 家賃等（共益費等を含む）（過年度調査・年次別・性別）

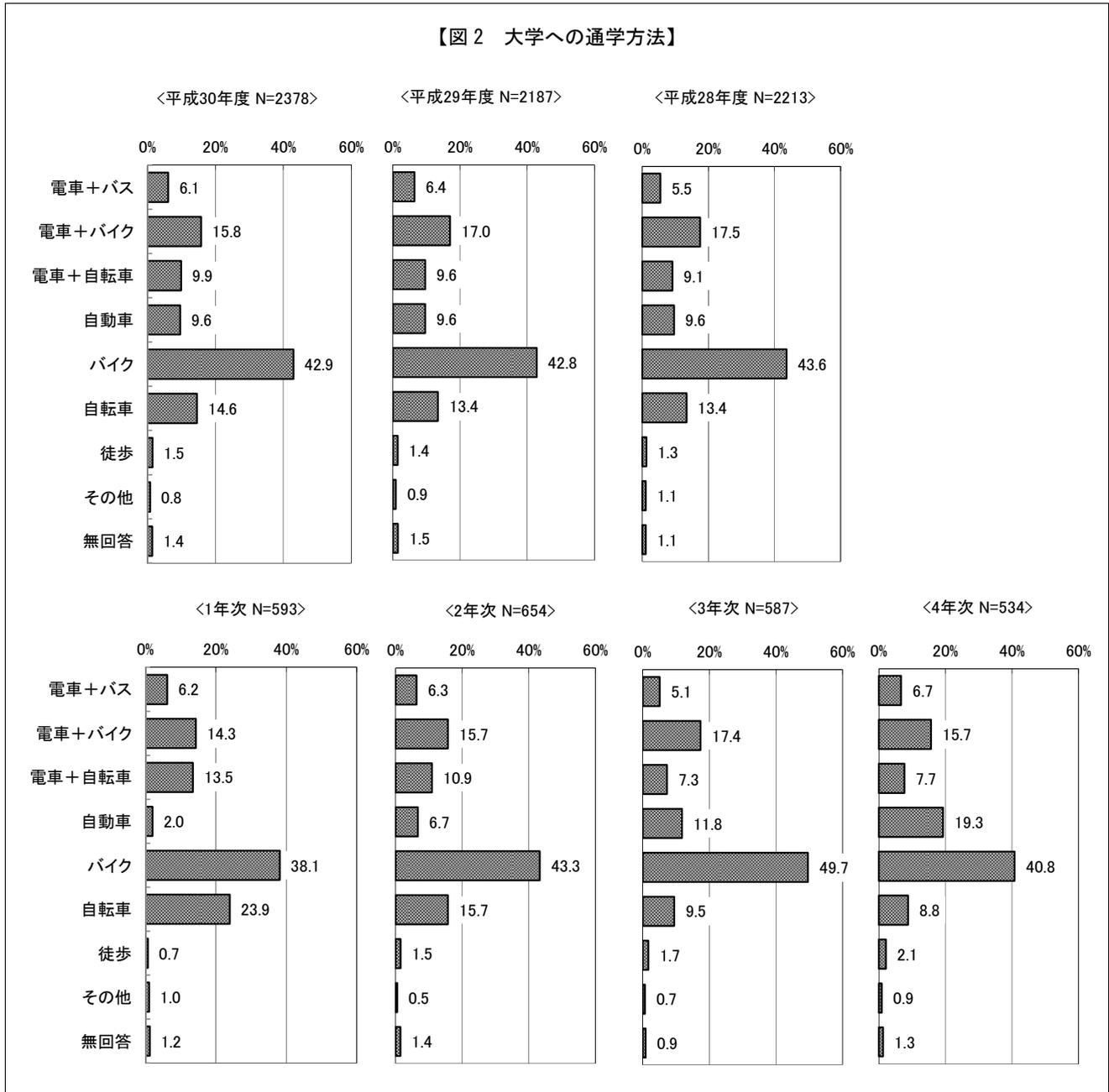


【結果概要（問2）】

問2. 大学への通学方法としては「バイク」が42.9%で最も多く、次いで「電車+バイク」が15.8%、「自転車」が14.6%となっている。

年次別でみると、「自動車」は年次が上がるほど多くなり、1年次の2.0%に対して4年次では19.3%となっている。一方、「自転車」は年次が上がるほど低くなっている。＜図2＞

■問2. 大学への通学方法（過年度調査・年次別）



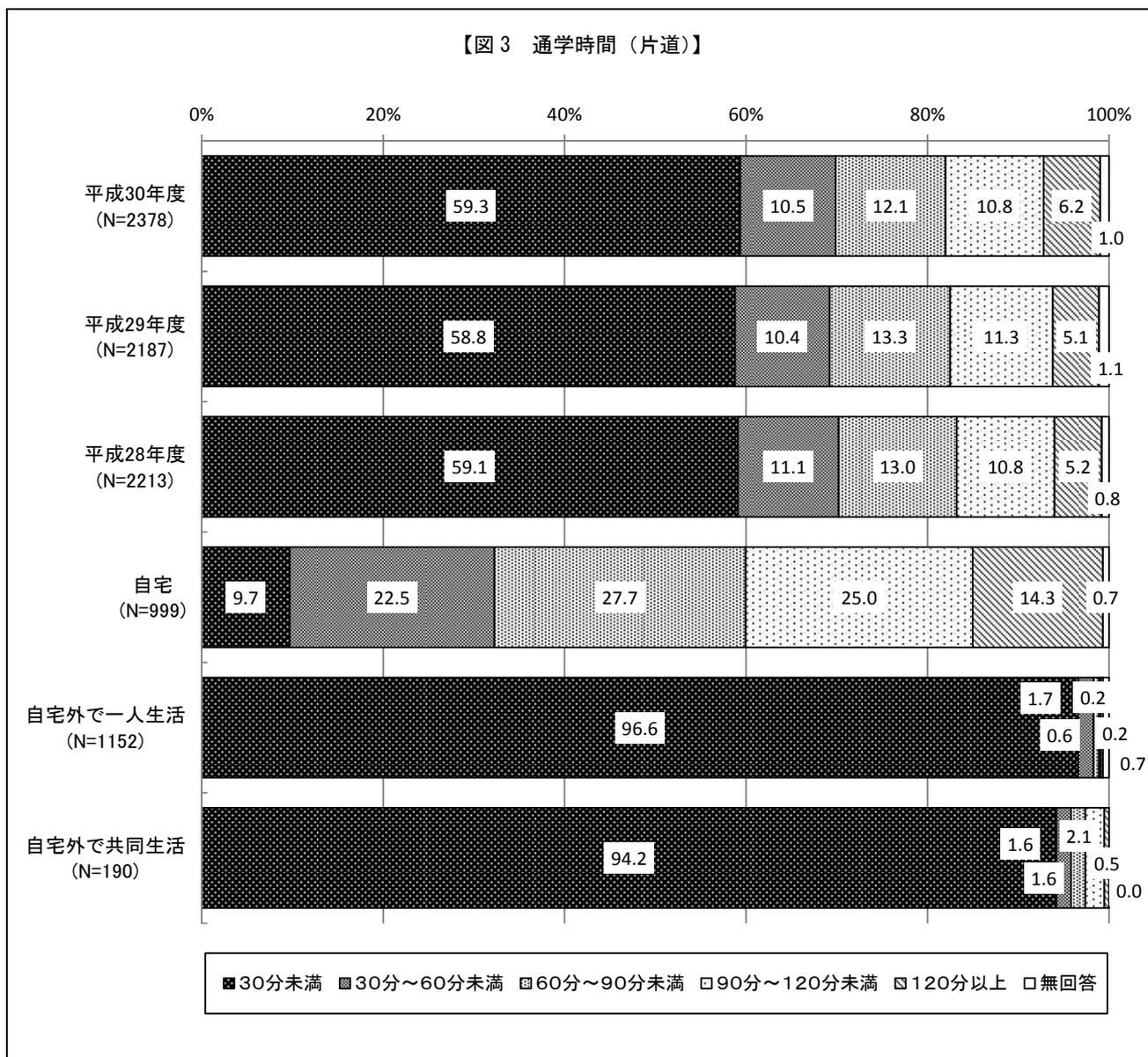
【結果概要（問3）】

問3. 通学時間は、「30分未満」が59.3%と約6割を占めている。

年度別で見ると、「60分未満」は今回調査が69.8%（59.3%+10.5%）に対し前年度が69.2%（58.8%+10.4%）で0.6ポイント増加している。

通学時間を居住形態別にみると、「自宅」からの学生は「60分～90分未満」が27.7%と最も多いが、「自宅外」の学生は9割以上が「30分未満」と大学の近い場所に居住している。＜図3＞

■問3. 通学時間（片道）（過年度調査・居住形態別）

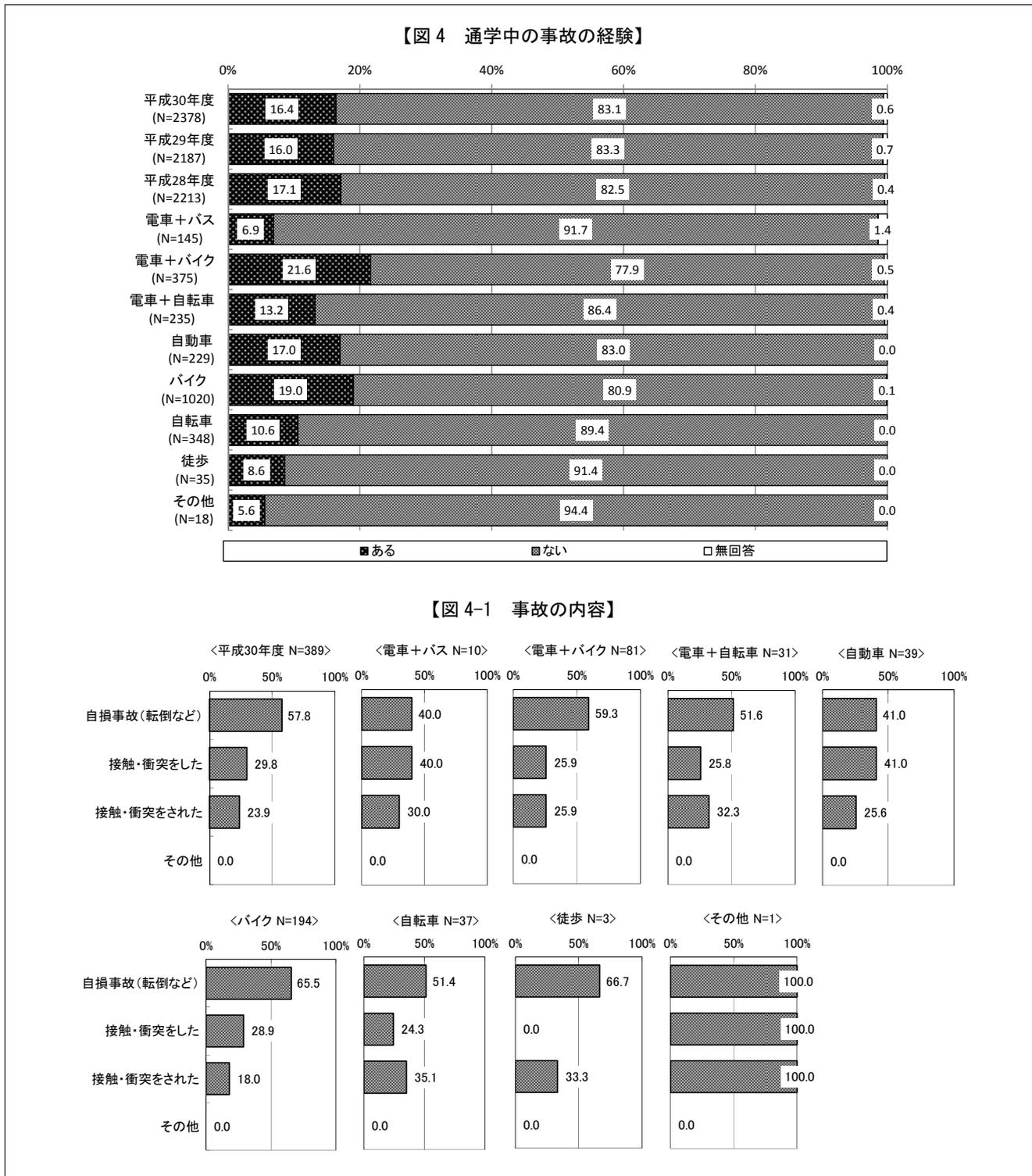


【結果概要（問4・問4-1）】

問4. 通学中の事故の経験の有無としては、「ある」が16.4%となっており、前回調査と比べると「ある」が0.4ポイント増加している。<図4>

問4-1. 通学中の事故の内容としては、「自損事故（転倒など）」が57.8%と最も多く、次いで「接触・衝突をした」が29.8%、「接触・衝突をされた」が23.9%となっている。<図4-1>

■問4・問4-1. 通学中の事故の経験と内容（過年度調査・通学方法別）

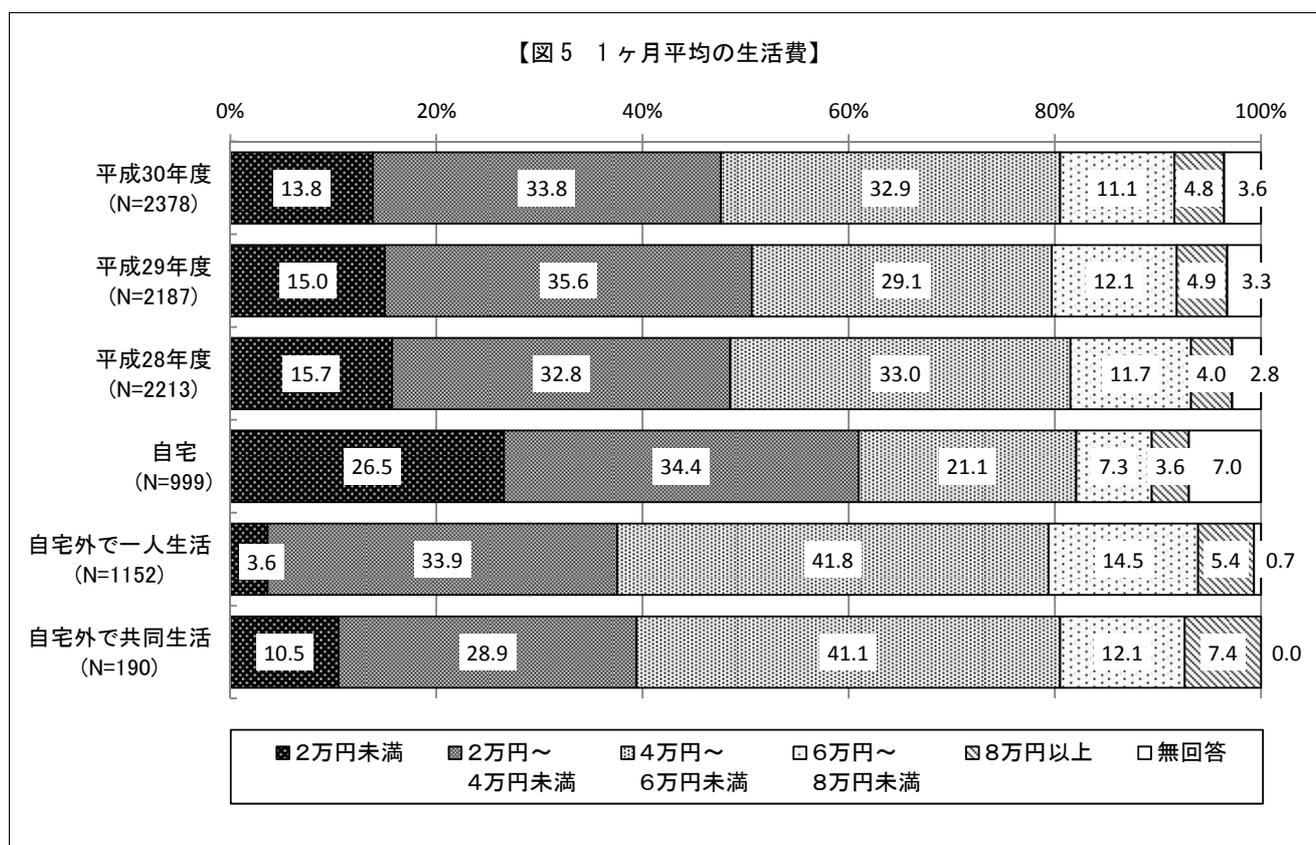


【結果概要（問5）】

問5. 1ヶ月平均の生活費は「2万円～4万円未満」が33.8%で最も多く、「4万円～6万円未満」が32.9%、「2万円未満」が13.8%と続き、全体で80.5%の学生が「6万円未満」となっている。

居住形態別で見ると、「自宅」から通学している学生の「4万円未満」が60.9% (26.5%+34.4%) に対し、「自宅外で一人生活」は37.5% (3.6%+33.9%)、「自宅外で共同生活」は39.4% (10.5%+28.9%) と、「自宅」の学生は全体的に生活費が安くなっている。＜図5＞

■問5. 1ヶ月平均の生活費（過年度調査・居住形態別）

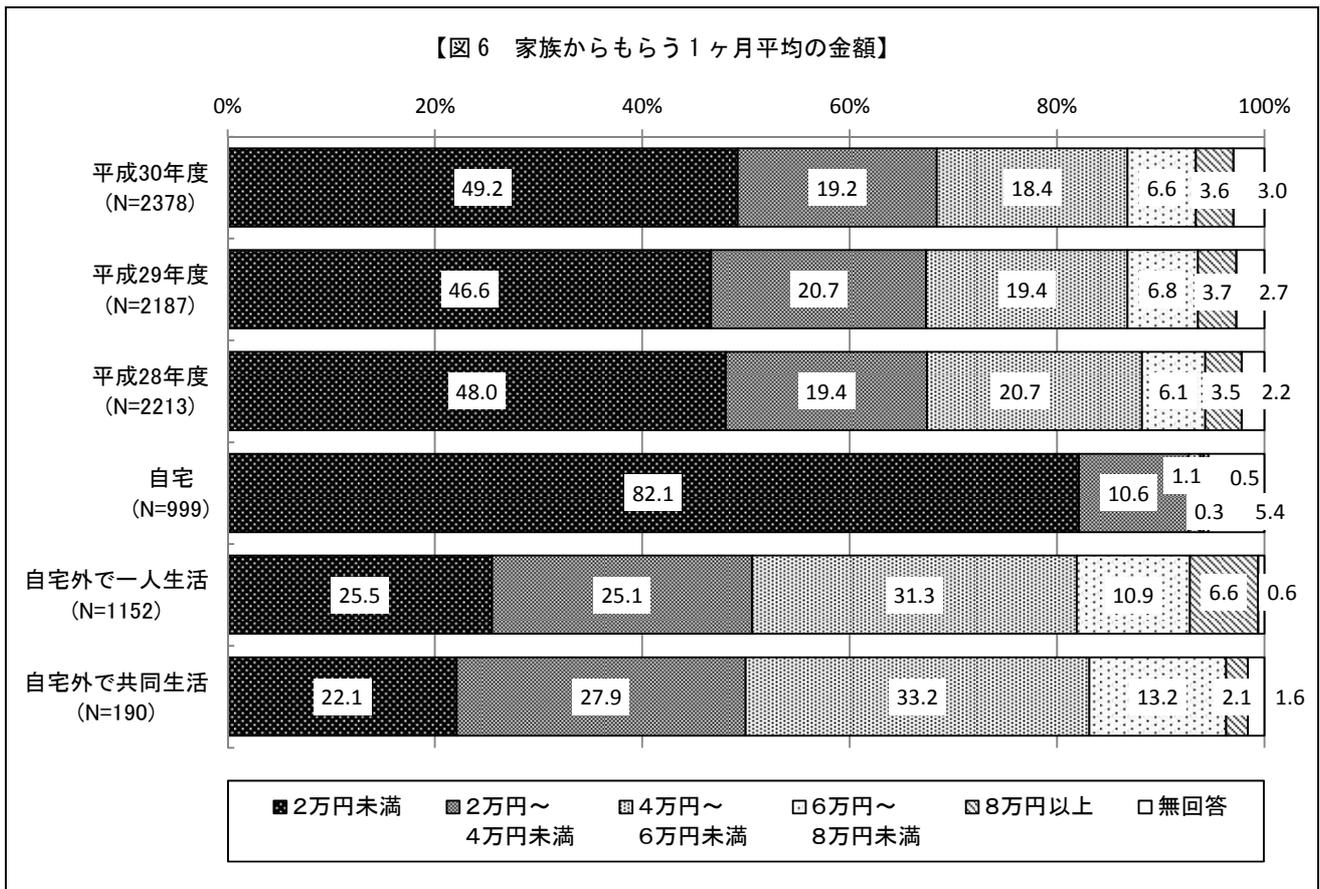


【結果概要（問6）】

問6. 家族からもらう1ヶ月の平均金額は「2万円未満」が49.2%と最も多く、次いで「2万円～4万円未満」が19.2%、「4万円～6万円未満」が18.4%となっている。

居住形態別でみると、「自宅」では「2万円未満」の82.1%が最も多い。しかし、「自宅外」では「4万円～6万円未満」が最も多く、「自宅外で一人生活」は31.3%、「自宅外で共同生活」では33.2%となっている。＜図6＞

■問6. 家族からもらう1ヶ月平均の金額（過年度調査・居住形態別）



【結果概要（問7・7-1）】

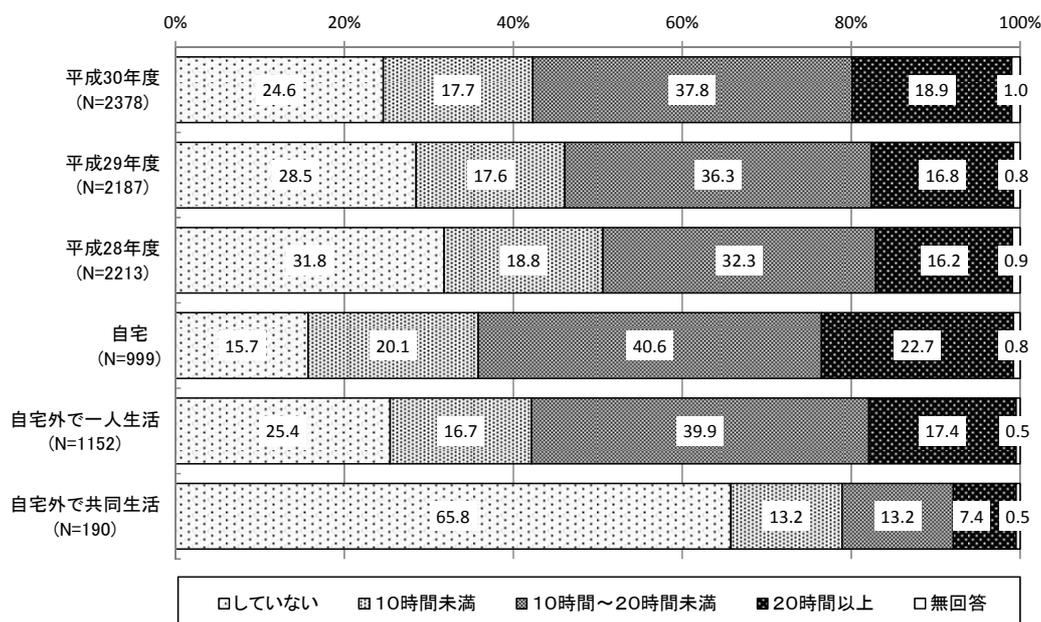
問7. アルバイトの状況としては、「している」が74.4%と全体の7割を占めている。「週平均労働の時間数」は、「10時間～20時間未満」が37.8%と最も多くなっている。＜図7＞

問7-1. アルバイトをしている時間帯としては「夕方～夜」が72.2%と最も多く、次に「深夜から早朝」が16.1%となっている。＜図7-1＞

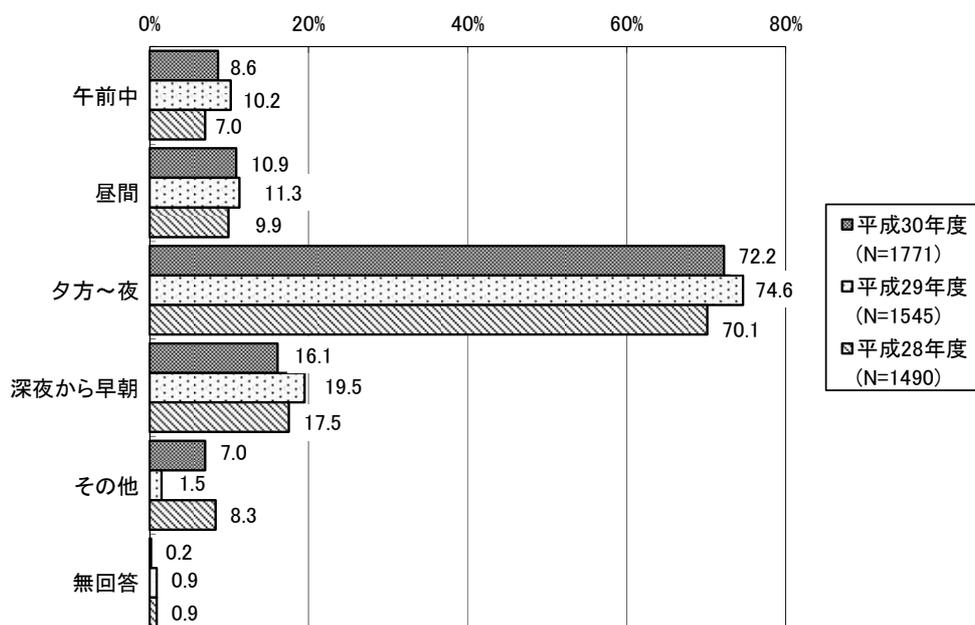
■問7. アルバイトの週平均労働時間数（過年度調査・居住形態別）

■問7-1. アルバイトの時間帯（過年度調査）

【図7 アルバイトの週平均労働時間数】



【図7-1 アルバイトの時間帯】



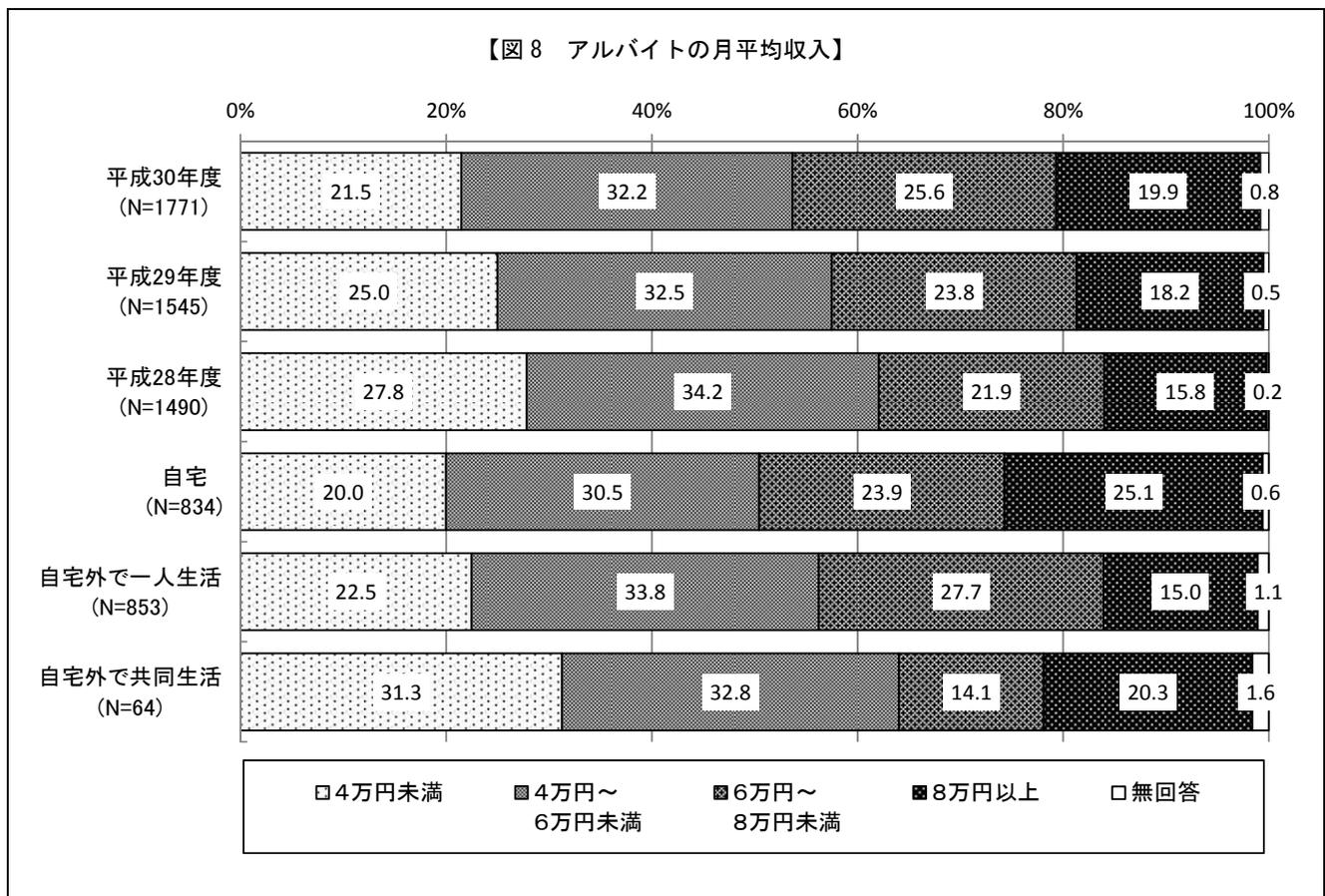
【結果概要（問8）】

問8. アルバイトの月平均収入としては、「4万円～6万円未満」が32.2%と最も多く、次に「6万円～8万円未満」が25.6%となっている。

前回調査、前々回調査と比べると、「4万円未満」が年々減少しており、「6万円～8万円未満」と「8万円以上」が増加している。

居住形態別でみると、全ての居住形態で「4万円～6万円未満」が最も高くなっており、「自宅」は30.5%、「自宅外で一人生活」は33.8%、「自宅外で共同生活」は32.8%となっている。<図8>

■問8. アルバイトの月平均収入（過年度調査・居住形態別）



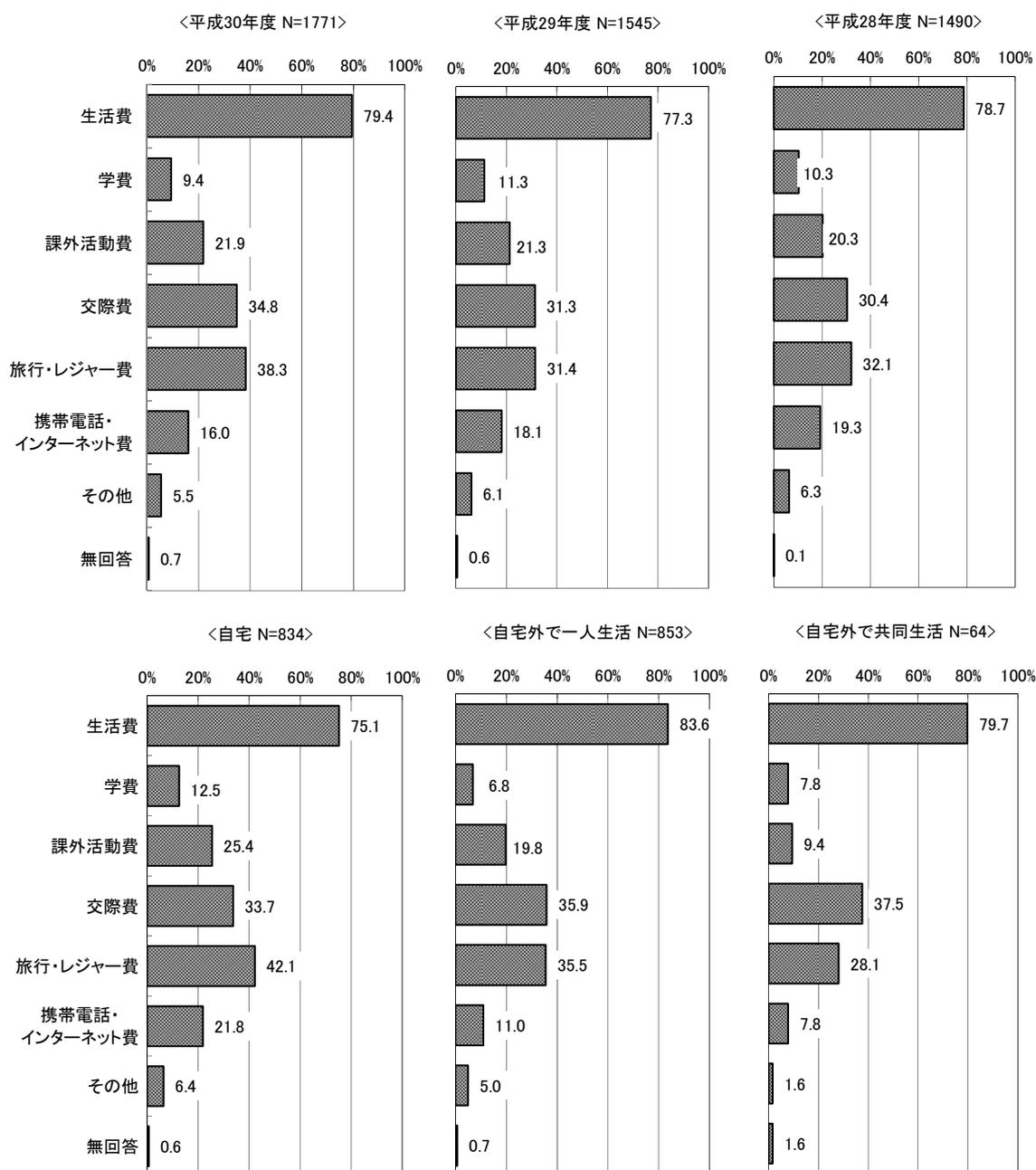
【結果概要（問9）】

問9. アルバイトをする理由としては、「生活費」が79.4%と最も多くなっている。

居住形態別でみると、「自宅」の第2位は「旅行・レジャー費」となっている。しかし、「自宅外で一人生活」と「自宅外で共同生活」では「交際費」が第2位となっている。＜図9＞

■問9. アルバイトをする理由（過年度調査・居住形態別）

【図9 アルバイトをする理由】



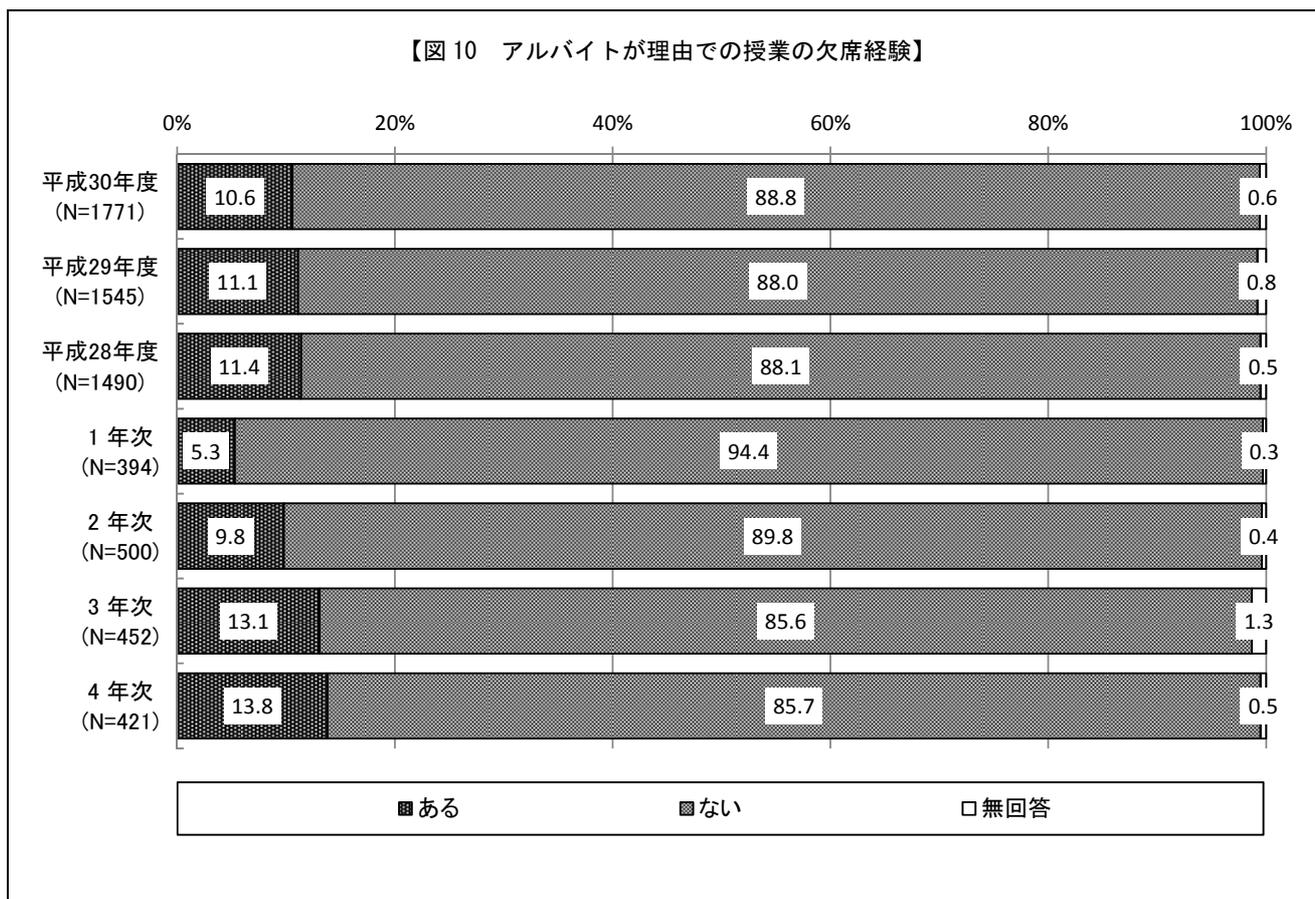
【結果概要（問10）】

問10. アルバイトが原因で授業を欠席したことがある経験は、「ある」の回答は10.6%、「ない」は88.8%となっている。

前回調査と比べると、「ある」はやや減少（-0.5ポイント）している。

年次別でみると、アルバイトが原因で授業を欠席したことが「ある」は年次が上がるほど多くなり、1年次の5.3%に対して4年次では13.8%まで高くなっている。＜図10＞

■問10. アルバイトが理由での授業の欠席経験（過年度調査・年次別）

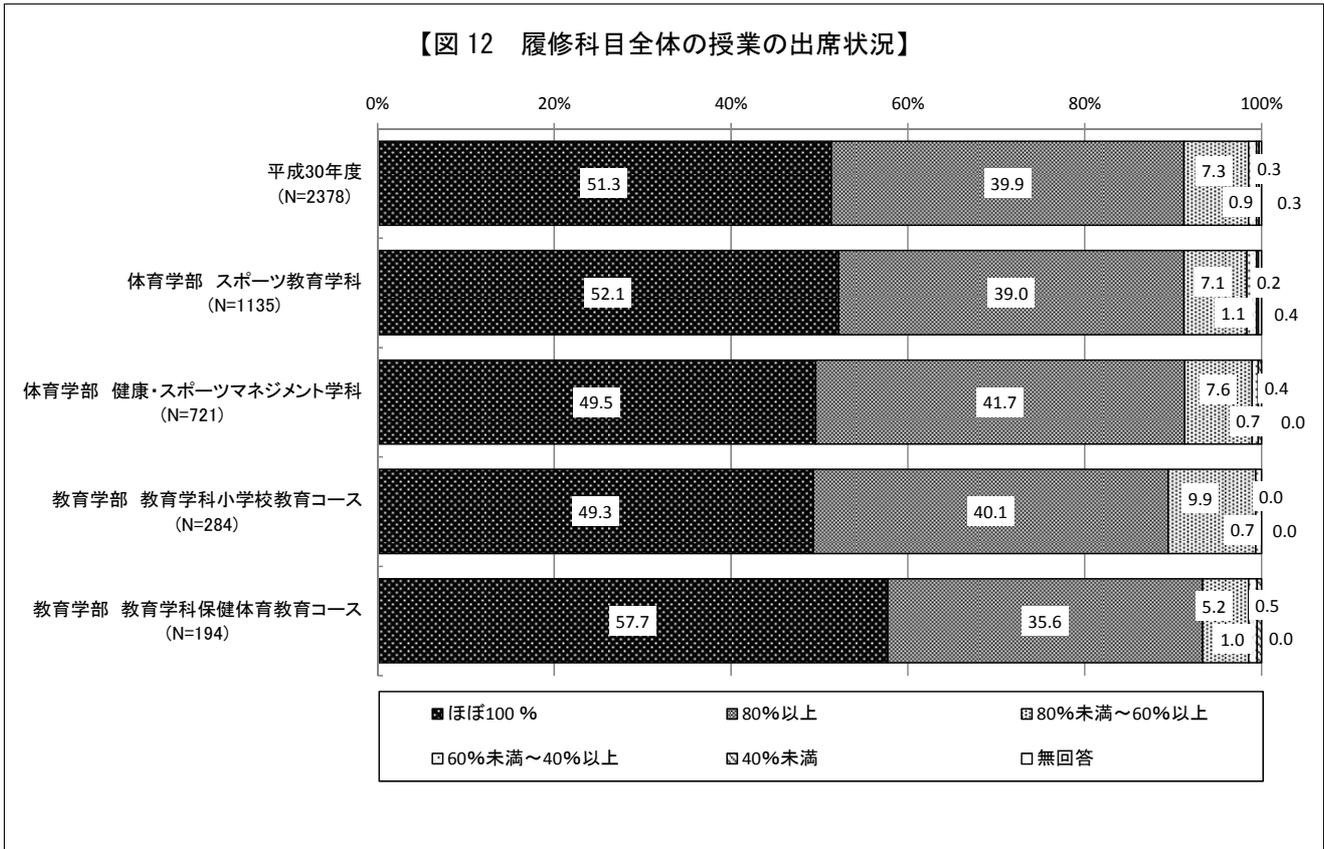


【結果概要（問12）】

問12. 履修科目全体の授業の出席状況の割合は、「ほぼ100%」が51.3%となっており、「80%以上」の39.9%を合わせると91.2%となっている。

所属学部・学科別でみると、「ほぼ100%」は教育学部教育学科保健体育教育コースで57.7%と最も多くなっている。

■問12. 履修科目全体の授業の出席状況（学科別）



【結果概要（問13）】

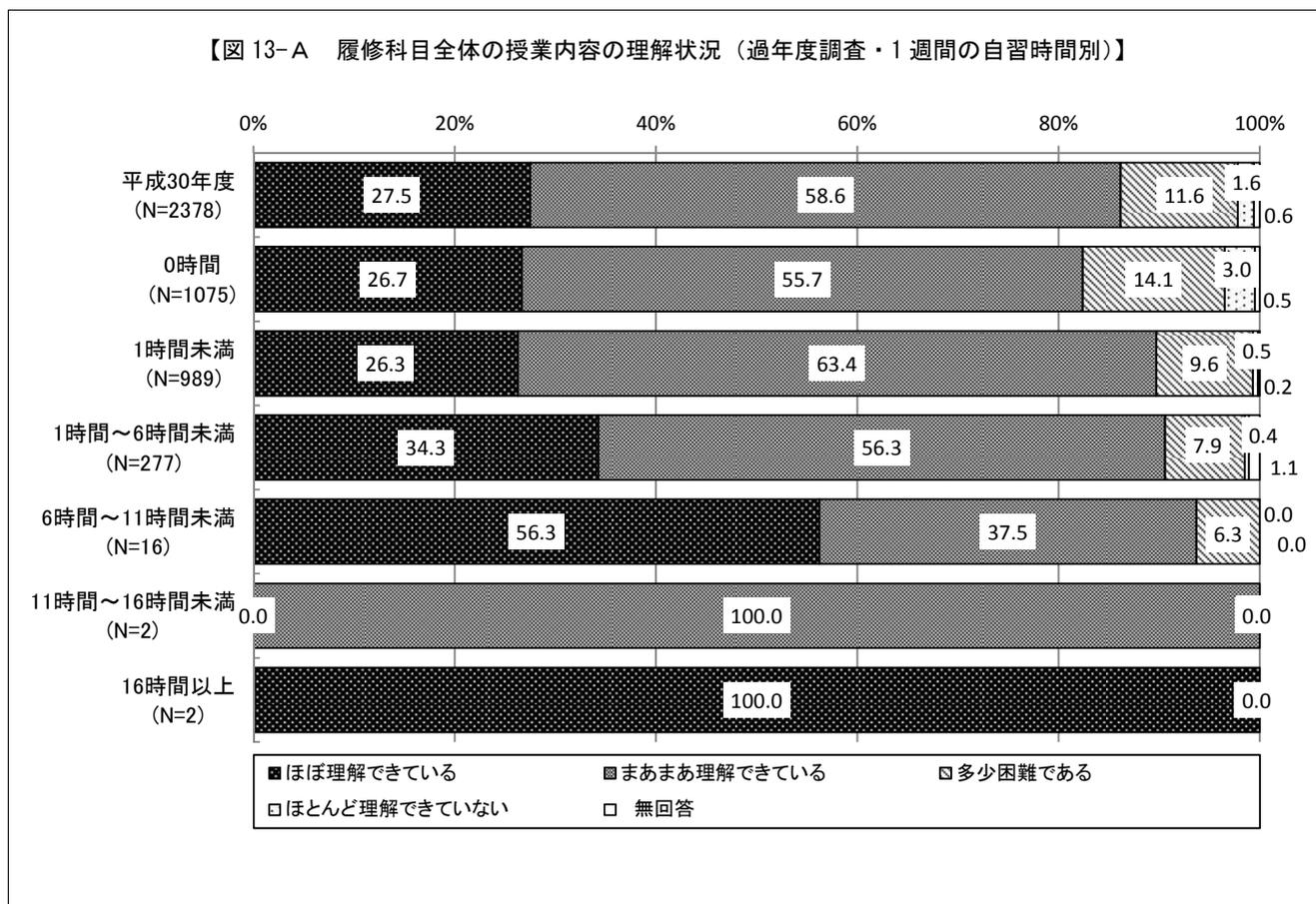
問13. 履修科目全体の授業内容の理解度としては、「まあまあ理解できている」が58.6%と最も多く、「ほぼ理解できている」の27.5%を合わせると86.1%の学生が「授業を理解できている」と回答している。

問14の「1週間あたりの自習時間」とのクロス集計では、「0時間」の学生は「多少困難である」の14.1%と「ほとんど理解できていない」の3.0%を合わせた割合が17.1%と高く、自習時間の重要性があらわれている。＜図13-A＞

問25の「朝食の摂食状況」とのクロス集計では、「ほとんど毎日摂る」の学生は87.8%（29.0%+58.8%）、「摂らない」の学生は84.6%（28.5%+56.1%）と授業内容の理解度にやや差が出ている。＜図13-B＞

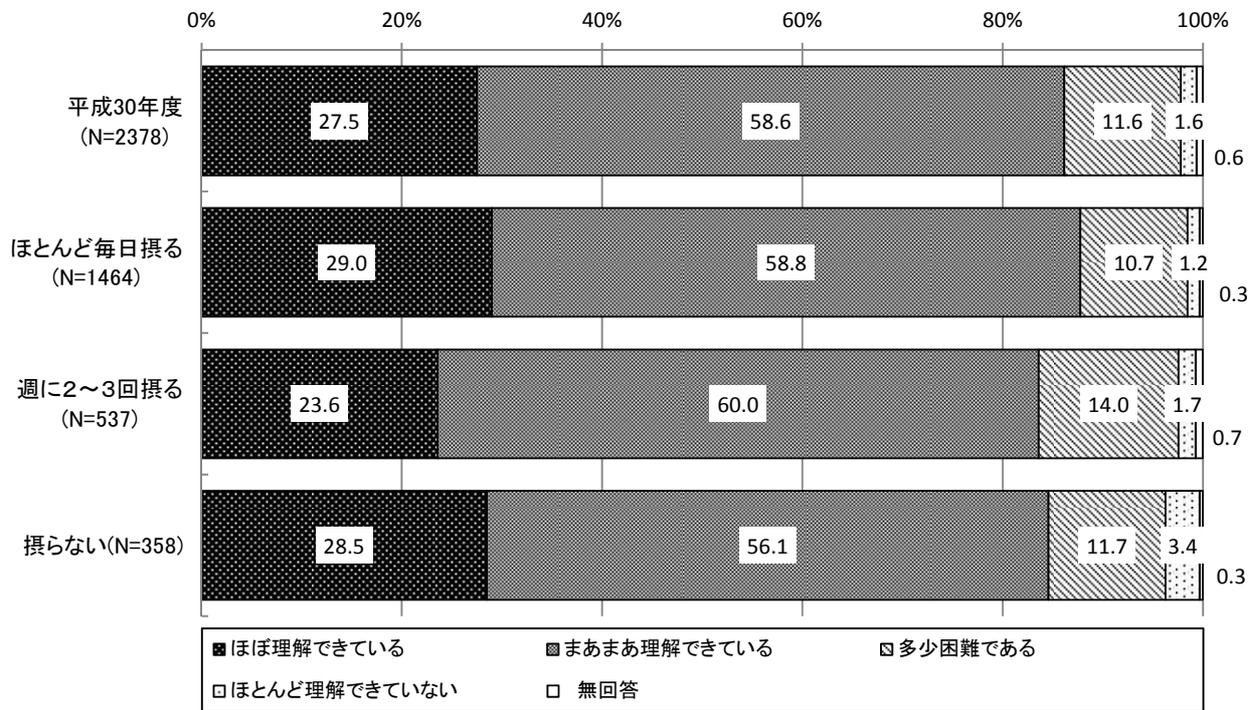
問48の「図書館の利用状況」とのクロス集計では、図書館の利用頻度が高いほど、「授業を理解できている」割合は高くなっている。＜図13-C＞

■問13. 履修科目全体の授業内容の理解状況（過年度調査・1週間の自習時間別）

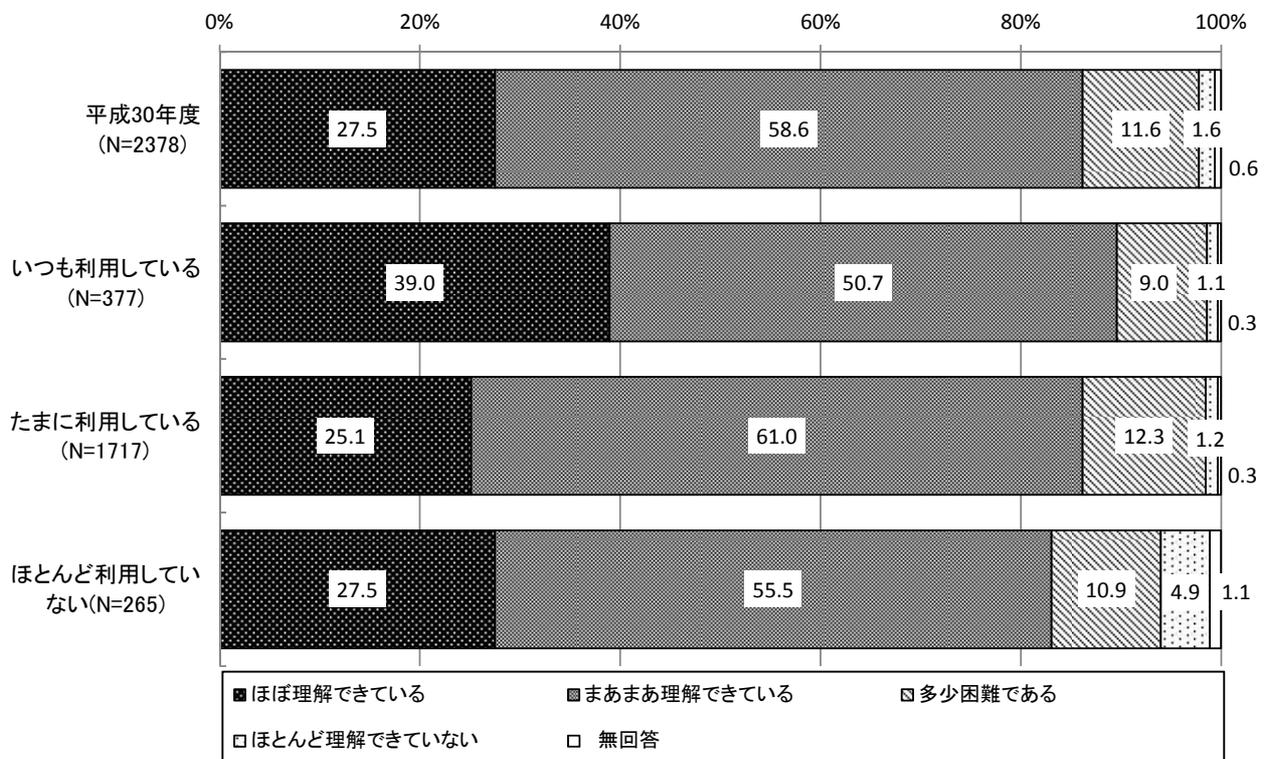


■ 問 1 3. 履修科目全体の授業内容の理解状況（朝食摂食状況別・図書館利用の状況別）

【図 13-B 履修科目全体の授業内容の理解状況（朝食の摂食状況別）】



【図 13-C 履修科目全体の授業内容の理解状況（図書館の利用状況別）】

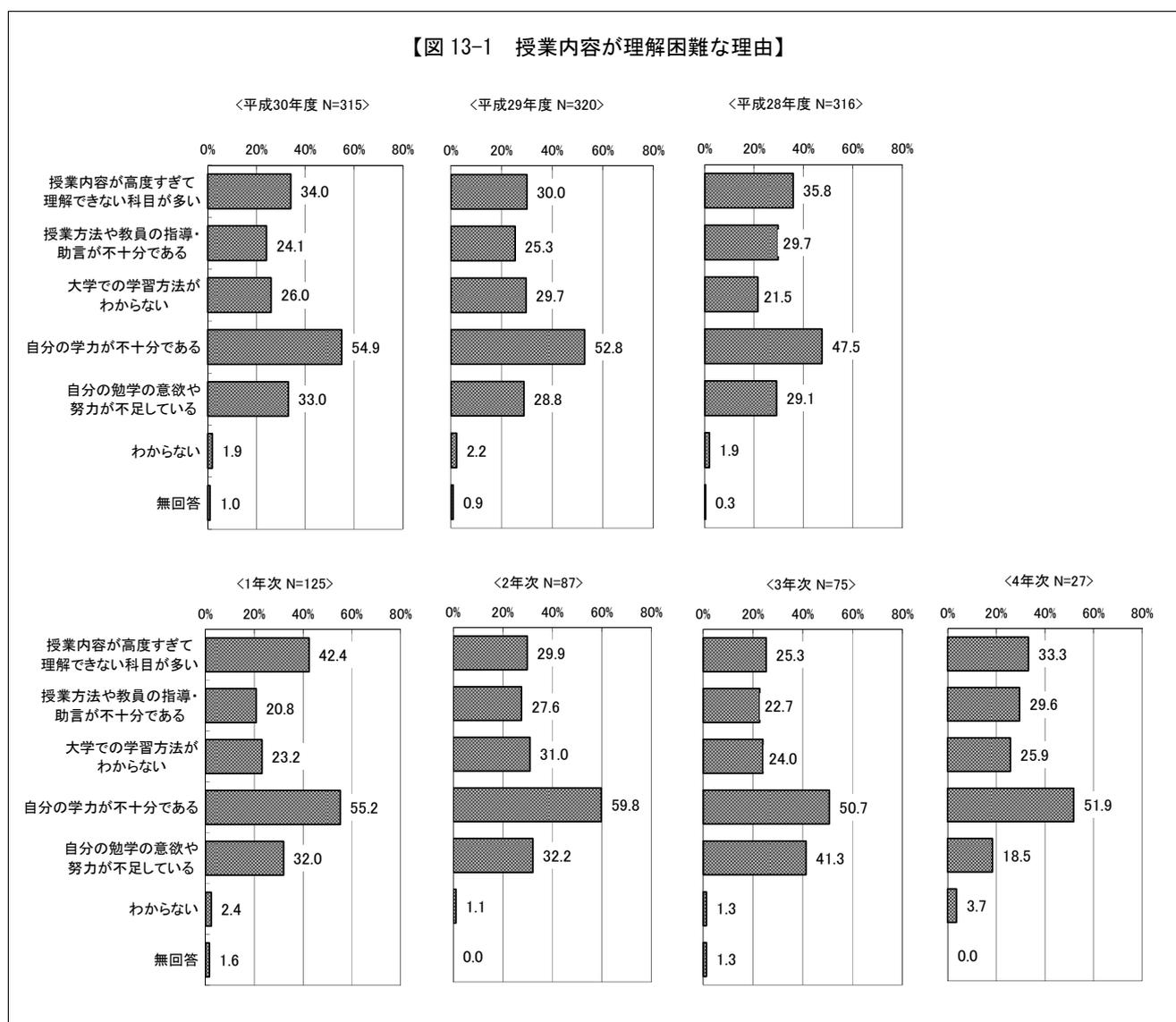


【結果概要（問13-1）】

問13-1. 問13で授業内容の理解が「多少困難である」と「ほとんど理解できていない」と回答した学生に理解困難な理由を尋ねたところ、「自分の学力が不十分である」の回答が54.9%と最も多く、次いで「授業内容が高度すぎて理解できない科目が多い」が34.0%、「自分の勉学の意欲や努力が不足している」が33.0%となっている。

年次別でみると、どの年次でも「自分の学力が不十分である」が最も多い理由となっている。今回調査では2年次が59.8%と最も高くなっている。＜図13-1＞

■問13-1. 授業内容が理解困難な理由（過年度調査・年次別）

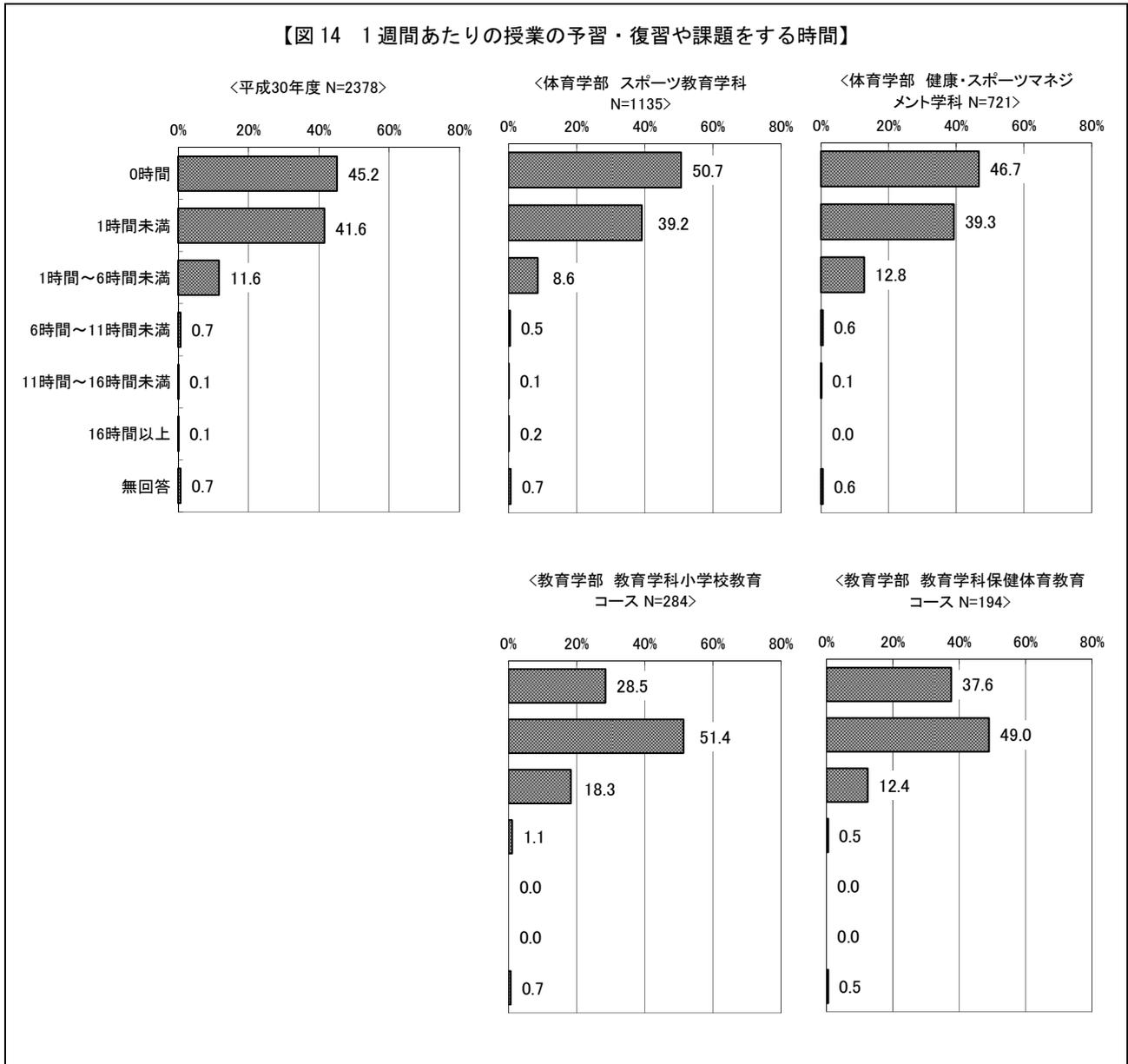


【結果概要（問14）】

問14. 1週間あたりの授業の予習・復習や課題をする時間としては、「0時間」が45.2%と最も多くなっており、次に「1時間未満」が41.6%となっている。

所属学部・学科別では、体育学部は「0時間」が最も多く、教育学部では「1時間未満」が最も多くなっている。＜図14＞

■問14. 1週間あたりの授業の予習・復習や課題をする時間（学科別）



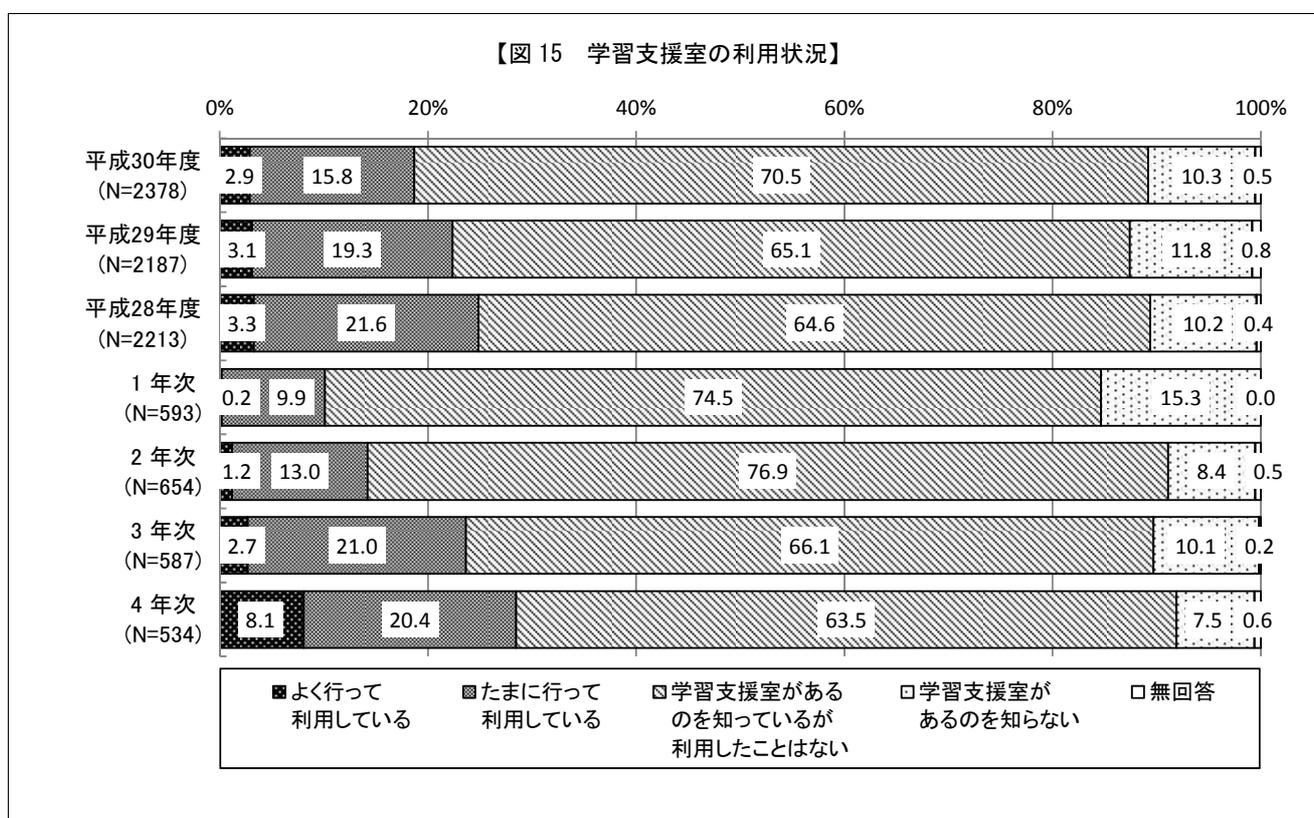
【結果概要（問15）】

問15. 学習支援室の利用状況としては、「学習支援室があるのを知っているが利用したことはない」が70.5%で最も多く、「よく行って利用している」の2.9%と「たまに行って利用している」の15.8%を合わせた利用経験者は18.7%となっている。

前回調査と比べると、「学習支援室があるのを知っているが利用したことはない」は5.4ポイント増加しており、約7割を占める結果となっている。

年次別でみると、利用経験者は年次が上がるほど利用率は高くなっており、1年次では10.1% (0.2%+9.9%) に対し4年次では28.5% (8.1%+20.4%) となっている。<図15>

■問15. 学習支援室の利用状況（過年度調査・年次別）



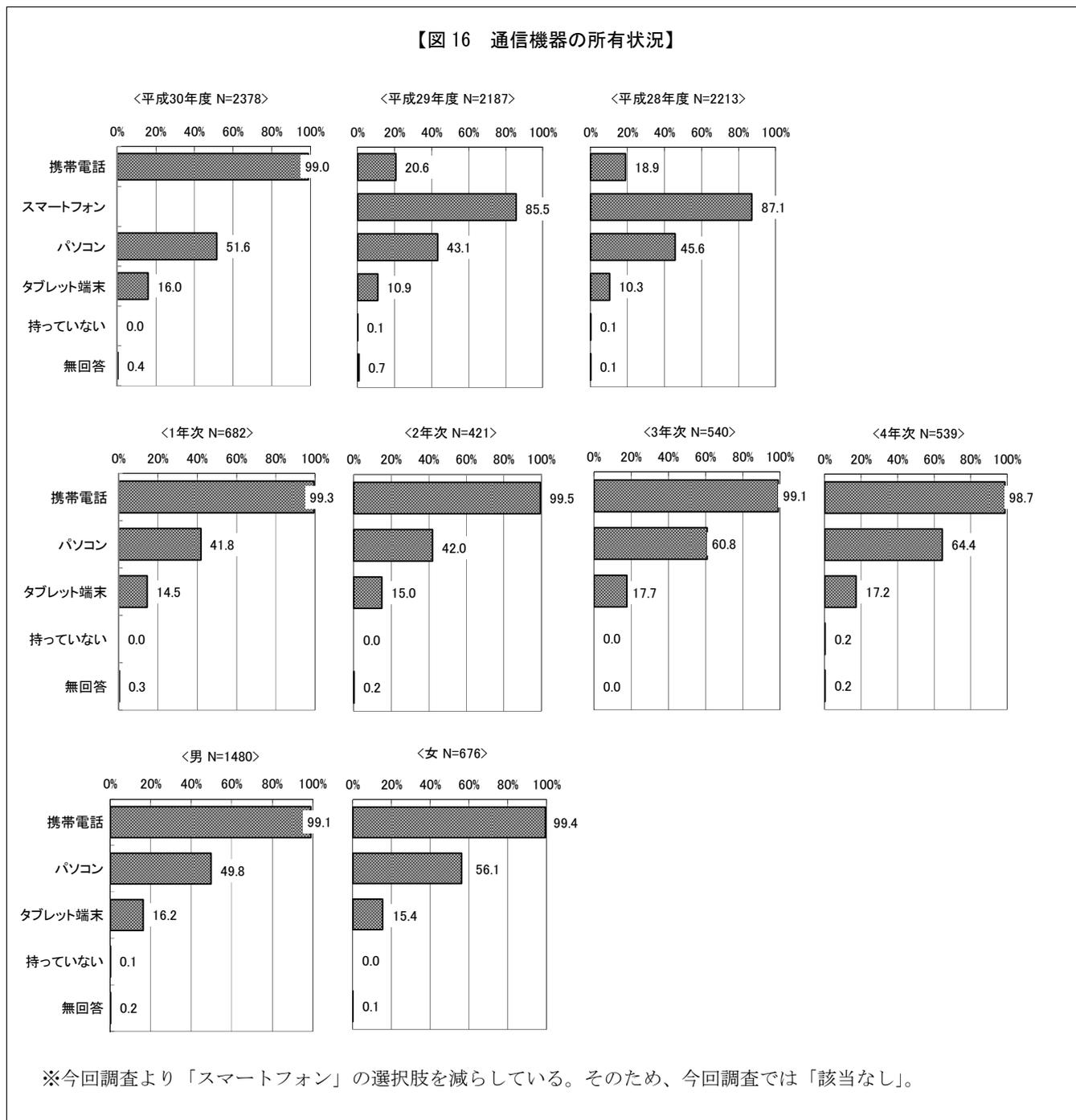
【結果概要（問16）】

問16. 通信機器の所有状況としては、「携帯電話」が99.0%と最も所有率が高く、次に「パソコン」が51.6%となっている。

どの年次別でも、「携帯電話」の所有率が最も高く、「パソコン」は年次が上がるほど高くなり、1年次41.8%に対して4年次では64.4%と6割を超えている。

性別で見ると、「携帯電話」の所有率に関しては大きな差は見られないが、パソコンの所有率は男性49.8%に対して女性は56.1%となっている。＜図16＞

■問16. 通信機器の所有状況（過年度調査・年次別・性別）



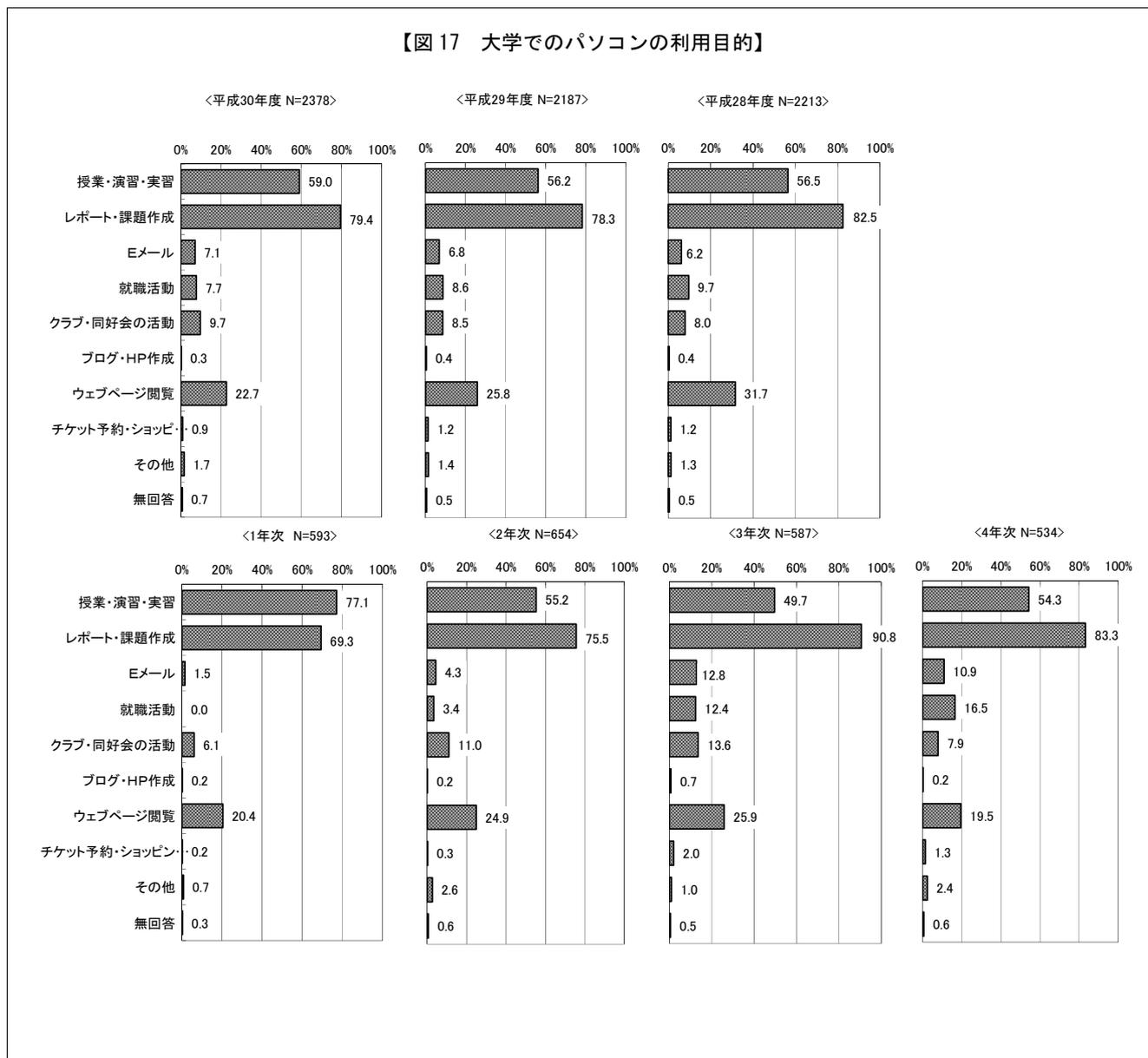
【結果概要（問17）】

問17. 大学でのパソコンの利用目的は「レポート・課題作成」が79.4%と最も多く、次に「授業・演習・実習」が59.0%となっており、年度による大きな変化は見られない。

年次別でみると、3年次、4年次から「Eメール」や「就職活動」での利用が多くなっている。

<図17>

■問17. 大学でのパソコンの利用目的（過年度調査・年次別）

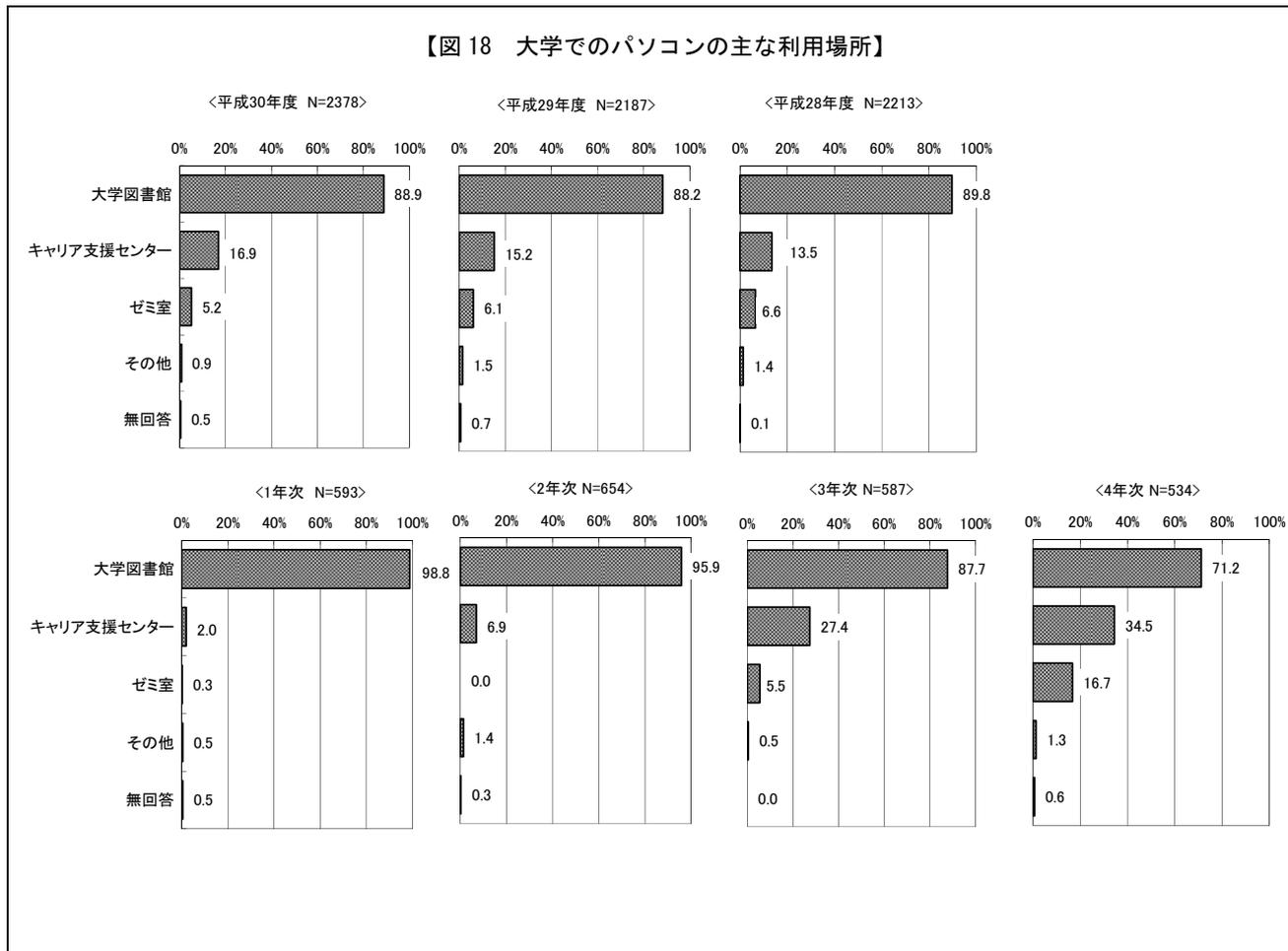


【結果概要（問18）】

問18. 大学でのパソコンの主な利用場所としては「大学図書館」が88.9%と8割以上を占めている。

年次別にみると、「キャリア支援センター」は3～4年次、「ゼミ室」での利用は4年次で多くなっている。<図18>

■問18. 大学でのパソコンの主な利用場所（過年度調査・年次別）



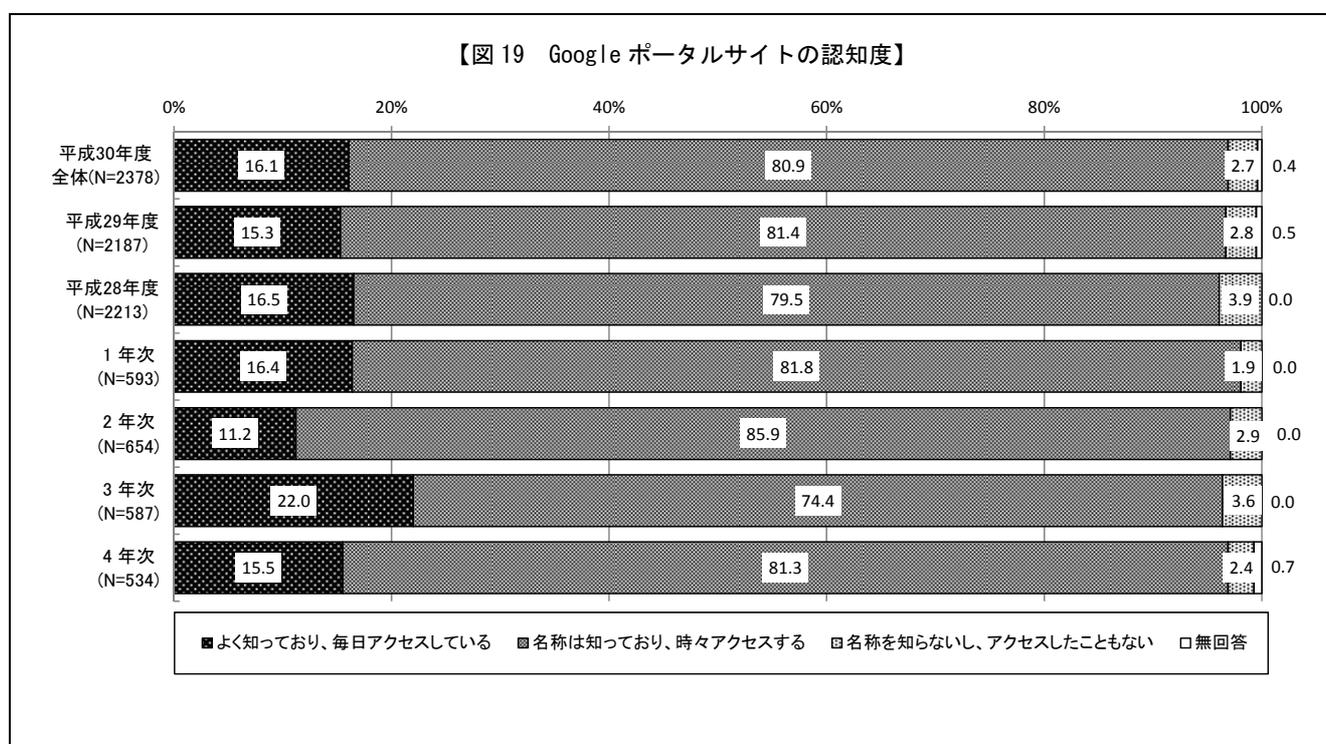
【結果概要（問19）】

問19. 大阪体育大学のGoogleポータルサイトの認知度では、「名称は知っており、時々アクセスする」が80.9%と最も高く、次に「よく知っており、毎日アクセスしている」が16.1%となっている。

「名称を知らないし、アクセスしたこともない」は、前回調査では2.8%に対し、今回調査では2.7%と0.1ポイント減少しており、年々減少している。

年次別にみると、「よく知っており、毎日アクセスする」は3年次で22.0%と最も高い結果となっている。<図19>

■問19. 大阪体育大学のGoogleポータルサイトの認知度（過年度調査・年次別）



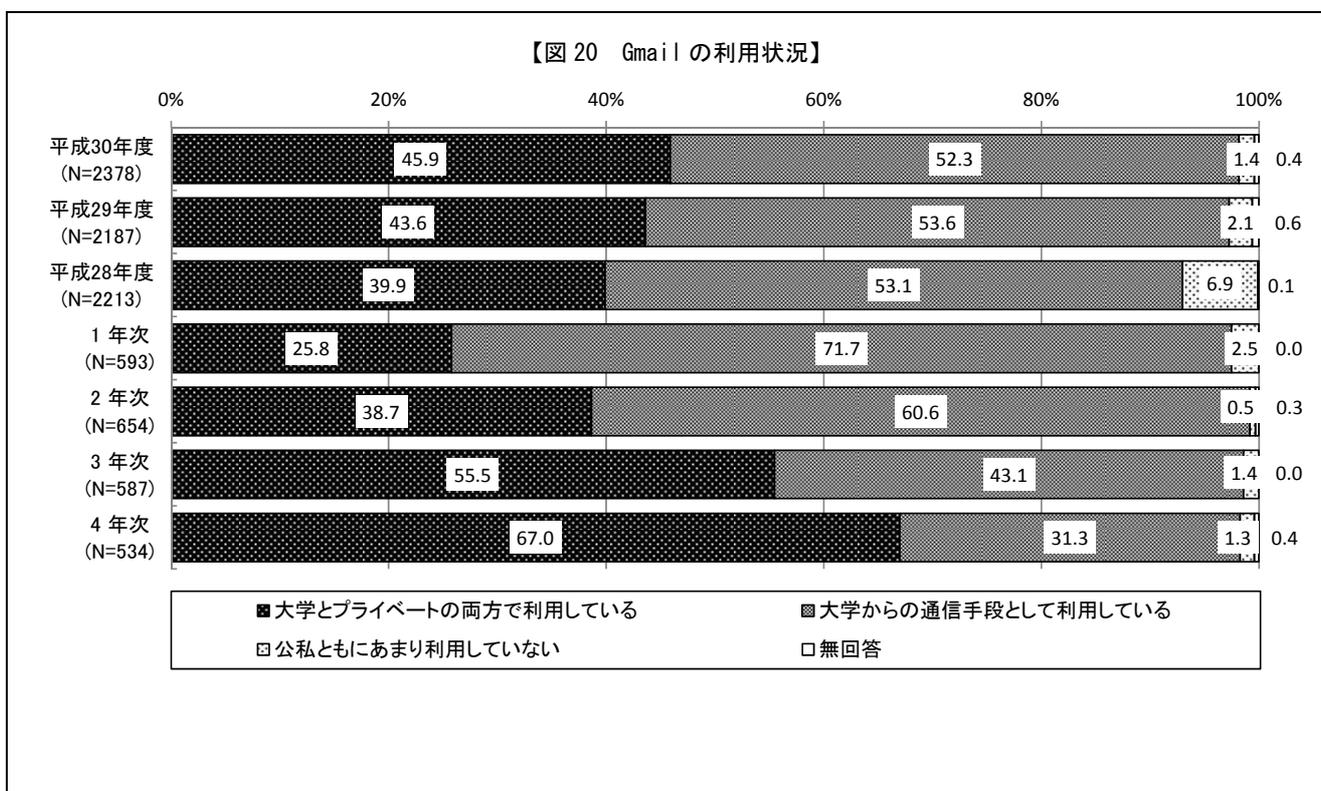
【結果概要（問20）】

問20. Gmailの利用状況については、「大学からの通信手段として利用している」が52.3%と最も多く、次に「大学とプライベートの両方で利用している」が45.9%となっている。

「公私ともにあまり利用していない」は、前回調査では2.1%に対し、今回調査では1.4%と0.7ポイント減少しており年々減少している。

年次別にみると、「大学とプライベートの両方で利用している」は4年次が67.0%と年次が上がるごとに増加がみられるが、「大学からの通信手段として利用している」は1年次が71.7%と年次が上がるごとに減少している。<図20>

■問20. Gmailの利用状況（年次別）

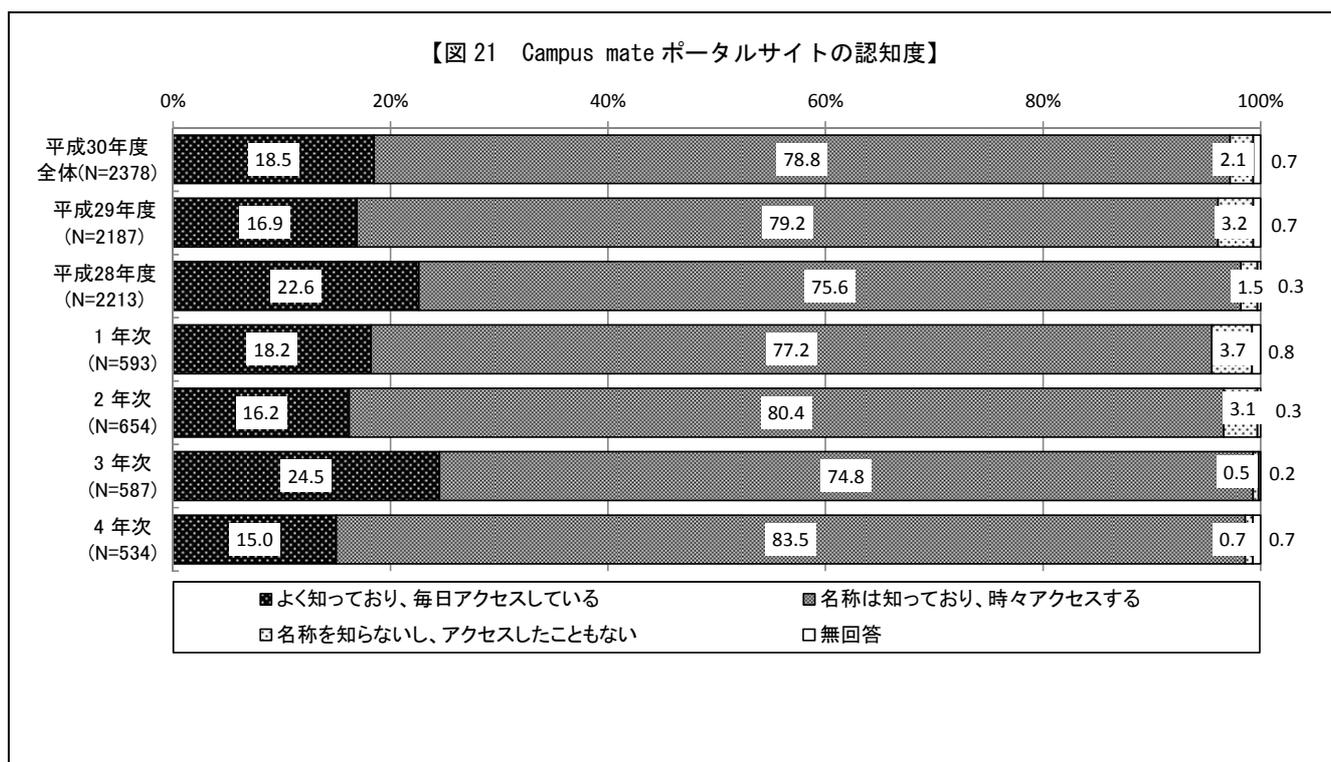


【結果概要（問21）】

問21. Campus mate ポータルサイトを知っているかという問いについては「名称は知っており、時々アクセスする」が78.8%と多く、次に「よく知っており、毎日アクセスしている」が18.5%となっている。

年次別にみると、「よく知っており、毎日アクセスしている」は3年次が24.5%と最も多く、最も低い割合は4年次で15.0%となっている。＜図21＞

■問21. Campus mate ポータルサイトの認知度（年次別）

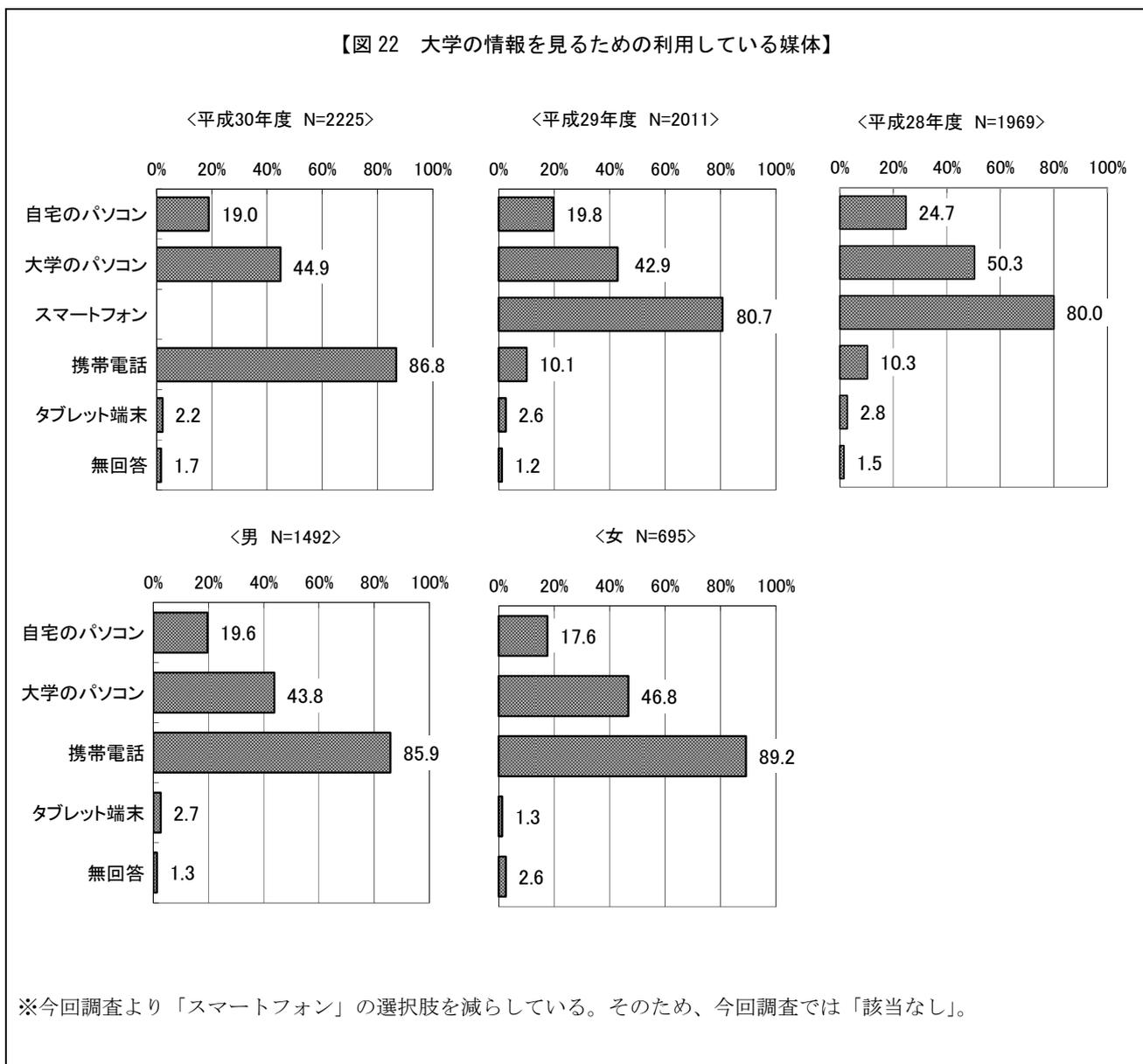


【結果概要（問22）】

問22. 大学からの各種情報提供サイトなどにアクセスする際、どの媒体を利用しているかについては、「携帯電話」が86.8%と多く、次に「大学のパソコン」の44.9%となっている。

性別でみると、「大学のパソコン」は男子学生の43.8%よりも女子学生の46.8%が3.0ポイント多くなっている。しかし「自宅のパソコン」では、男子学生が19.6%、女子学生が17.6%と、男子学生が2.0ポイント多い結果となっている。<図22>

■問22. 大学の情報を見るための利用している媒体（過年度調査・性別）



4. 課外活動等について

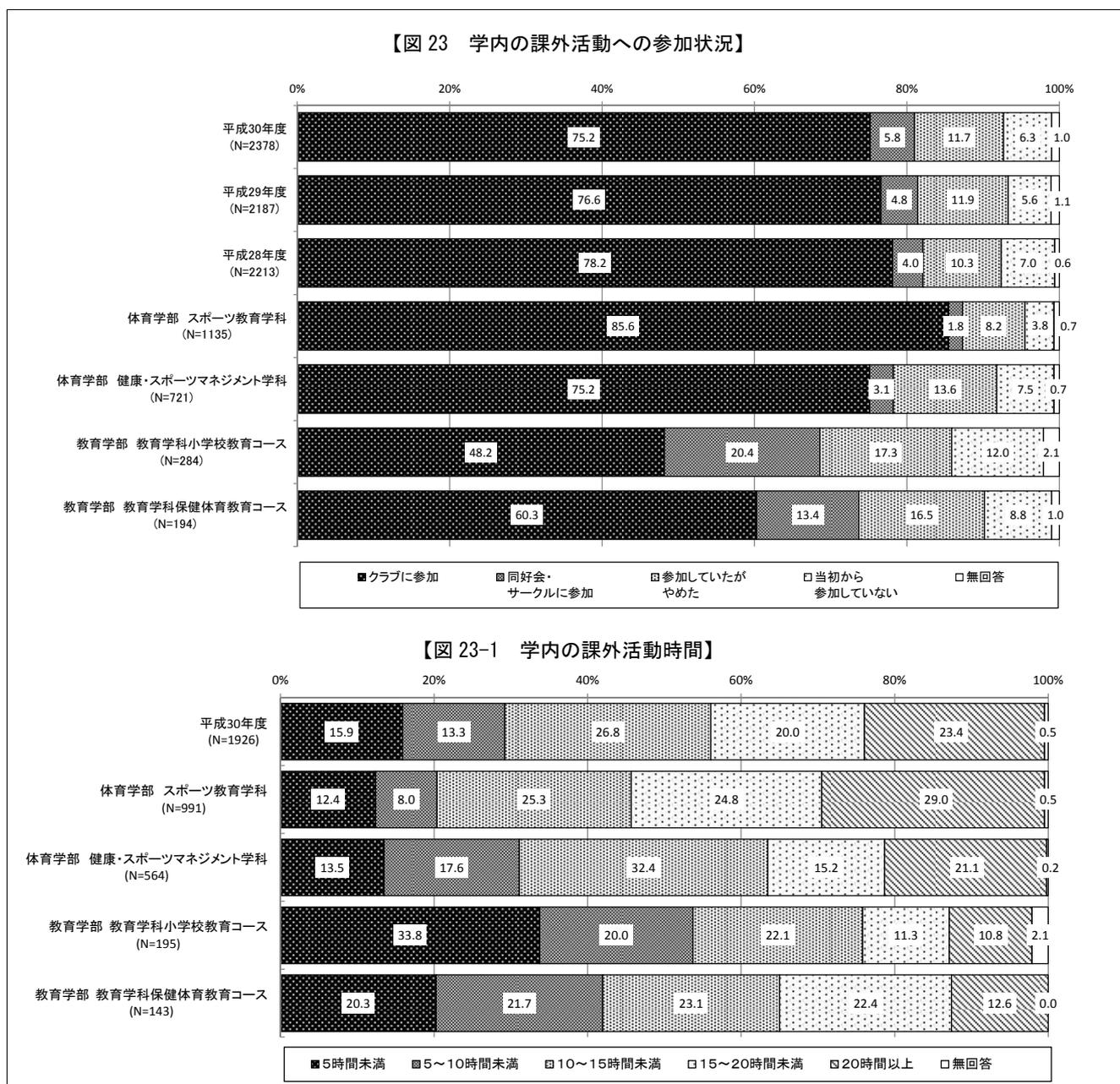
【結果概要（問23・問23-1）】

問23. 学内の課外活動への参加状況としては、「クラブに参加」が75.2%で最も多くなっている。

所属学部・学科別でみると、「クラブあるいは同好会・サークル」に参加しているのは「体育学部スポーツ教育学科」の87.4%（85.6%+1.8%）が最も多くなっている。＜図23＞

問23-1. 1週間あたりの活動時間は、体育学部スポーツ教育学科は「20時間以上」の29.0%、体育学部健康・スポーツマネジメント学科は「10～15時間未満」の32.4%が最も多くなっているが、教育学部教育学科小学校教育コースは「5時間未満」（33.8%）が最も多い結果となった。＜図23-1＞

■問23・問23-1. 学内の課外活動への参加状況と活動時間（過年度調査・学科別）

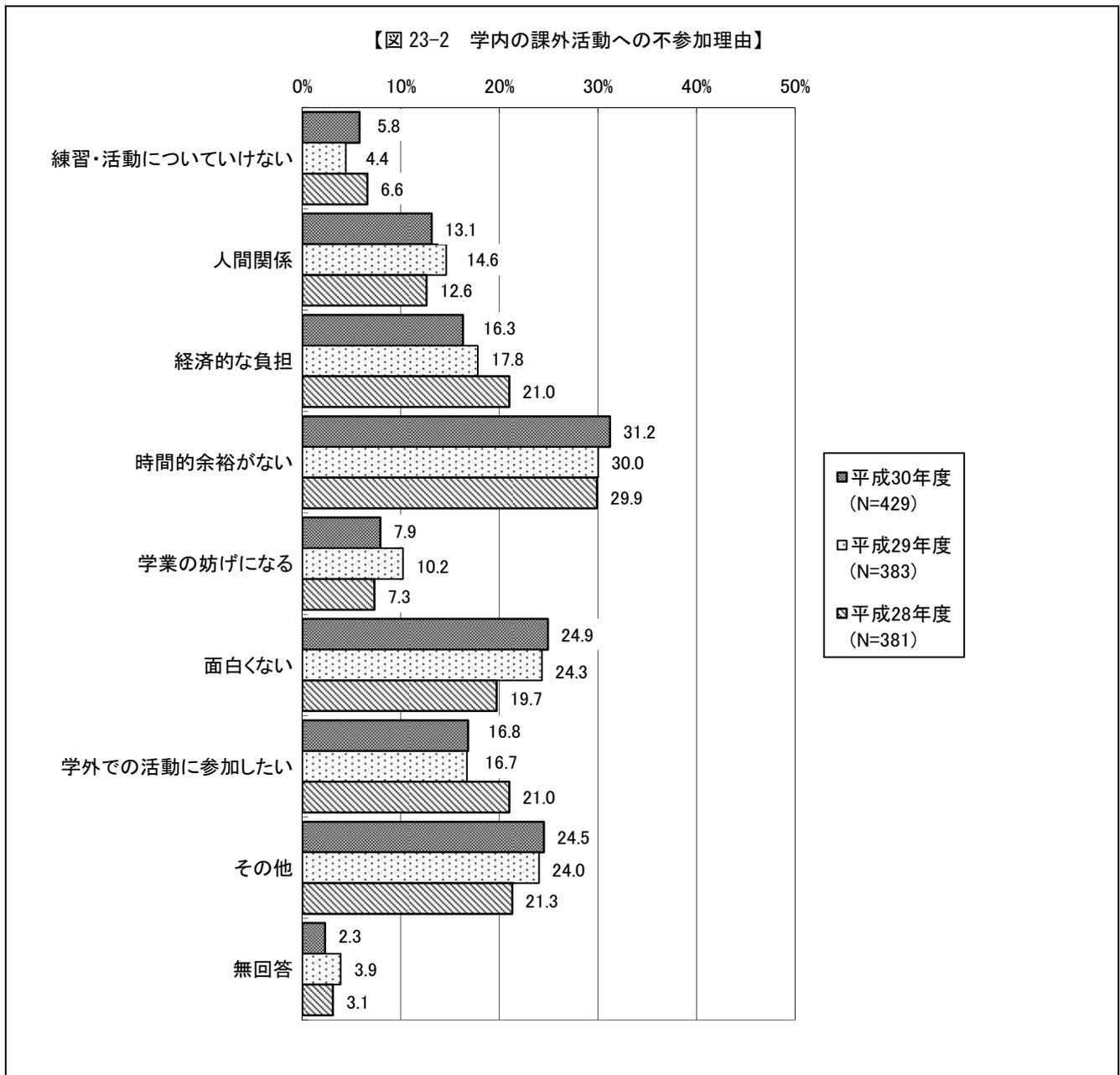


【結果概要（問23-2）】

問23-2. 学内の課外活動への不参加理由としては「時間的余裕がない」が31.2%で最も多く、次いで「面白くない」が24.9%、「学外での活動に参加したい」が16.8%となっている。

前回調査と今回調査の上位3項目をみると、「時間的余裕がない」は1.2ポイント増加、「面白くない」と「学外での活動に参加したい」は横ばい、前回3位の「経済的な負担」は1.5ポイント減少している。<図23-2>

■問23-2. 学内の課外活動への不参加理由（過年度調査）



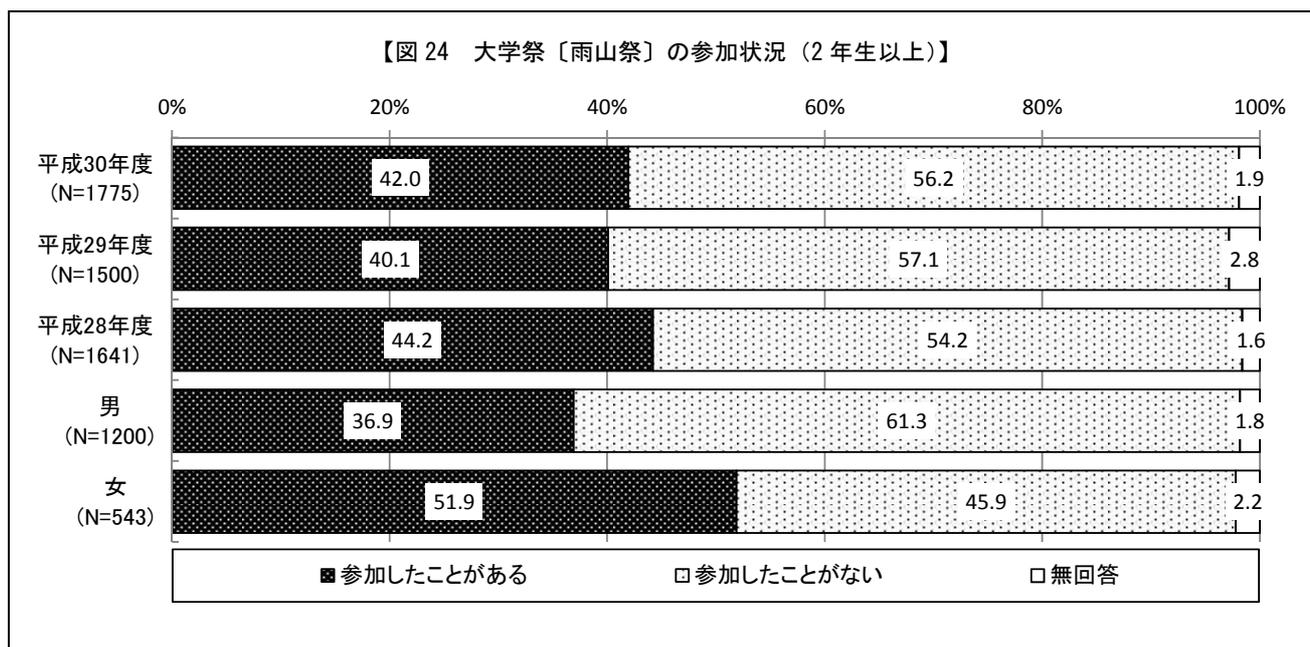
【結果概要（問24）】

問24. 2年生以上の大学祭（雨山祭）の参加状況は、「参加したことがある」は42.0%で、「参加したことがない」の56.2%が上回っている。

前回調査と比べると、「参加したことがある」は1.9ポイント増加している。

性別では、「参加したことがある」は男子学生の36.9%に対して、女子学生は51.9%と女子学生の割合が高くなっている。＜図24＞

■問24. 大学祭〔雨山祭〕の参加状況（過年度調査・性別）



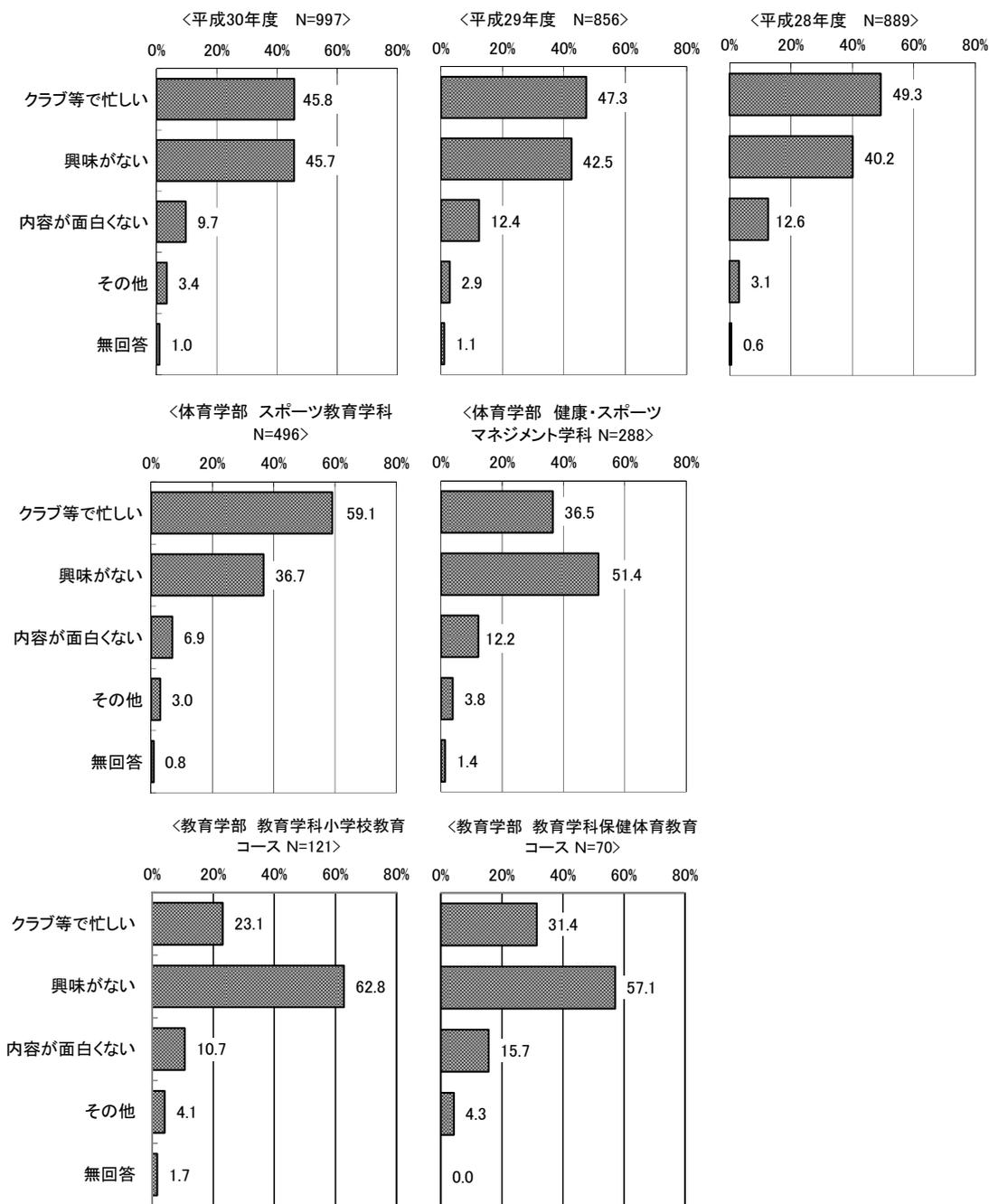
【結果概要（問24-1）】

問24-1. 大学祭への不参加理由としては「クラブ等で忙しい」が45.8%で最も多く、次に「興味がない」が45.7%となっている。

所属学部・学科別でみると体育学部スポーツ教育学科のみ「クラブ等で忙しい」が最も多いが、それ以外の学科の学生は「興味がない」が最も多くなっている。

■問24-1. 大学祭〔雨山祭〕の不参加理由（過年度調査・学科別）

【図24-1 大学祭〔雨山祭〕の不参加理由（2年生以上）】



5. 健康等について

【結果概要（問25）】

問25. 朝食の摂食状況としては、「ほとんど毎日摂る」が61.6%と最も多く、「摂らない」は15.1%となっている。

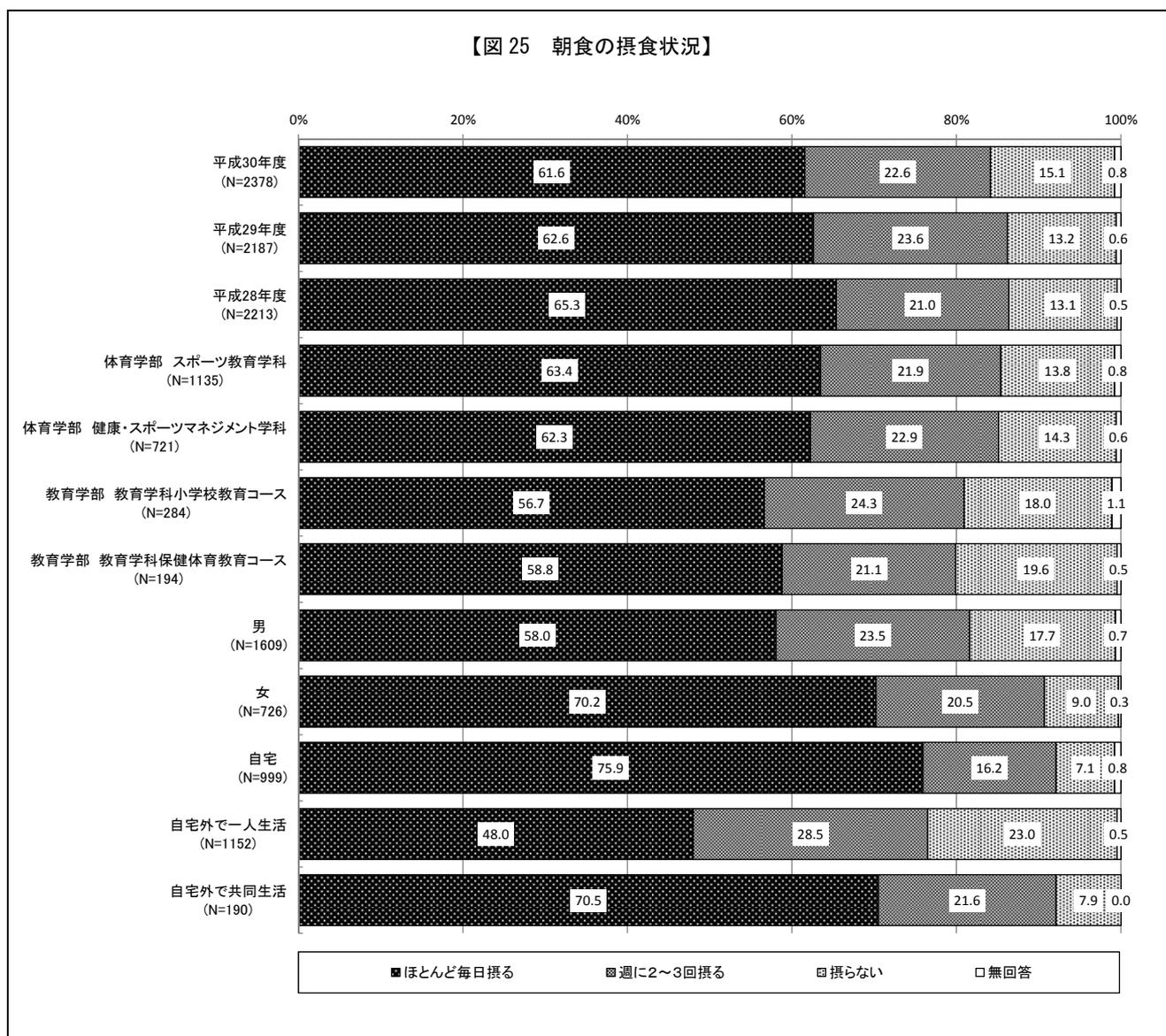
前回調査と比べると、「摂らない」が1.9ポイント増加している。

所属学部・学科別でみると、「ほとんど毎日摂る」は体育学部スポーツ教育学科の63.4%、「摂らない」は教育学部教育学科保健体育教育コースの19.6%が最も高い数字となっている。

性別では、「ほとんど毎日摂る」は女子学生が70.2%と7割を占めているが、男子学生は58.0%と6割弱にとどまっている。

居住形態別でみると、「ほとんど毎日摂る」は「自宅」(75.9%)と「自宅外で共同生活」(70.5%)は7割を超えているが、「自宅外で一人生活」は48.0%と半数以下になっている。<図25>

■問25. 朝食の摂食状況（過年度調査・学科別・性別・居住形態別）

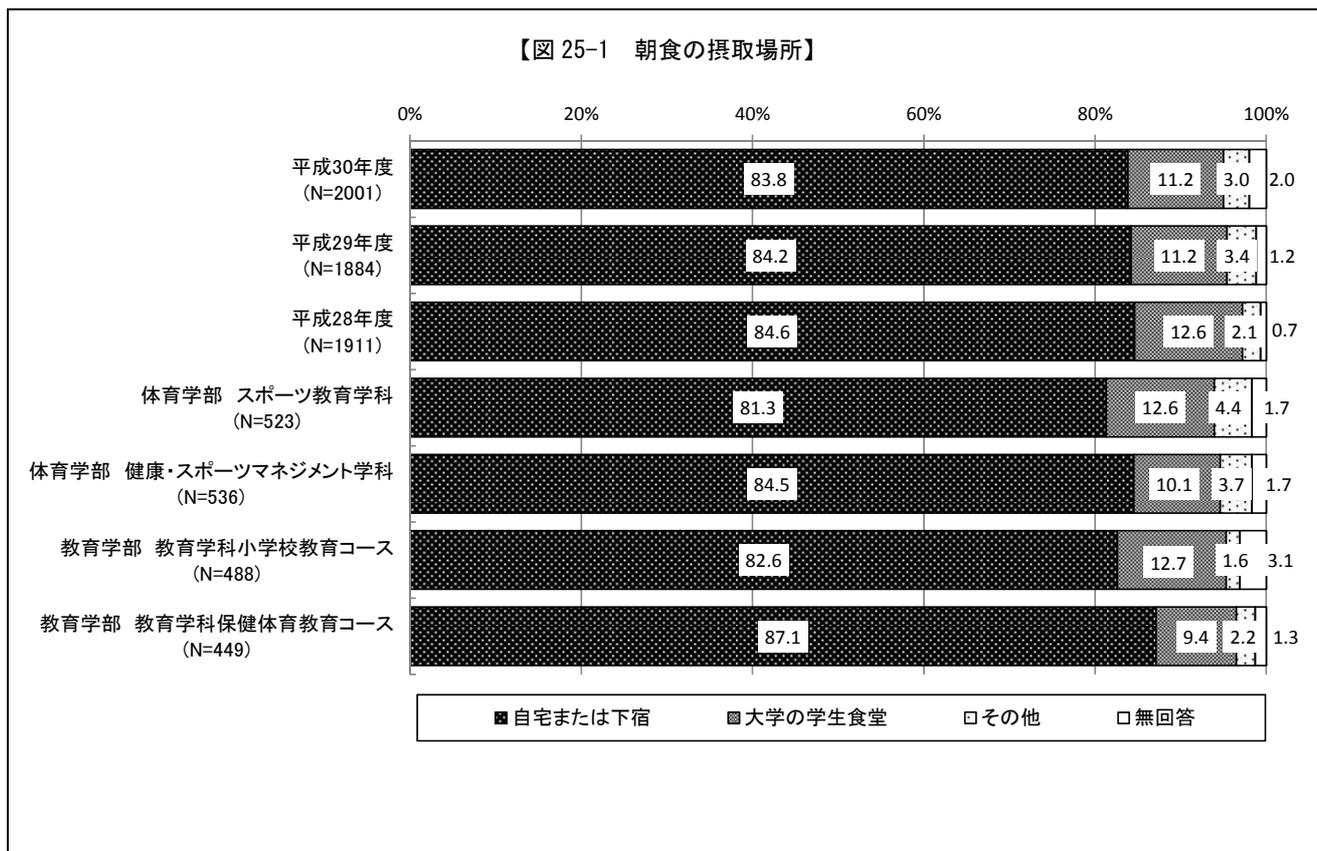


【結果概要（問25-1）】

問25-1. 朝食を摂る場所としては、「自宅または下宿」が最も多く83.8%となっている。前回調査と比べると、「自宅または下宿」が0.4ポイント微減している。

所属学部・学科別でみると、教育学部教育学科保健体育教育コースの学生は「自宅または下宿」で朝食を摂る割合が87.1%と最も高く、それ以外の学科の学生は「自宅または下宿」が最も多いものの「大学の学生食堂」が1割を超えている。<図25-1>

■問25-1. 朝食の摂取場所（過年度調査・学科別）



【結果概要（問26）】

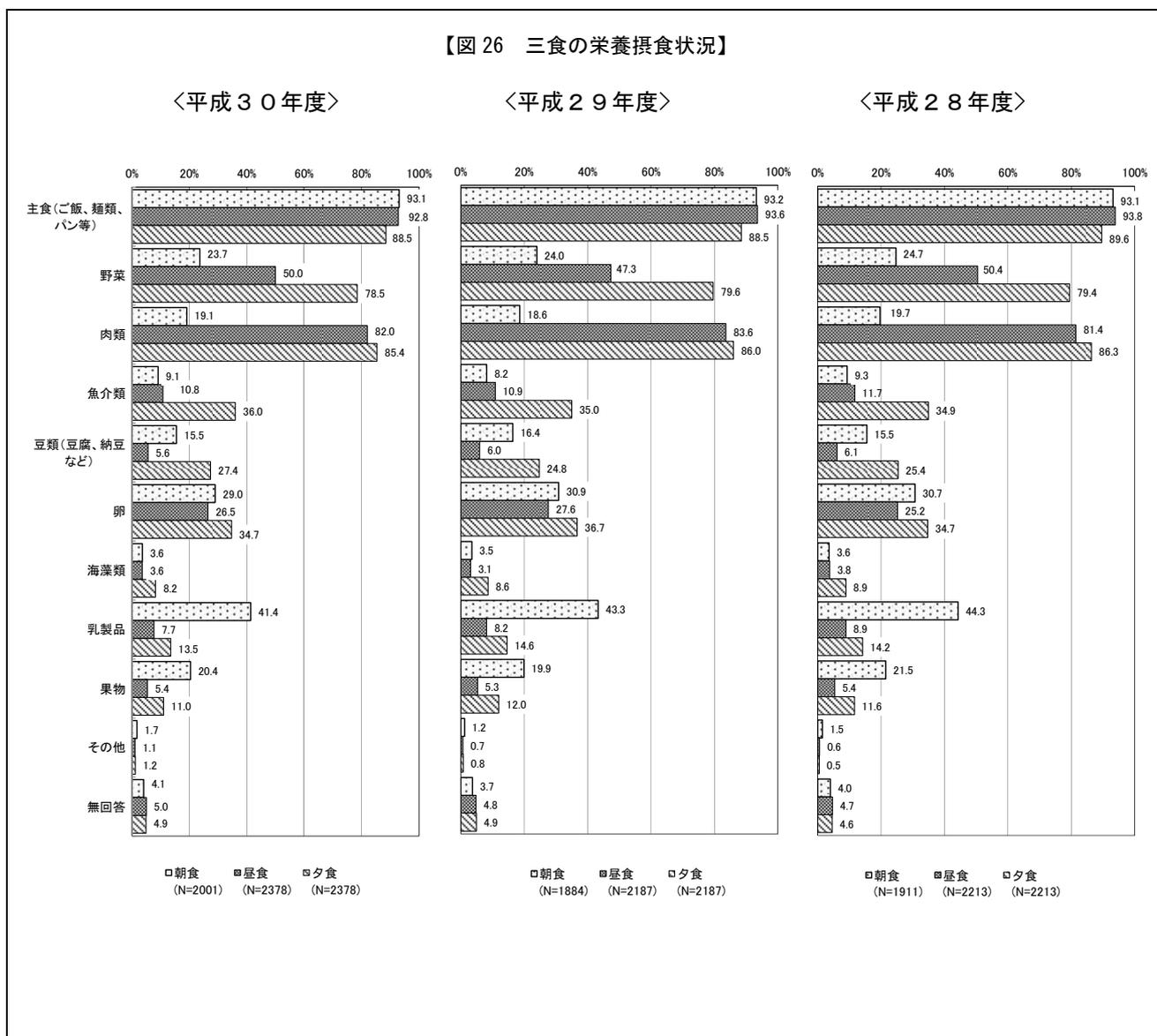
問26. 朝食の食事内容（上位3つ）としては「主食（ご飯、麺類、パン等）」が93.1%、「乳製品」が41.4%、「卵」が29.0%となっている。

昼食の食事内容（上位3つ）としては「主食（ご飯、麺類、パン等）」が92.8%、「肉類」が82.0%、「野菜」が50.0%となっている。

夕食の食事内容（上位3つ）としては「主食（ご飯、麺類、パン等）」が88.5%、「肉類」が85.4%、「野菜」が78.5%となっている。

前回調査と同様の食事内容であった（上位3つ）。<図26>

■問26. 三食の栄養摂食状況（過年度調査）



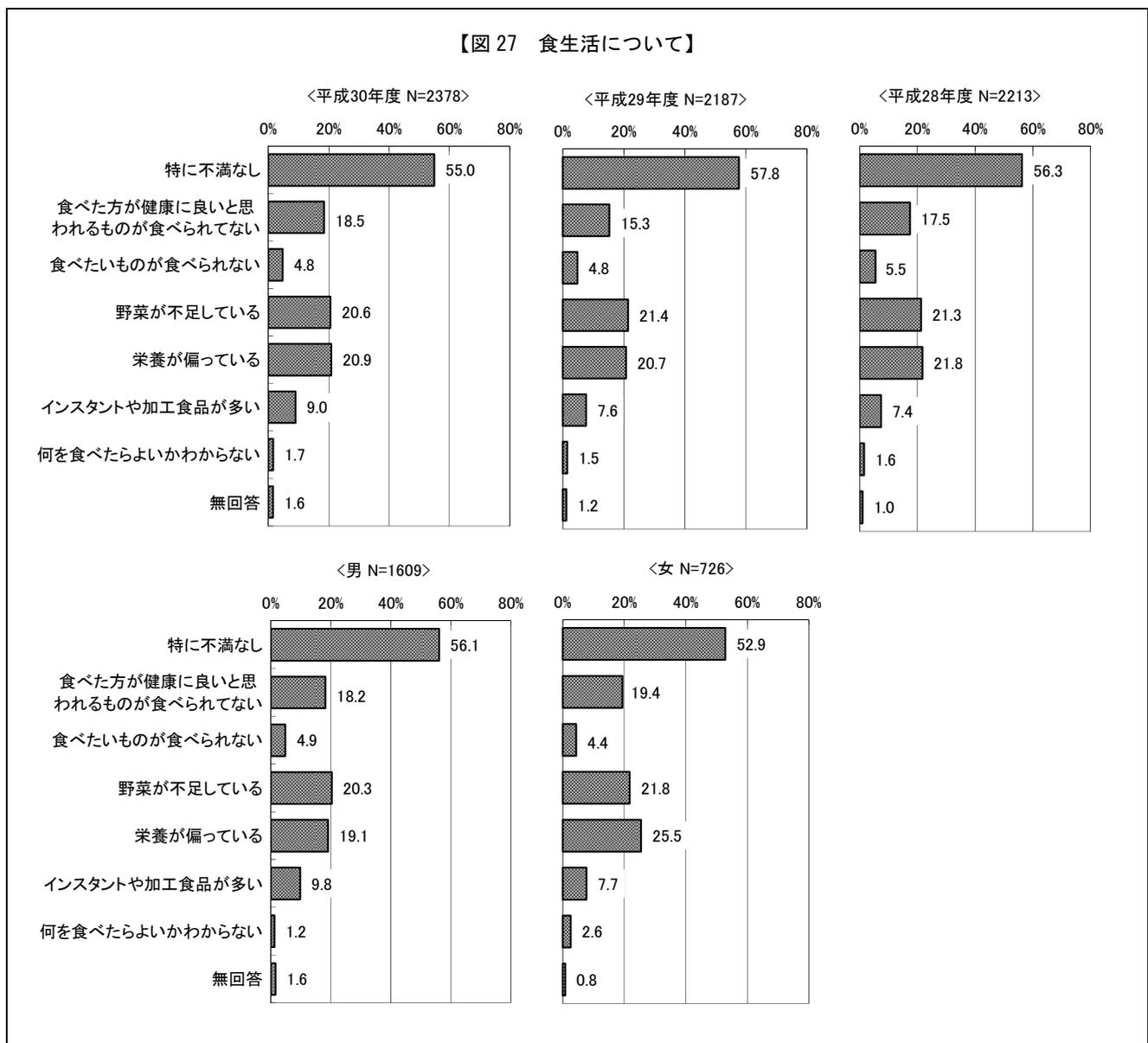
【結果概要（問27）】

問27. 食生活への満足度としては、「特に不満なし」が55.0%で最も多い。不満内容としては、「栄養が偏っている」が20.9%、「野菜が不足している」が20.6%、「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」が18.5%となっている。

前回調査と比べると、「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」が3.2ポイント増加している。

性別でみると、女子学生は男子学生に比べると、「栄養が偏っている」、「野菜が不足している」、「何を食べたらよいかわからない」、「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」が男子学生よりも上回っている。＜図27＞

■問27. 食生活について（過年度調査・性別）

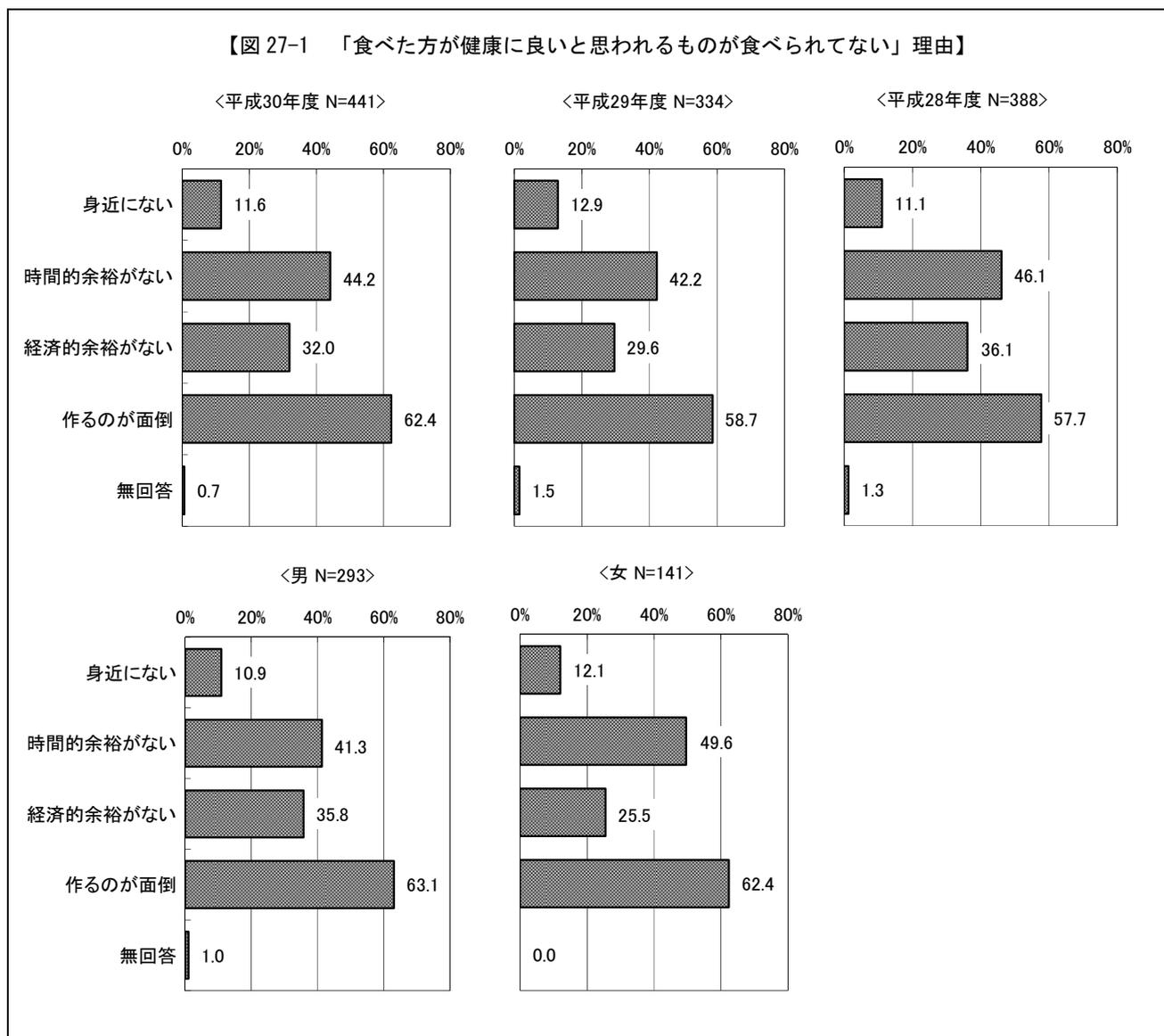


【結果概要（問27-1）】

問27-1. 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由としては「作るのが面倒」が62.4%と最も多く、次に「時間的余裕がない」の44.2%となっている。

性別でみると、「経済的余裕がない」で男子学生が女子学生より10.3ポイント高く、「時間的余裕がない」で8.3ポイント低い。<図27-1>

■問27-1. 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由（過年度調査・性別）



【結果概要（問28・問28-1）】

問28. 100円朝食の利用については、「知っているが、利用したことがない」の50.2%が最も多く、「知らなかったので、利用したことがない」の6.9%を合わせた「利用しなかった」は57.1%となっている。

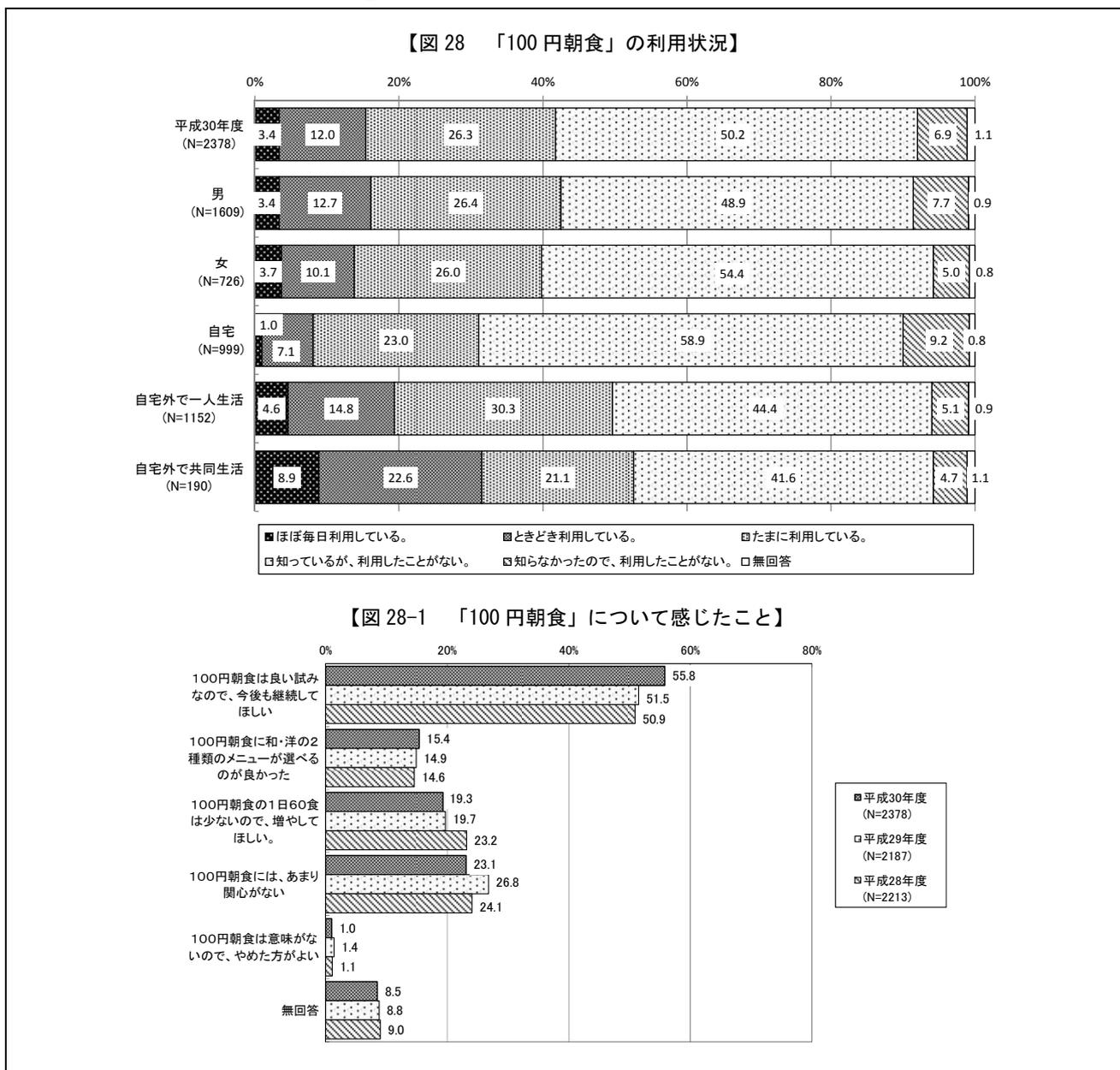
性別で見ると、「利用しなかった」は男子学生が56.6%（48.9%+7.7%）、女子学生が59.4%（54.4%+5.0%）で女子学生が2.8ポイント高い結果となった。

居住形態別で見ると、利用状況の「ほぼ毎日利用している」は「自宅外で共同生活」が8.9%と最も多く、一方で「自宅」の1.0%が最も少なくなっている。＜図28＞

問28-1. 100円朝食について感じたことは、「100円朝食は良い試みなので、今後も継続してほしい」が55.8%と過半数を占めている。＜図28-1＞

■問28. 「100円朝食」の利用状況（性別・居住形態別）

■問28-1. 「100円朝食」について感じたこと（過年度調査）



【結果概要（問29・問29-1）】

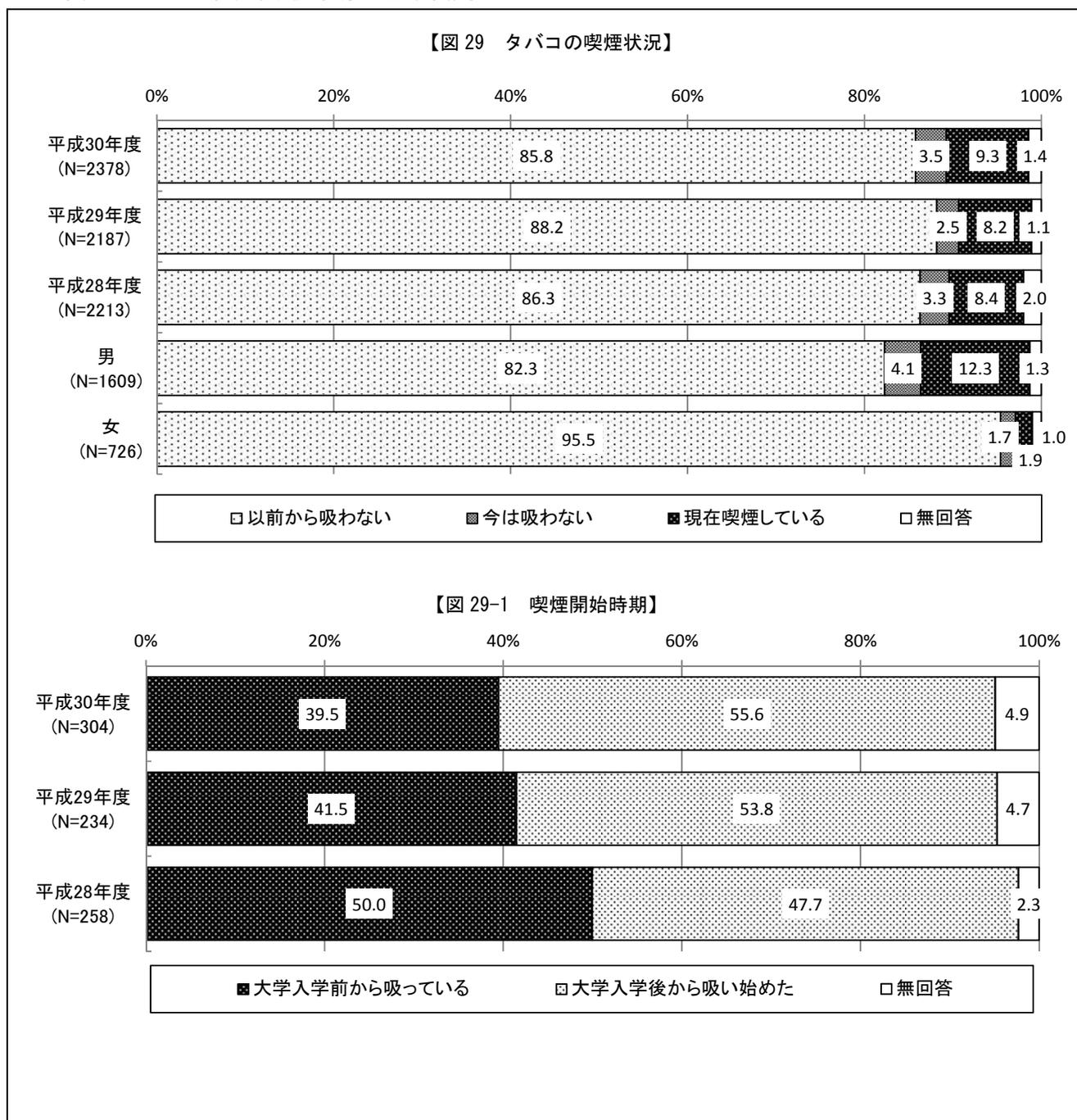
問29. タバコの喫煙状況としては「以前から吸わない」が85.8%で「現在喫煙している」は9.3%であった。前回調査と比べると「現在喫煙している」は1.1ポイント増加している。

「現在喫煙している」は男子学生で12.3%、女子学生で1.9%となっている。<図29>

問29-1. 喫煙はいつ頃から始めたかでは、「大学入学前から吸っている」は39.5%で、前回調査より2.0ポイント減少している。<図29-1>

■問29. タバコの喫煙状況（過年度調査・性別）

■問29-1. 喫煙開始時期（過年度調査）



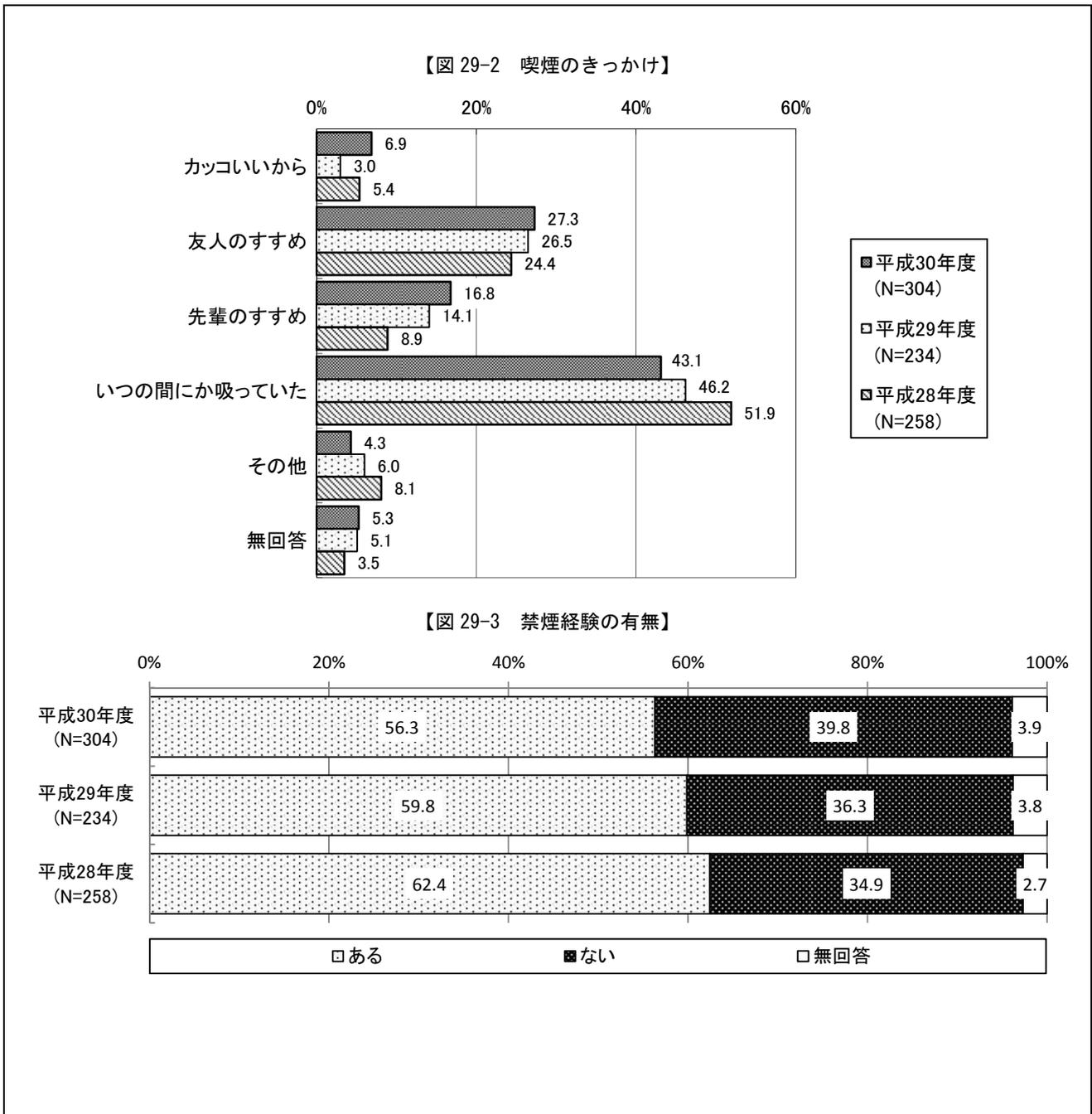
【結果概要（問29-2・問29-3）】

問29-2. 喫煙のきっかけは、「いつの間にか吸っていた」が43.1%と最も多く、次に「友人のすすめ」が27.3%となっている。＜図29-2＞

問29-3. 禁煙をしたことがあるかでは、「ある」が56.3%と、「ない」の39.8%を上回っている。＜図29-3＞

■問29-2. 喫煙のきっかけ（過年度調査）

■問29-3. 禁煙経験の有無（過年度調査）



【結果概要（問29-4・問30）】

問29-4. 学内が全面禁煙になった場合、「仕方なく受け入れる」が31.9%、「積極的に受け入れる」が28.6%と、合わせて60.5%の学生が「全面禁煙を受け入れる」と回答している。

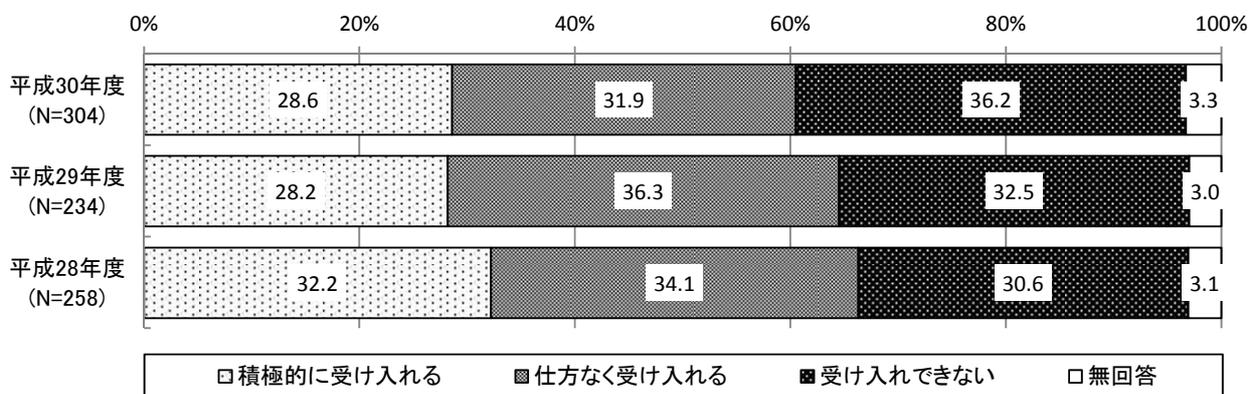
前回調査と比べると、「仕方なく受け入れる」が4.4ポイント減少、「積極的に受け入れる」は0.4ポイント増加している。「受け入れできない」は3.7ポイント増加している。<図29-4>

問30. 「喫煙場所での喫煙のみ認める」が67.0%と、「全面禁煙にすべき」の30.1%を上回っている。<問30>

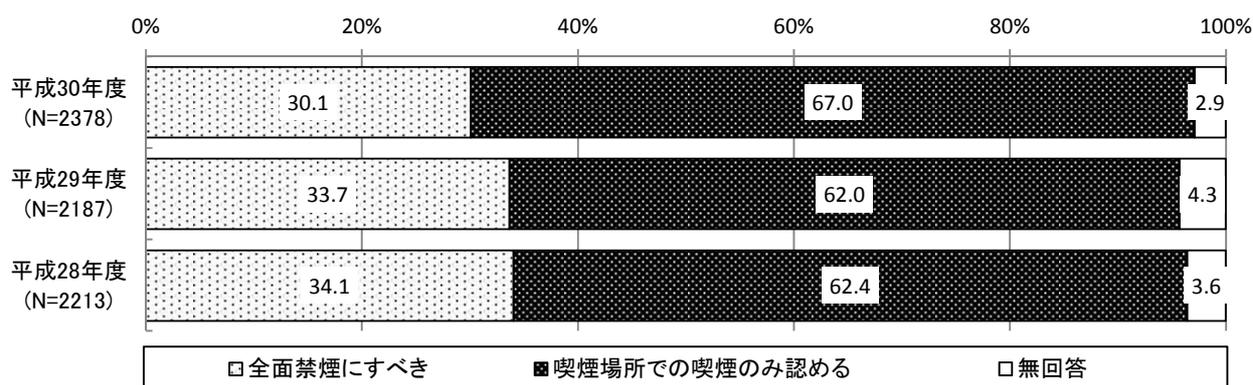
■問29-4. 学内が全面禁煙になった場合の対応（過年度調査）

■問30. 学内での喫煙・禁煙について

【図29-4 学内が全面禁煙になった場合の対応】



【図30 学内での喫煙・禁煙について】



6. 不安や悩みについて

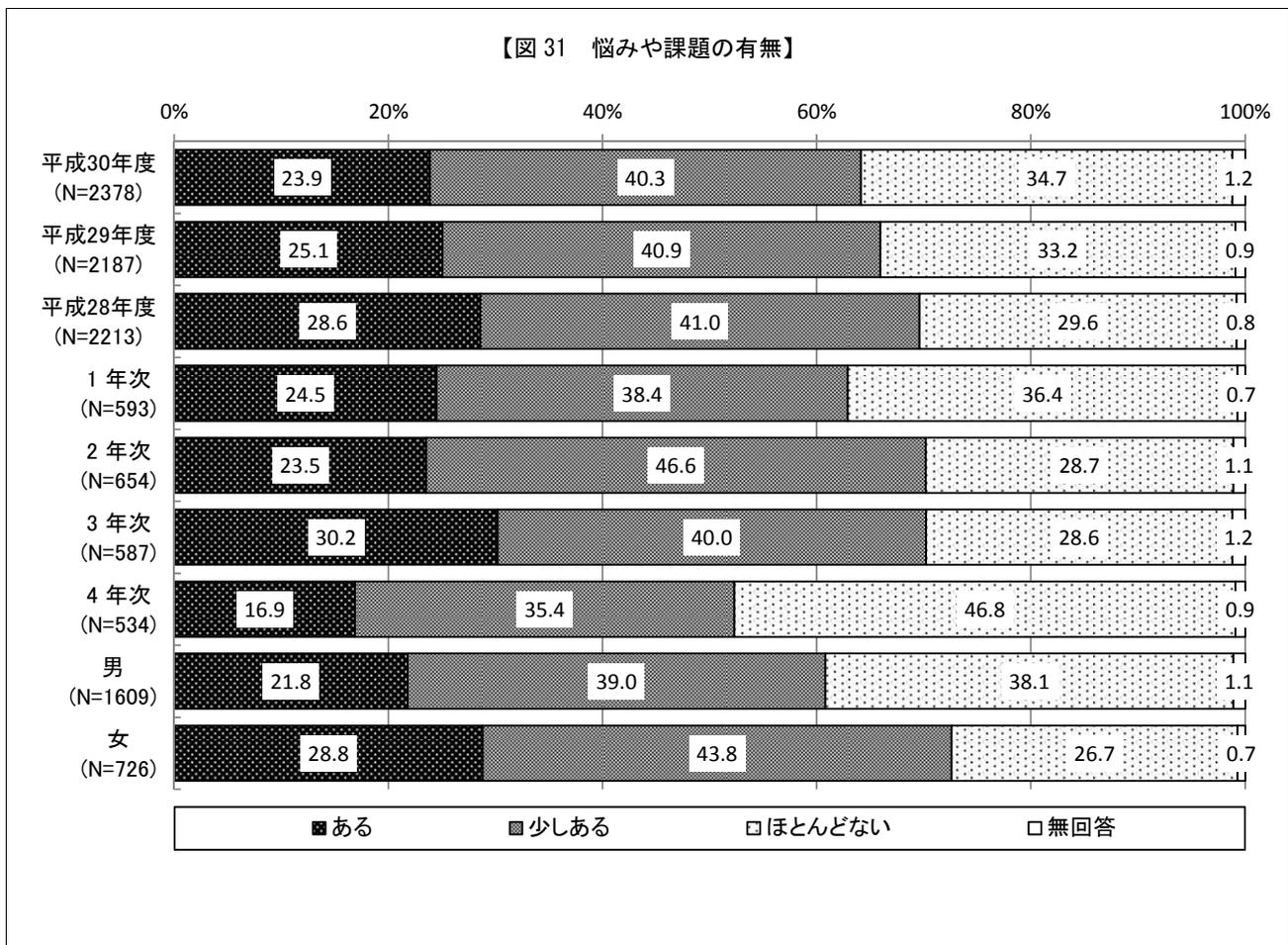
【結果概要（問31）】

問31. 現在、悩みや課題はあるかの質問に対しては、「少しある」が40.3%と最も多く、「ある」の23.9%を合わせると64.2%となっており、学生全体の6割以上が何らかの悩みや課題があると回答している。

年次別で見ると、各年次とも半数以上が何らかの悩みや課題があると回答しており、特に2、3年次でそれぞれ70.1%（23.5%+46.6%）、70.2%（30.2%+40.0%）と多くなっている。

性別で見ると、「ある」と回答した男子学生21.8%に対して女子学生は28.8%と女子学生の方が7.0ポイント高くなっている。＜図31＞

■問31. 悩みや課題の有無（過年度調査・年次別・性別）



【結果概要（問32）】

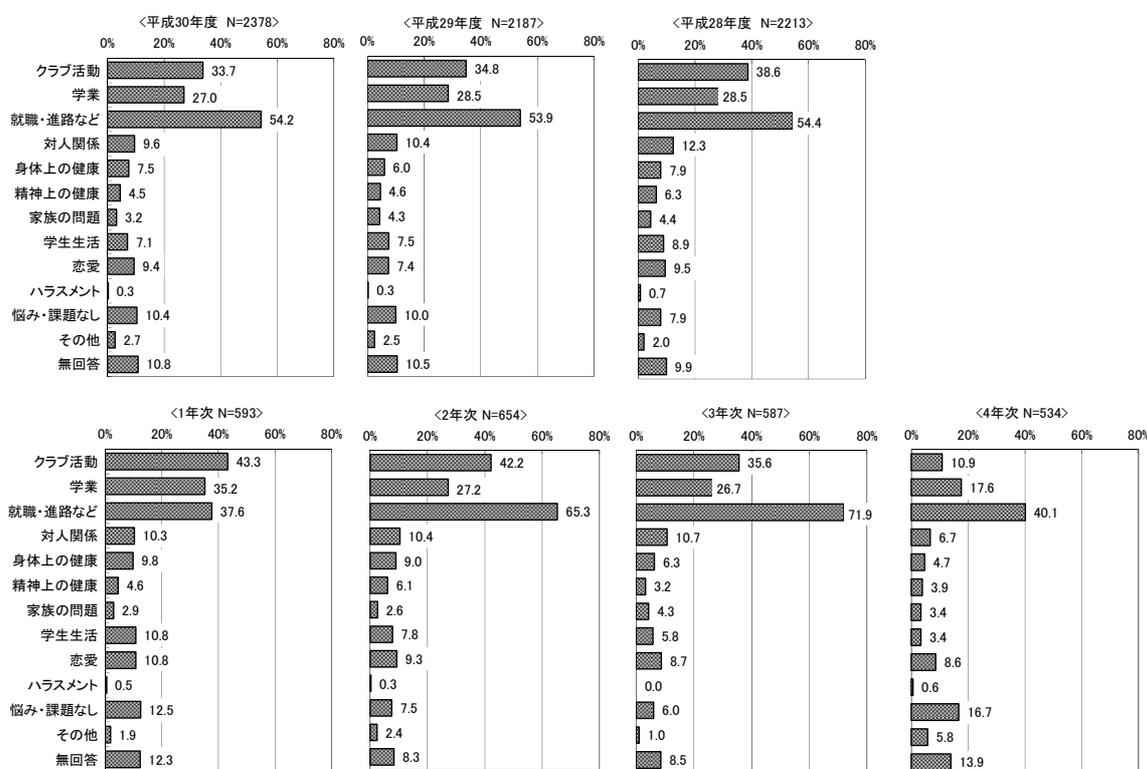
問32. 悩みや課題の具体的な内容としては「就職・進路など」が54.2%と他の項目と比べて最も多く、半数を占めている。次いで「クラブ活動」が33.7%、「学業」が27.0%となっている。

年次別でみると、1年次では「クラブ活動」が43.3%と最も多く、2年次以上になると「就職・進路など」が最も多くなり、3年次では71.9%と約7割まで上がっている。＜図32-A＞

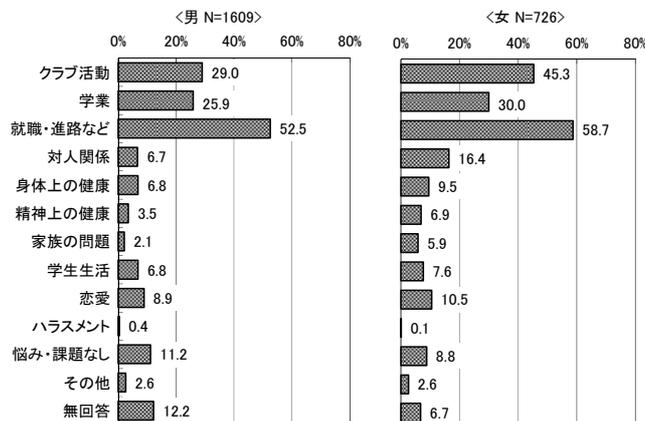
性別でみると、男女ともに「就職・進路など」が5割以上で最も多くなっている。次に、「クラブ活動」が男子学生は29.0%、女子学生は45.3%となっている。＜図32-B＞

■問32. 悩みや課題の具体的な内容（過年度調査・年次別・性別）

【図32-A 悩みや課題の具体的な内容】



【図32-B 悩みや課題の具体的な内容（性別）】

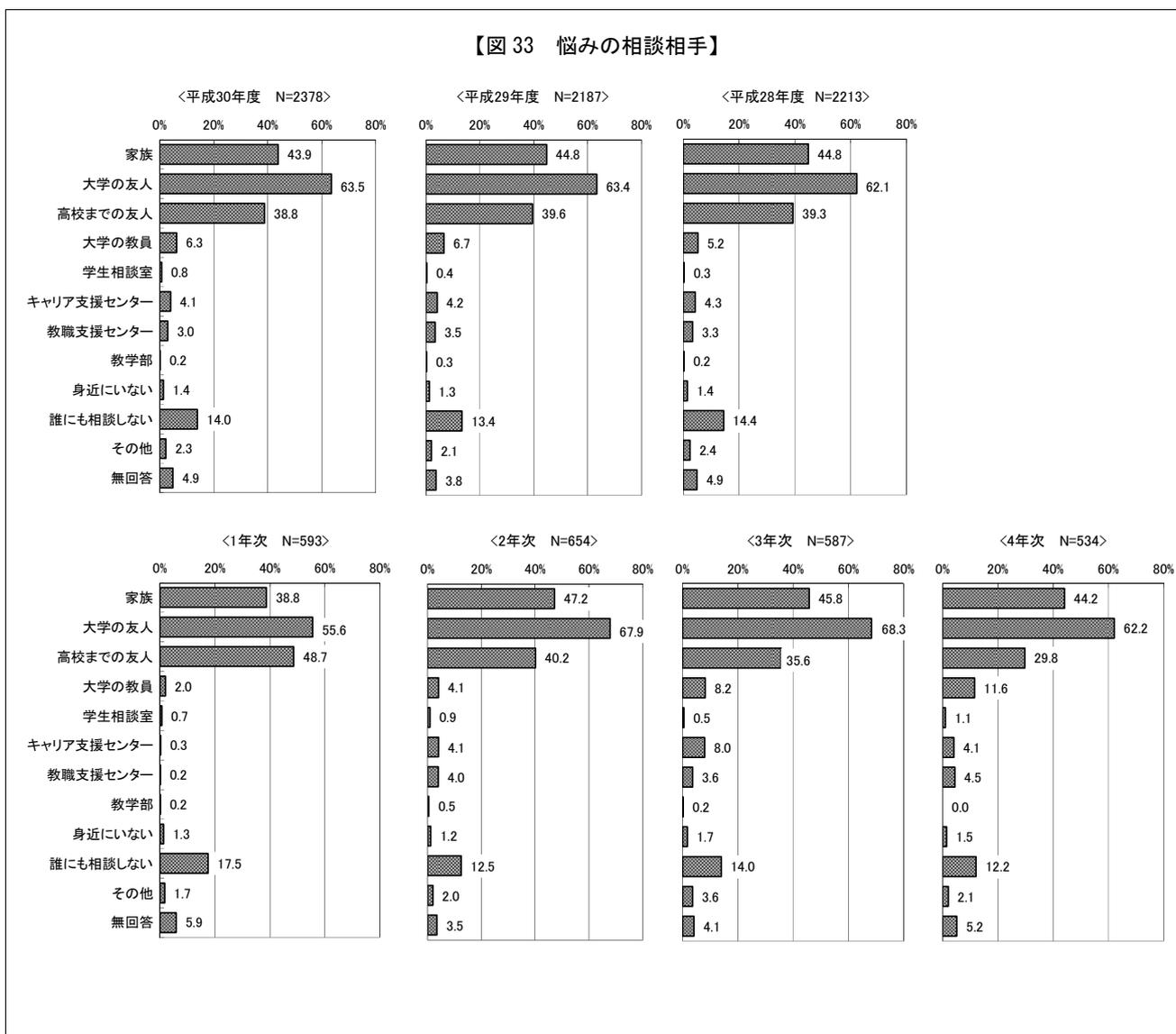


【結果概要（問33）】

問33. 悩みについて誰に相談するかでは「大学の友人」が63.5%で最も多く、次いで「家族」が43.9%、「高校までの友人」が38.8%となっている。また、「大学の教員」が6.3%、「キャリア支援センター」が4.1%、「教職支援センター」が3.0%、「学生相談室」が0.8%、「教学部」が0.2%と、大学関連部署への相談は低くなっている。

年次別でみると、「大学の友人」は3年次の68.3%が最も高くなっている。「大学の教員」は年次が上がるほど多くなっている。＜図33＞

■問33. 悩みの相談相手（過年度調査・年次別）



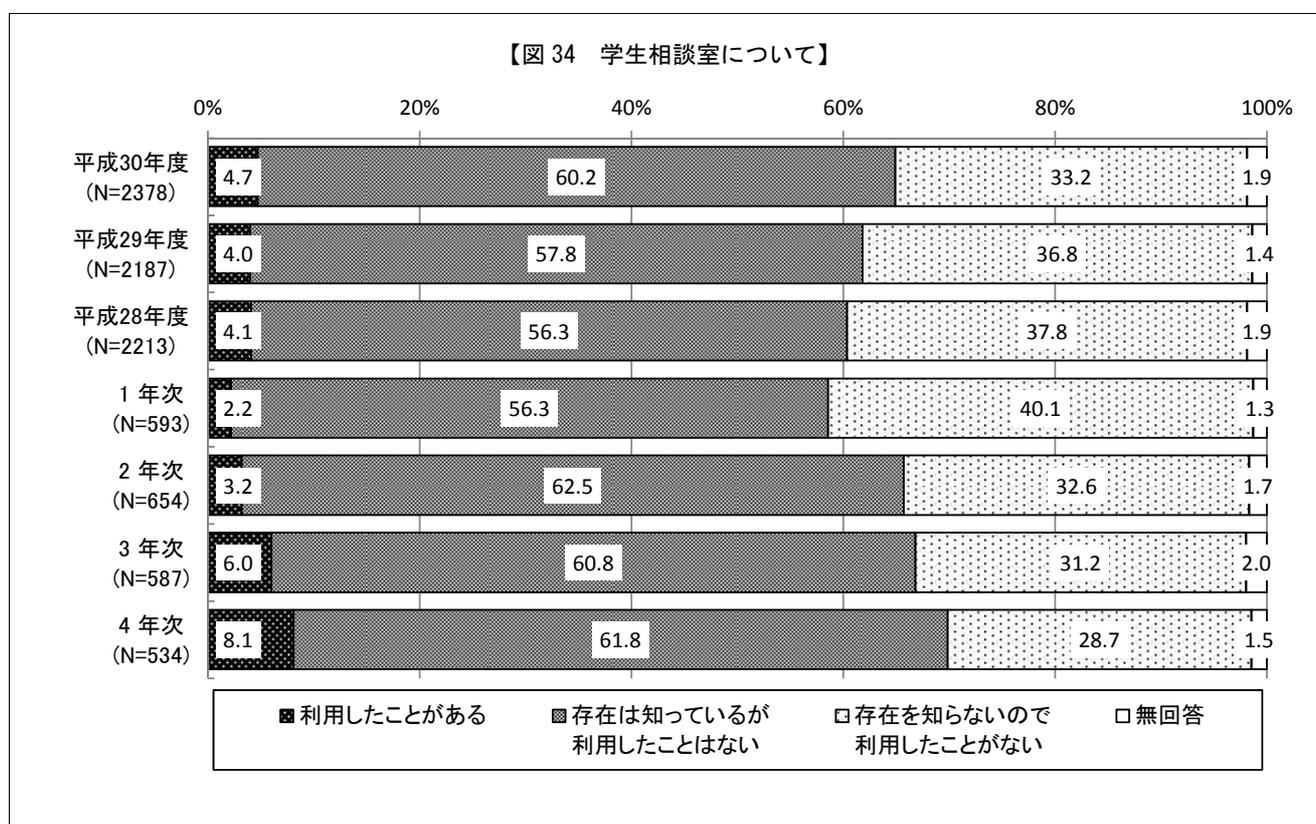
【結果概要（問34）】

問34. 学生相談室の利用状況としては、「存在は知っているが利用したことはない」が60.2%で、「利用したことがある」は4.7%にとどまっている。また、約3割の学生が「存在を知らない」ので利用したことがない」と回答している。

「利用したことがある」は前回調査から0.7ポイントの微増がみられたが、今回調査でも4.7%しか利用していないという結果となった。

年次別でみると、「存在は知っているが利用したことはない」が4年次でも61.8%となっており、年次が上がっても6割強と高くなっている。＜図34＞

■問34. 学生相談室について（過年度調査・年次別）



7. マナー等について

【結果概要（問35・問35-1）】

問35. マナーアップキャンペーンについては、「参加したことがある」が40.8%と最も高く、「キャンペーンをしていることは知っている」が37.6%、「全然知らない」が20.4%となっている。

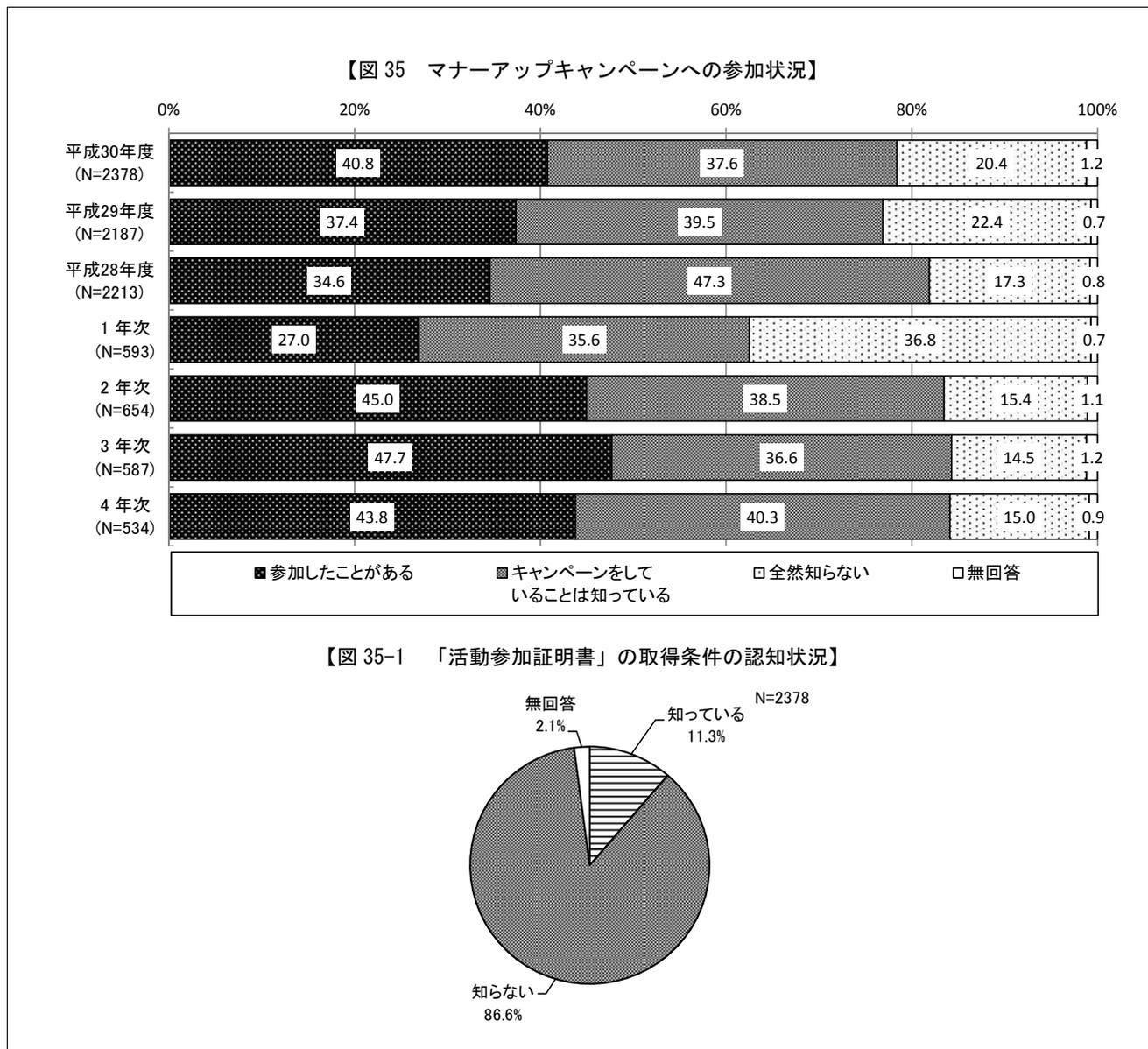
前回調査と比べると「参加したことがある」が3.4ポイント増加しており、参加率は年々上がってきている。

年次別でみると、「参加したことがある」は3年次の47.7%が最も高くなっている。<図35>

問35-1. マナーアップキャンペーンに5回参加したら「活動参加証明書」をもらえることについては、「知っている」が11.3%、「知らない」が86.6%となっており、あまり知られていない。<図35-1>

■問35. マナーアップキャンペーンへの参加状況（過年度調査・年次別）

■問35-1. 「活動参加証明書」の取得条件の認知状況

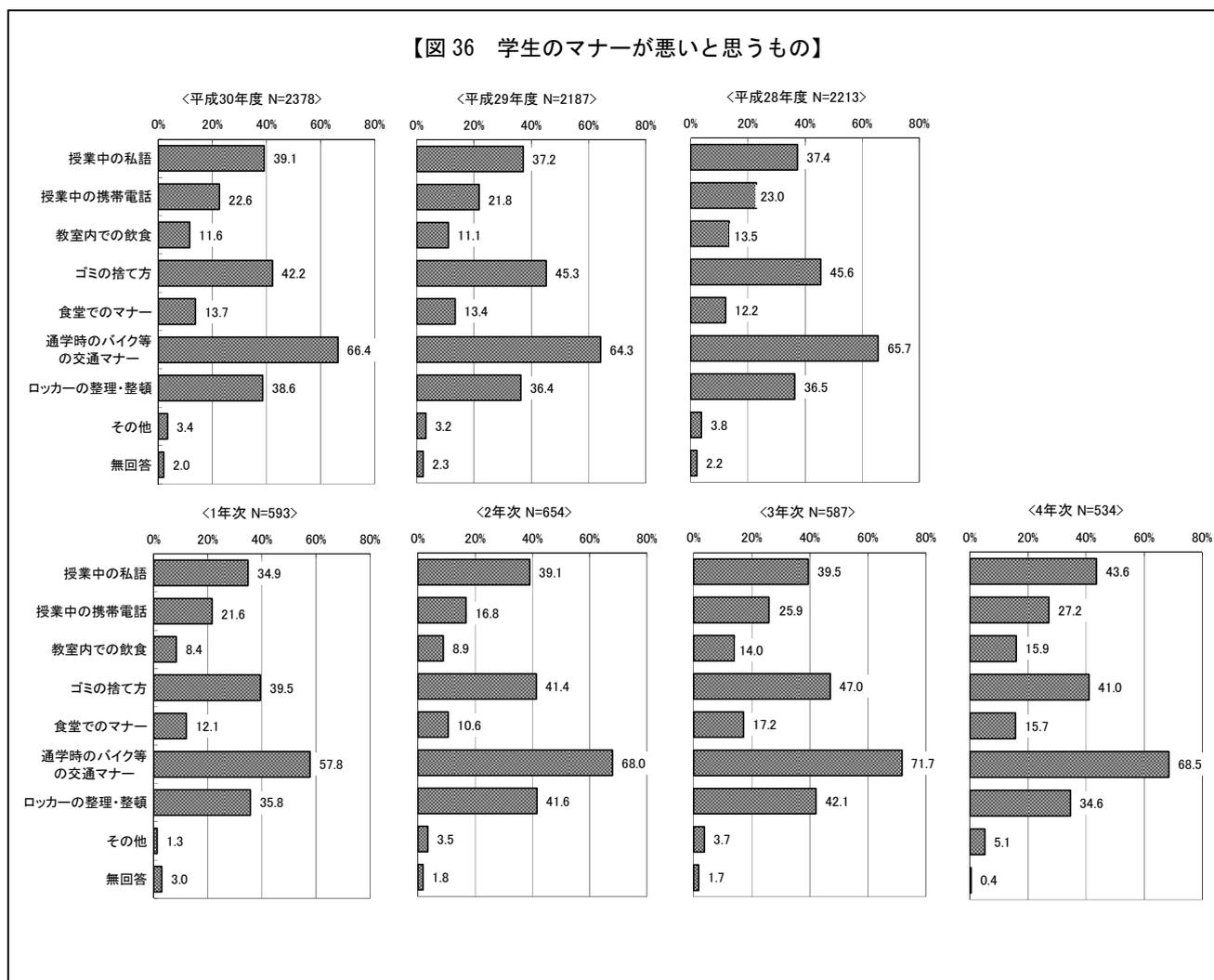


【結果概要（問36）】

問36. 学生のマナーが悪いと思うものとしては「通学時のバイク等の交通マナー」が66.4%と最も多く、次いで「ゴミの捨て方」が42.2%、「授業中の私語」が39.1%、「ロッカーの整理・整頓」が38.6%、「授業中の携帯電話」が22.6%と、以上が前回調査同様にワースト5である。

年次別でみると、「通学時のバイク等の交通マナー」は各年次とも第一位に挙げており、次いで1年次と3年次が「ゴミの捨て方」、2年次が「ロッカーの整理・整頓」、4年次が「授業中の私語」となっている。＜図36＞

■問36. 学生のマナーが悪いと思うもの（過年度調査・年次別）



【結果概要（問37）】

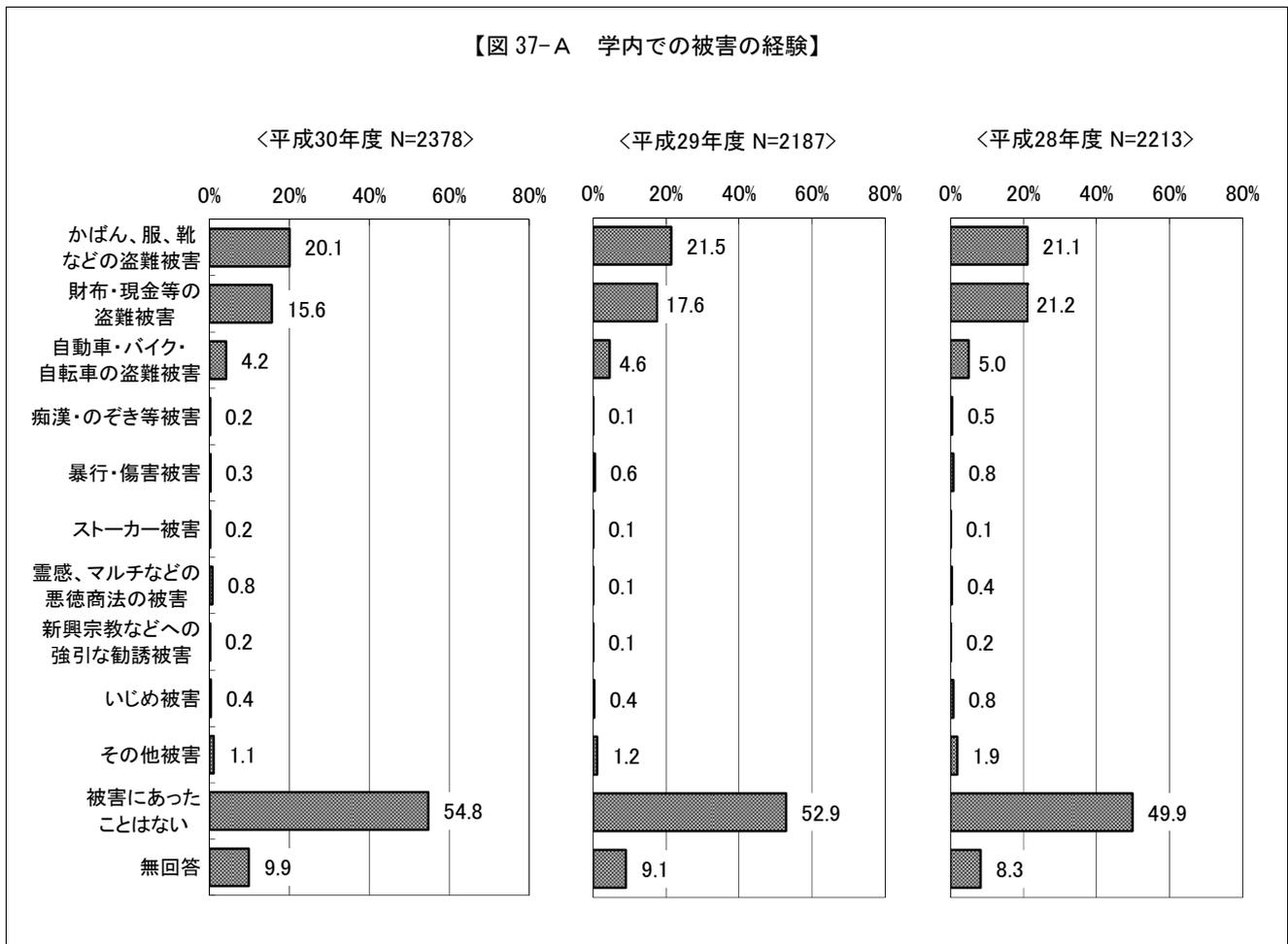
問37. 学内での被害経験としては何らかの被害を受けたことがある学生は全体の35.3%で、その内訳としては「かばん、服、靴などの盗難被害」が20.1%で最も多く、次いで「財布・現金等の盗難被害」が15.6%、「自動車・バイク・自転車の盗難被害」が4.2%となっており、上位は前回調査と同様であった。＜図37-A＞

所属学部・学科別でみると、何らかの被害を受けたことがある学科は体育学部スポーツ教育学科が38.4%で最も多くなっている。＜図37-B＞

年次別でみると、「財布・現金等の盗難等」、「自動車・バイク・自転車の盗難被害」は年次が上がるごとに増加している。＜図37-C＞

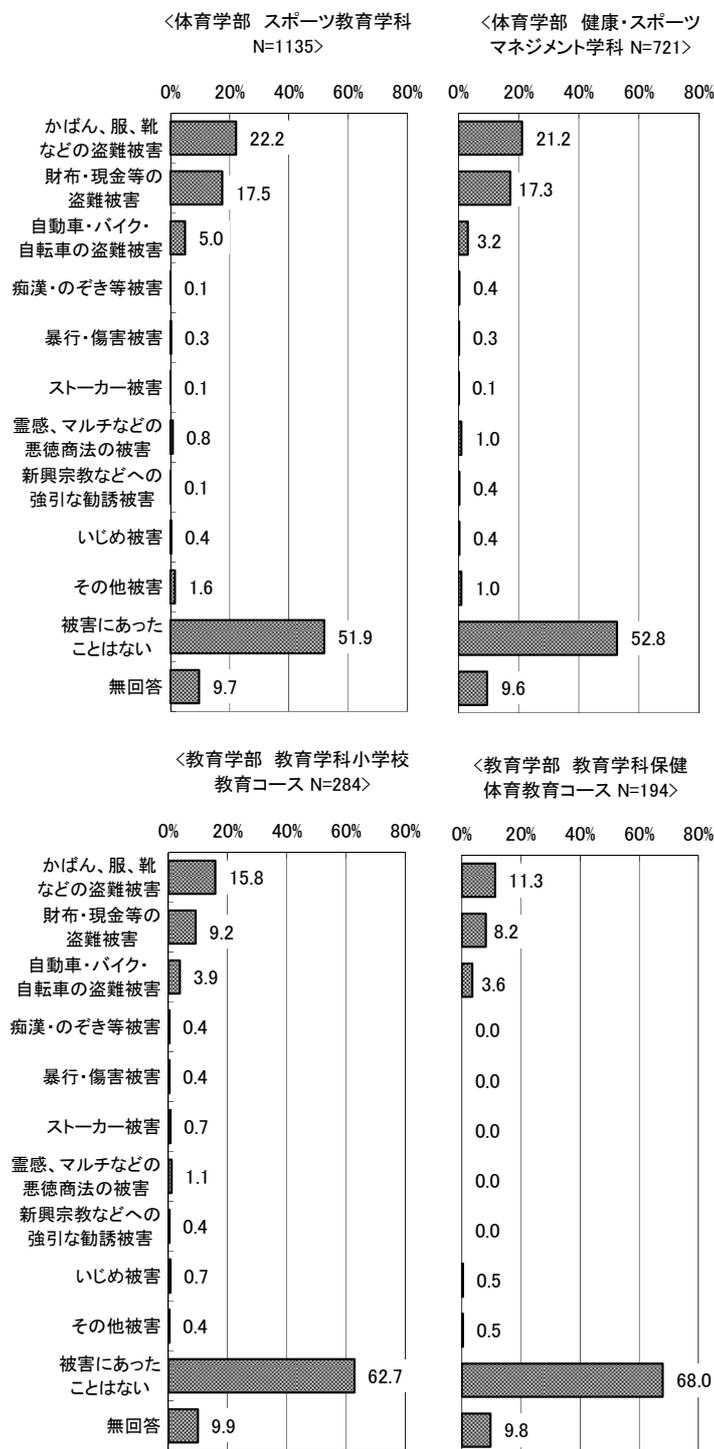
性別では、何らかの被害を受けたことがある学生は男子学生が39.4%、女子学生が25.5%と男子学生の方が13.9ポイント高くなっている。＜図37-D＞

■問37. 学内での被害の経験（過年度調査）



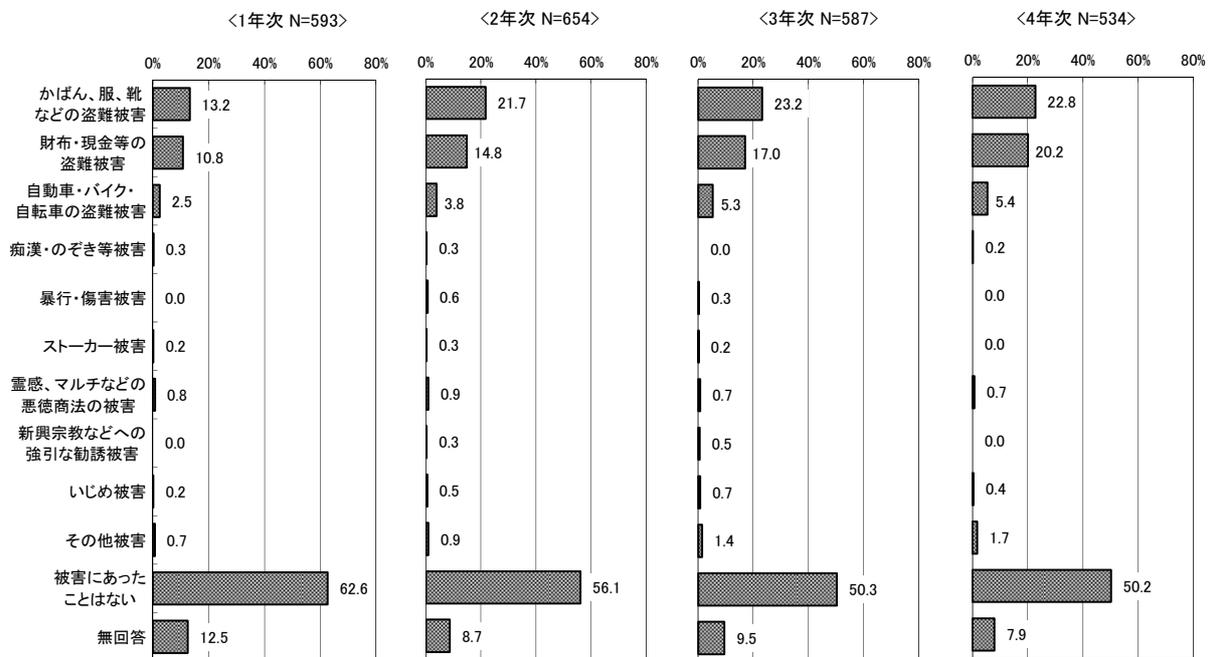
■問37. 学内での被害の経験（学科別調査）

【図37-B 学内での被害経験（学科別）】

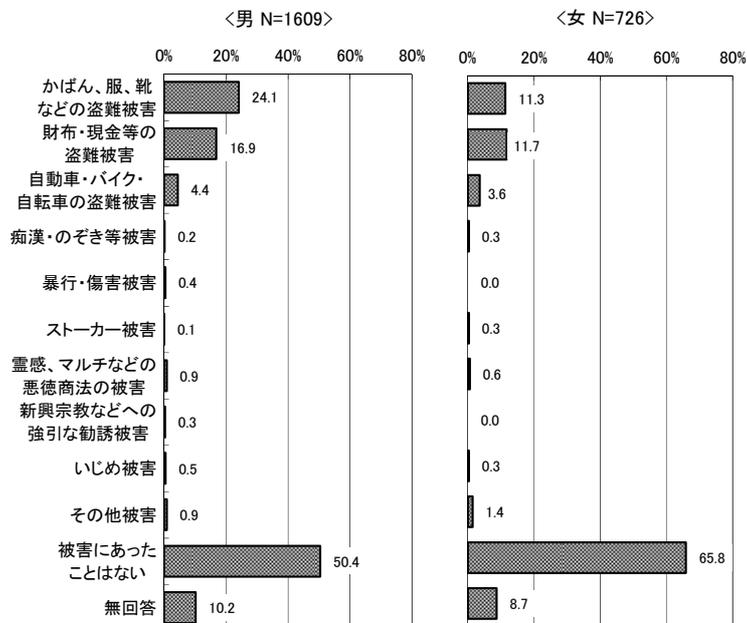


■問37. 学内での被害の経験（年次別・性別調査）

【図37-C 学内での被害経験（年次別）】



【図37-D 学内での被害経験（性別）】



8. 進路と就職について

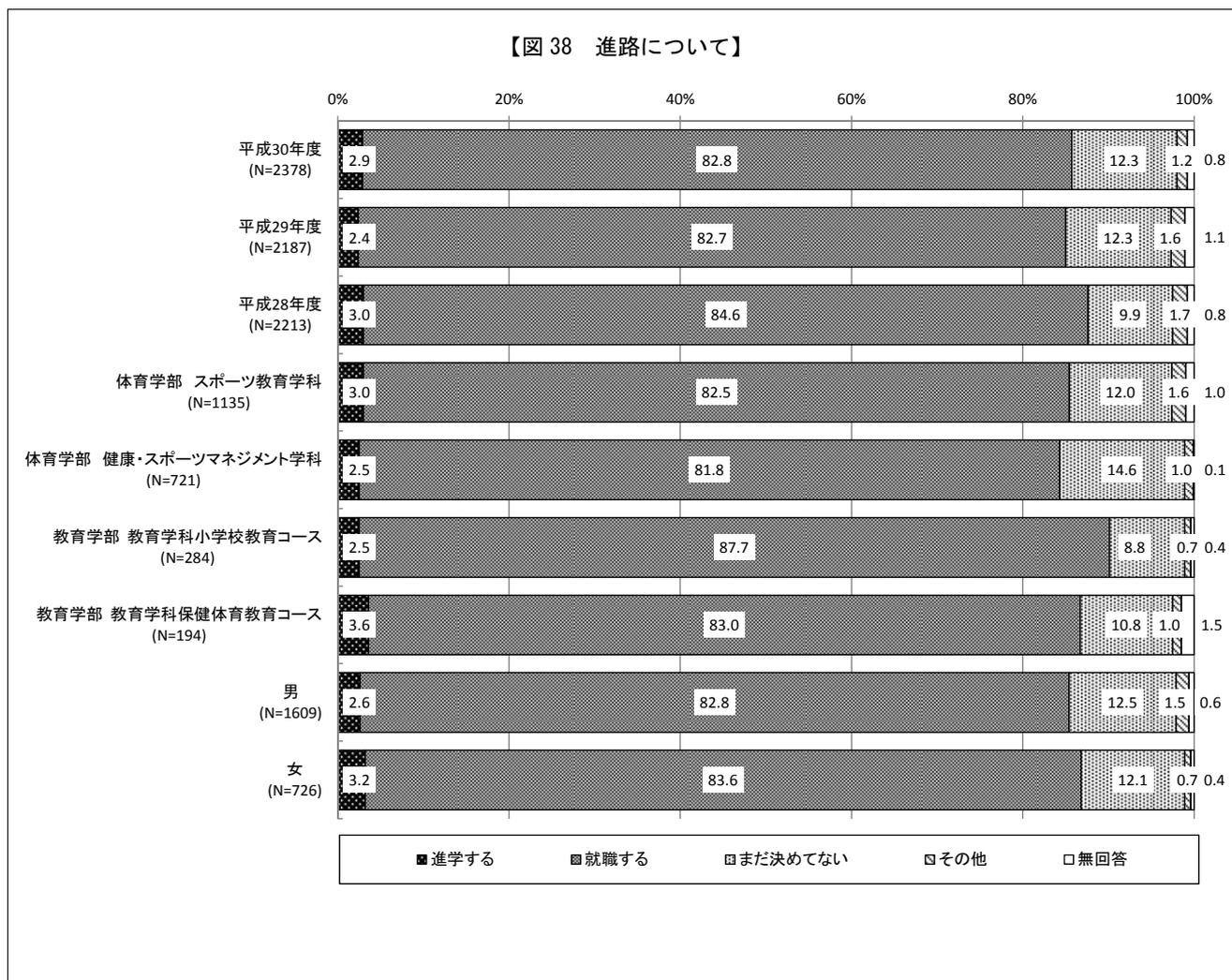
【結果概要（問38）】

問38. 将来の進路については、「就職する」が82.8%と8割以上を占めている。

所属学部・学科別では、「就職する」は教育学部教育学科小学校教育コースの87.7%が最も高くなっている。

性別では、「就職する」は男女ともに8割を超えている。＜図38＞

■問38. 進路について（過年度調査・学科別・性別）



【結果概要（問39）】

問39. 進路を考える上での情報入手手段としては、「先輩・知人」が65.6%と最も多く、次いで「インターネット」が44.9%、「家族」が31.8%、「指導教員」が29.9%となっている。＜図39-A＞

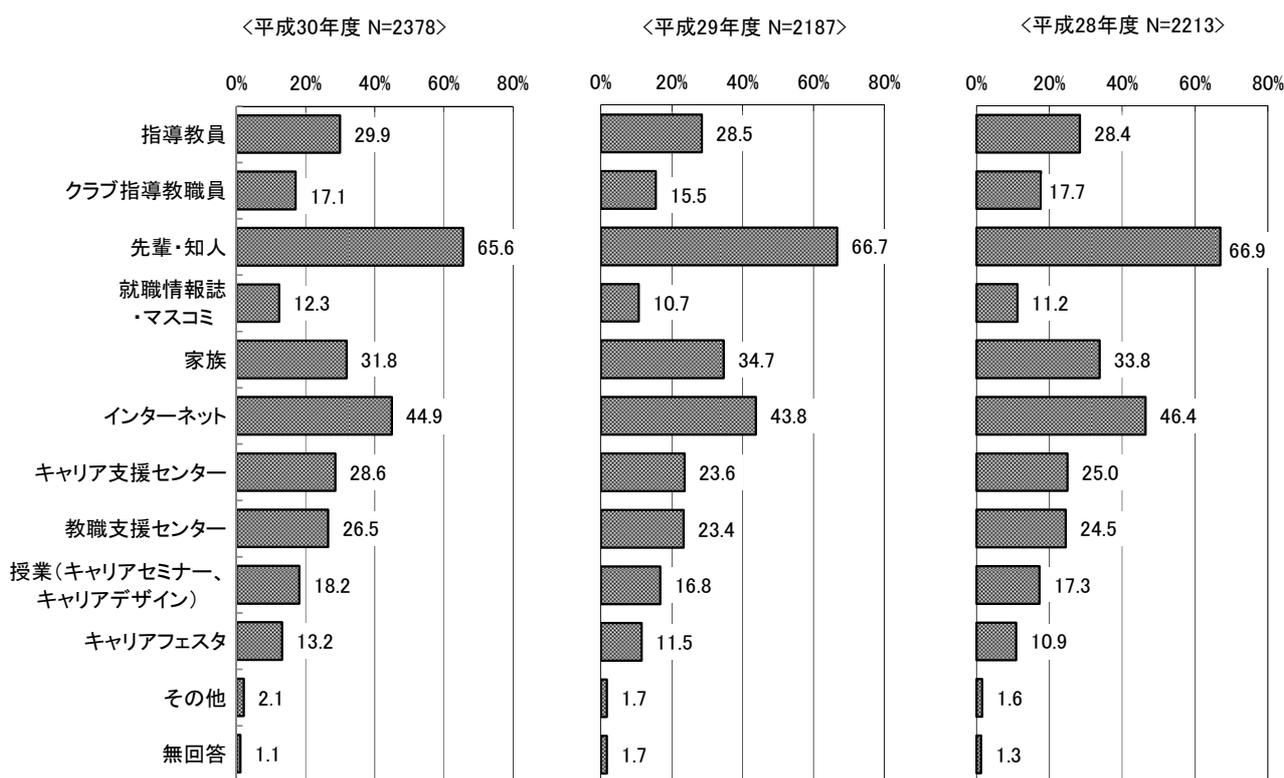
所属学部・学科別では、「先輩・知人」が各学科ともに割合が高くなっている。「クラブ指導教職員」については体育学部スポーツ教育学科が23.5%と他の学部・学科と比べて大きく差が出ている。＜図39-B＞

年次別でみると、各年次とも「先輩・知人」が最も多くなっている。＜図39-C＞

性別では、「キャリア支援センター」や「教職支援センター」で男性より女性の割合が高くなっている。＜図39-D＞

■問39. 進路を考える上での情報入手手段（過年度調査）

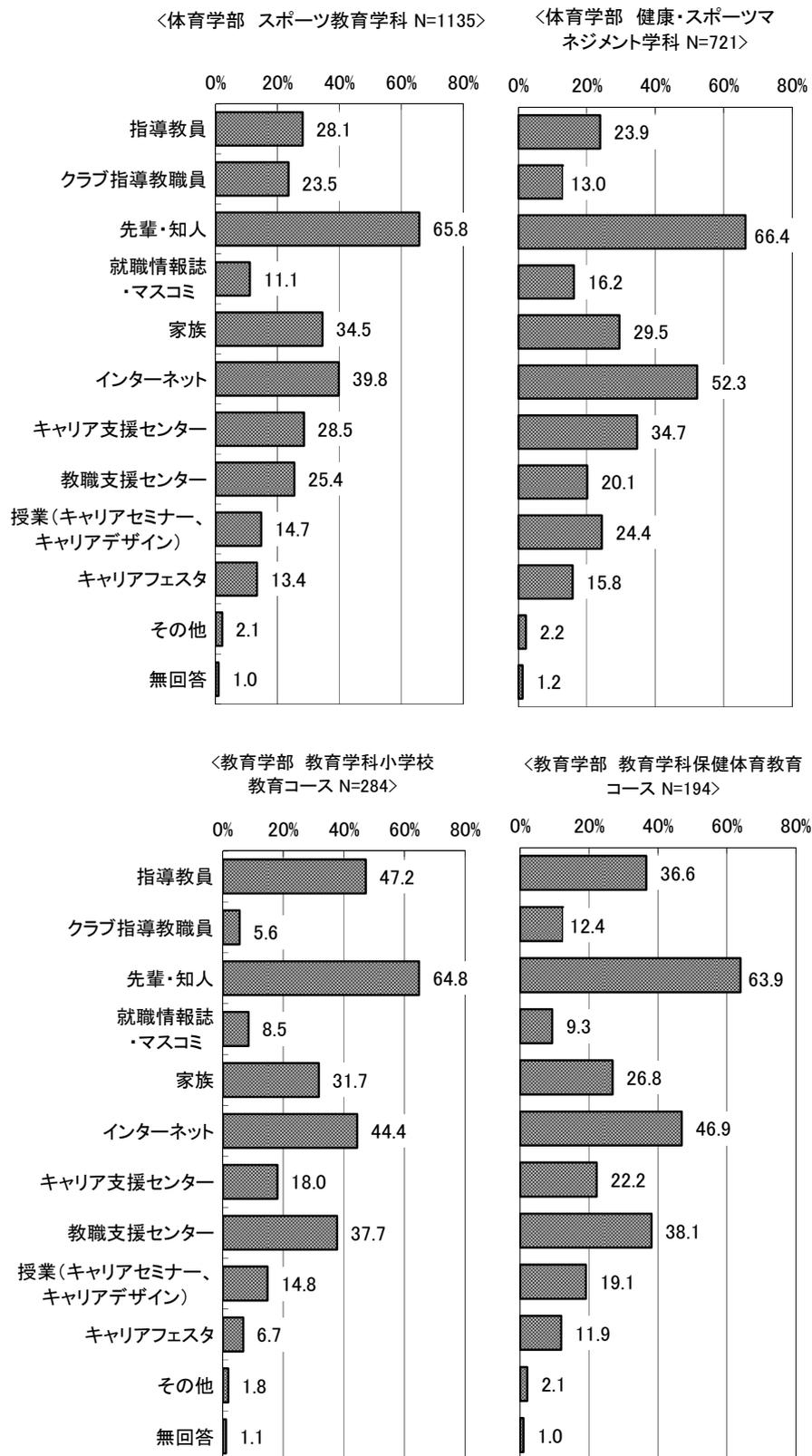
【図39-A 進路を考える上での情報入手手段】



※前回調査より「授業（キャリアセミナー、キャリアデザイン）」「キャリアフェスタ」の選択肢を増やしている。そのため、前々回調査では「該当なし」。←この文章は消去

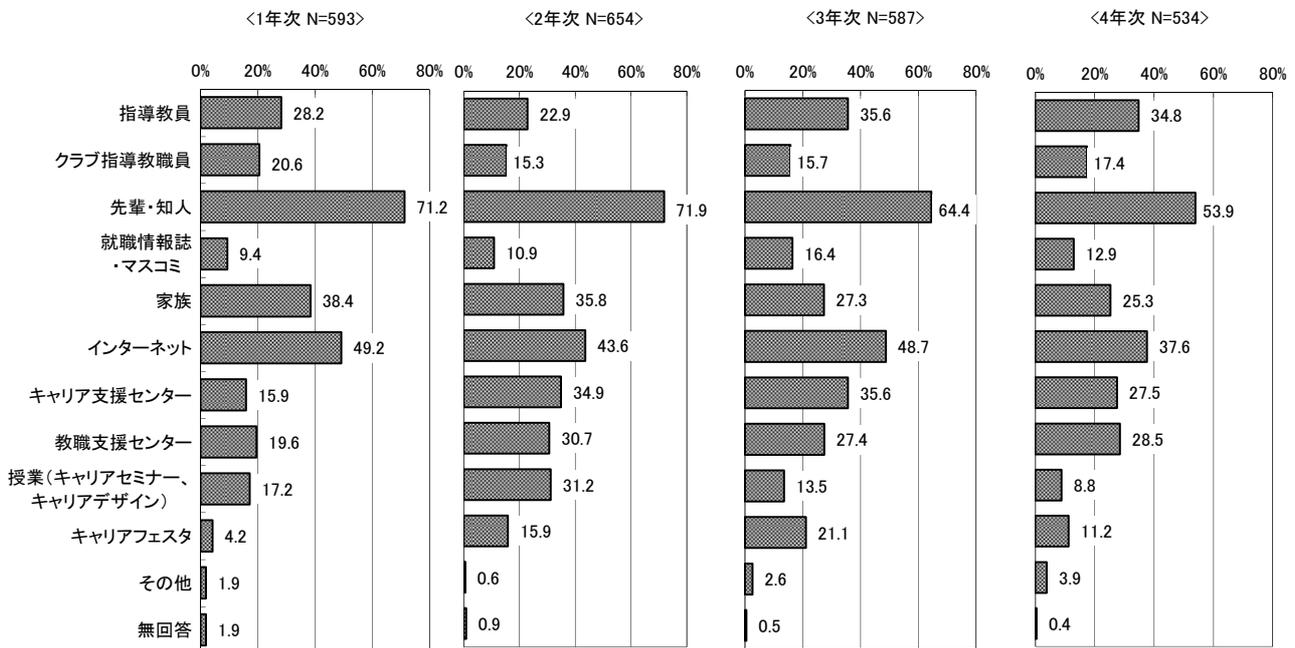
■問39. 進路を考える上での情報入手手段（学科別）

【図39-B 進路を考える上での情報入手手段（学科別）】

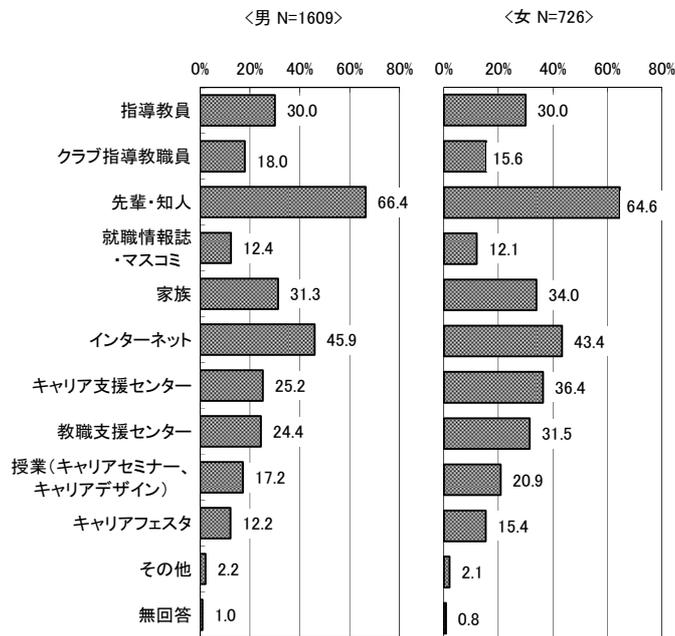


■問39. 進路を考える上での情報入手手段（年次別・性別）

【図 39-C 進路を考える上での情報入手手段（年次別）】



【図 39-D 進路を考える上での情報入手手段（性別）】



【結果概要（問40）】

問40. 将来の希望職種については、「教員」が50.2%で最も多く、次に「企業」が42.2%となっている。＜図40-A＞

所属学部・学科別では、体育学部健康・スポーツマネジメント学科以外では「教員」が多くなっており、特に教育学部教育学科小学校教育コースは8割以上を占めている。体育学部スポーツ教育学科では「プロ・実業団選手」が14.0%と、他の学部・学科と比べて大きく差が出ている。

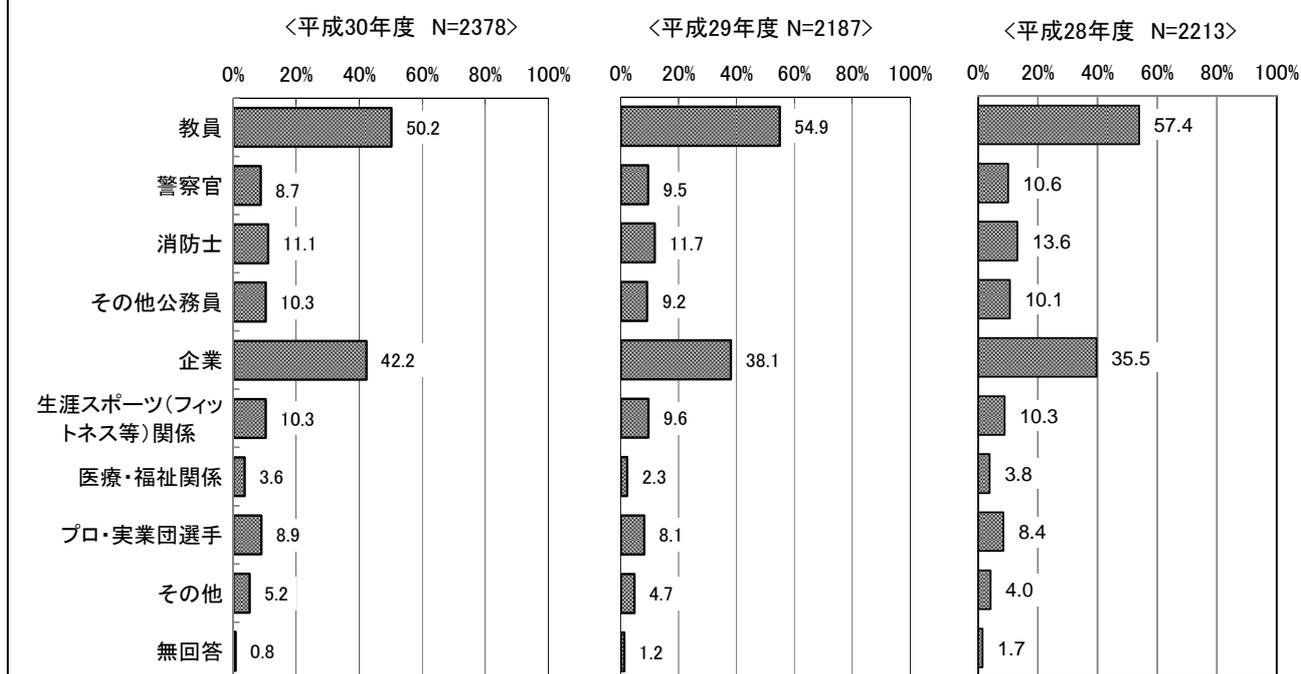
＜図40-B＞

年次別でみると、「教員」の希望は1年次で64.9%と最も多くなっているが、年次が上がるにつれ割合は低くなり、4年次では39.3%まで下がっている。＜図40-C＞

性別でみると、男女とも「教員」が最も多く、次に「企業」となっている。そのほかでは男子学生は「消防士」（15.2%）、「その他公務員」（10.7%）の希望が多く、女子学生は「生涯スポーツ（フィットネス等）関係」（13.8%）、「その他公務員」（10.1%）の希望が多くなっている。＜図40-D＞

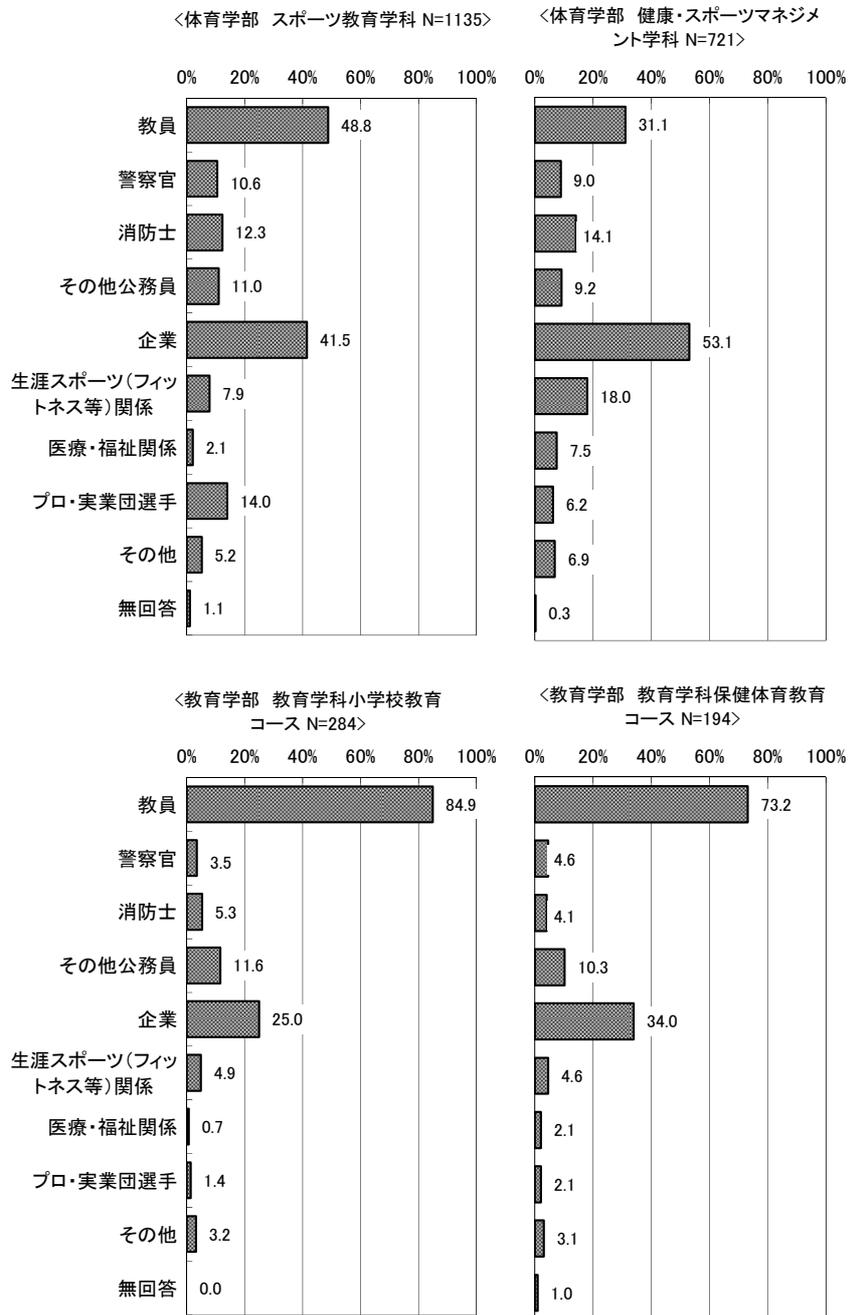
■問40. 将来の希望職種（過年度調査）

【図40-A 将来の希望職種】



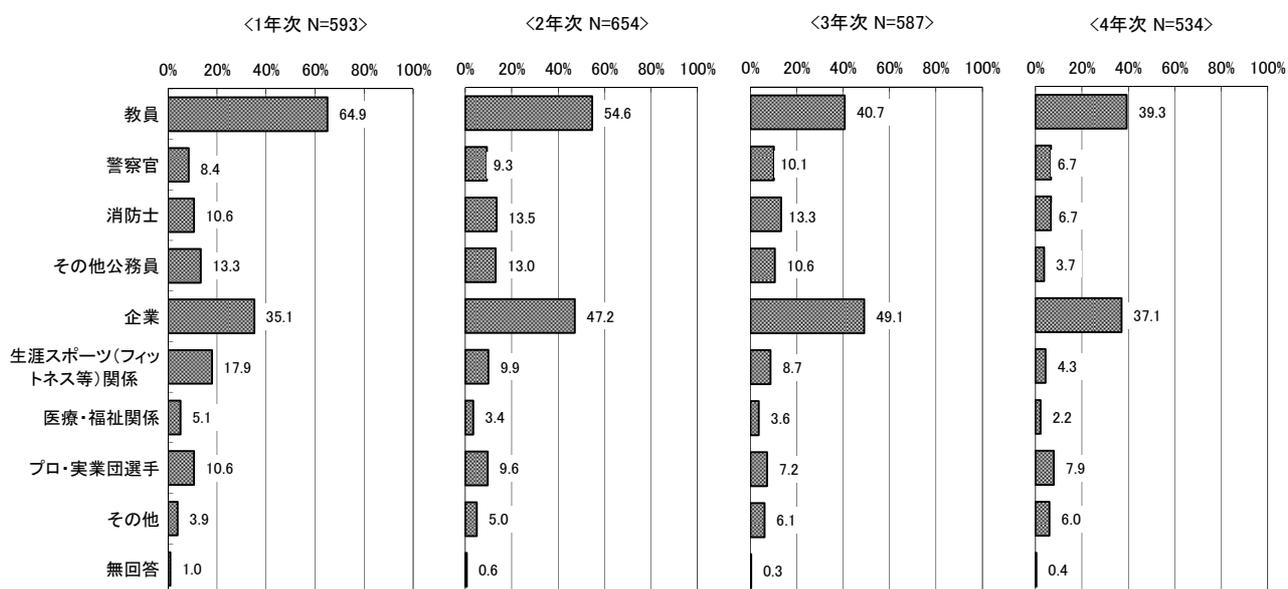
■問40. 将来の希望職種（学科別）

【図40-B 将来の希望職種（学科別）】

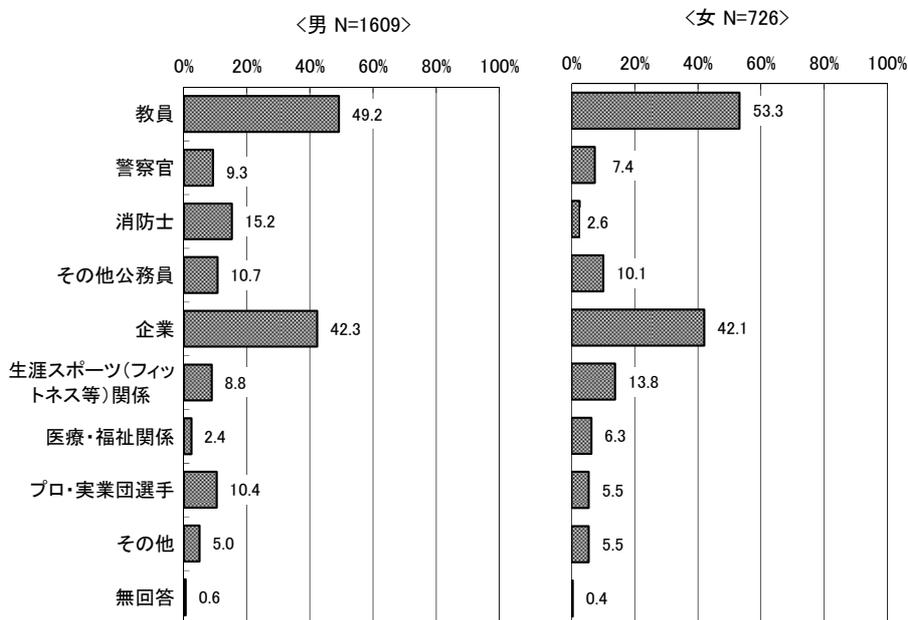


■問40. 将来の希望職種（年次別・性別）

【図40-C 将来の希望職種（年次別）】



【図40-D 将来の希望職種（性別）】



【結果概要（問41）】

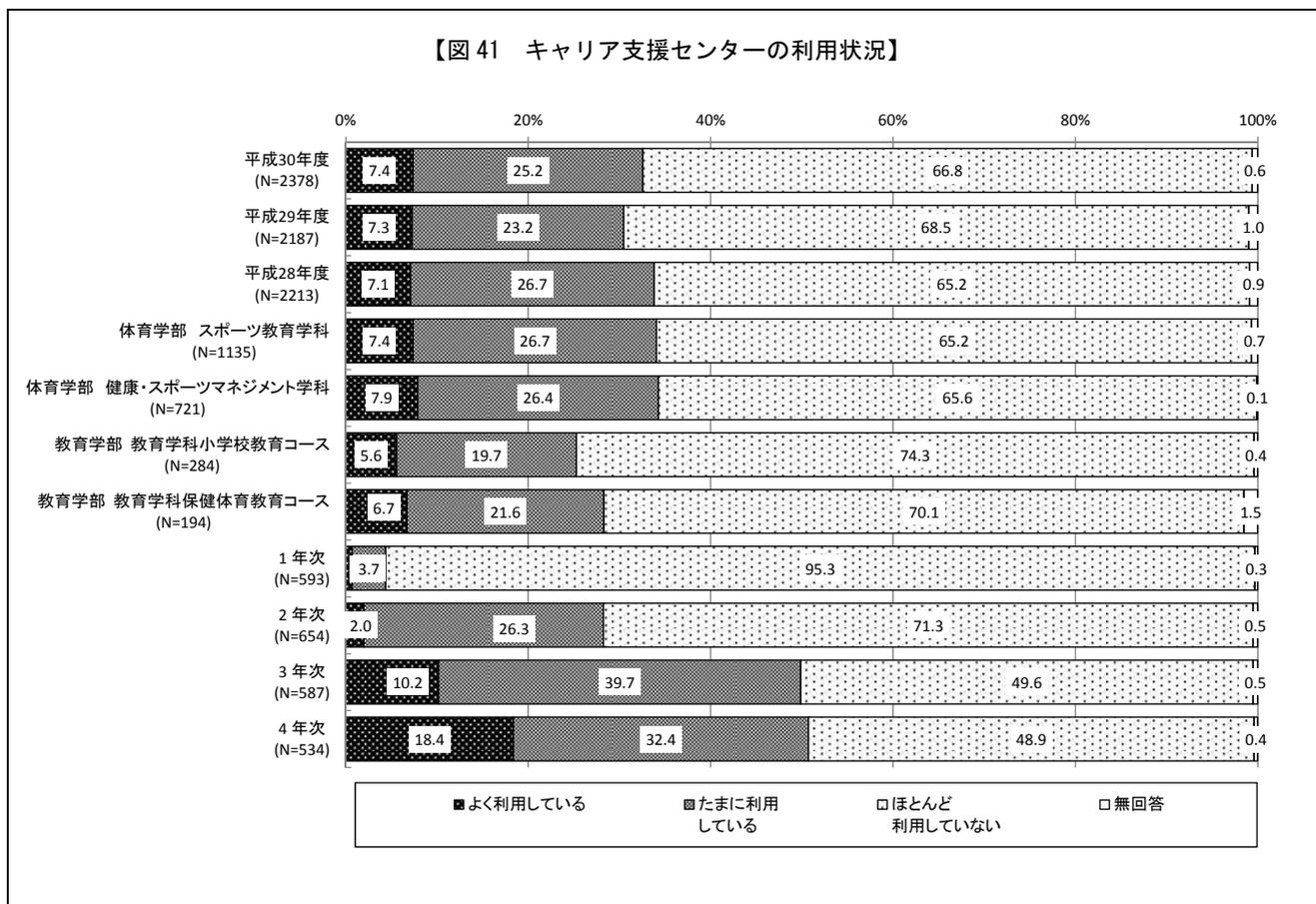
問41. キャリア支援センターの利用状況としては、「よく利用している」が7.4%、「たまに利用している」が25.2%に対して、「ほとんど利用していない」が66.8%となっている。

前回調査では、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた利用率は30.5%であったが、今回調査では32.6%と2.1ポイント増加している。

所属学部・学科別でみると、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた利用率は、利用率が高い順に体育学部健康・スポーツマネジメント学科（34.3%）、体育学部スポーツ教育学科（34.1%）、教育学部教育学科保健体育教育コース（28.3%）、教育学部教育学科小学校教育コース（25.3%）となっている。

年次別でみると、「よく利用している」は4年次で18.4%と、他の年次と比べて最も利用率が高くなっている。＜図41＞

■問41. キャリア支援センターの利用状況（過年度調査・学科別・年次別）



【結果概要（問41-1）】

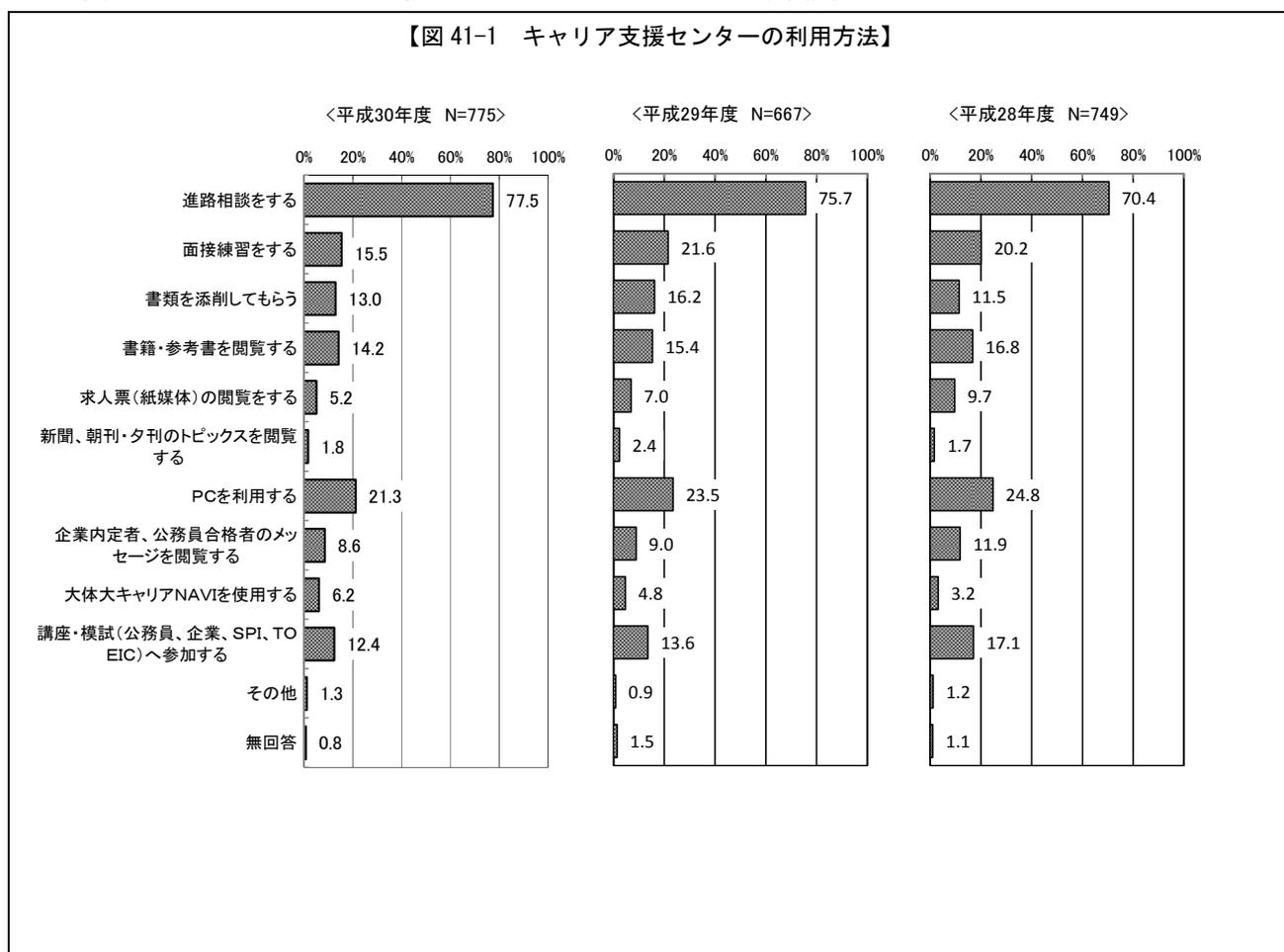
問41-1. キャリア支援センターの利用方法としては、「進路相談する」が77.5%と最も多く、次に「PCを利用する」が21.3%となっている。

年次別でみると、すべての年次において「進路相談する」が最も高くなっている。また、4年次は「面接の練習をする」(39.1%)と「書類を添削してもらう」(26.9%)の割合が高くなっている。

男女別でみると、「PCを利用する」は男子学生15.0%に対して女子学生は33.1%と女子学生の割合が高くなっている。<図41-1>

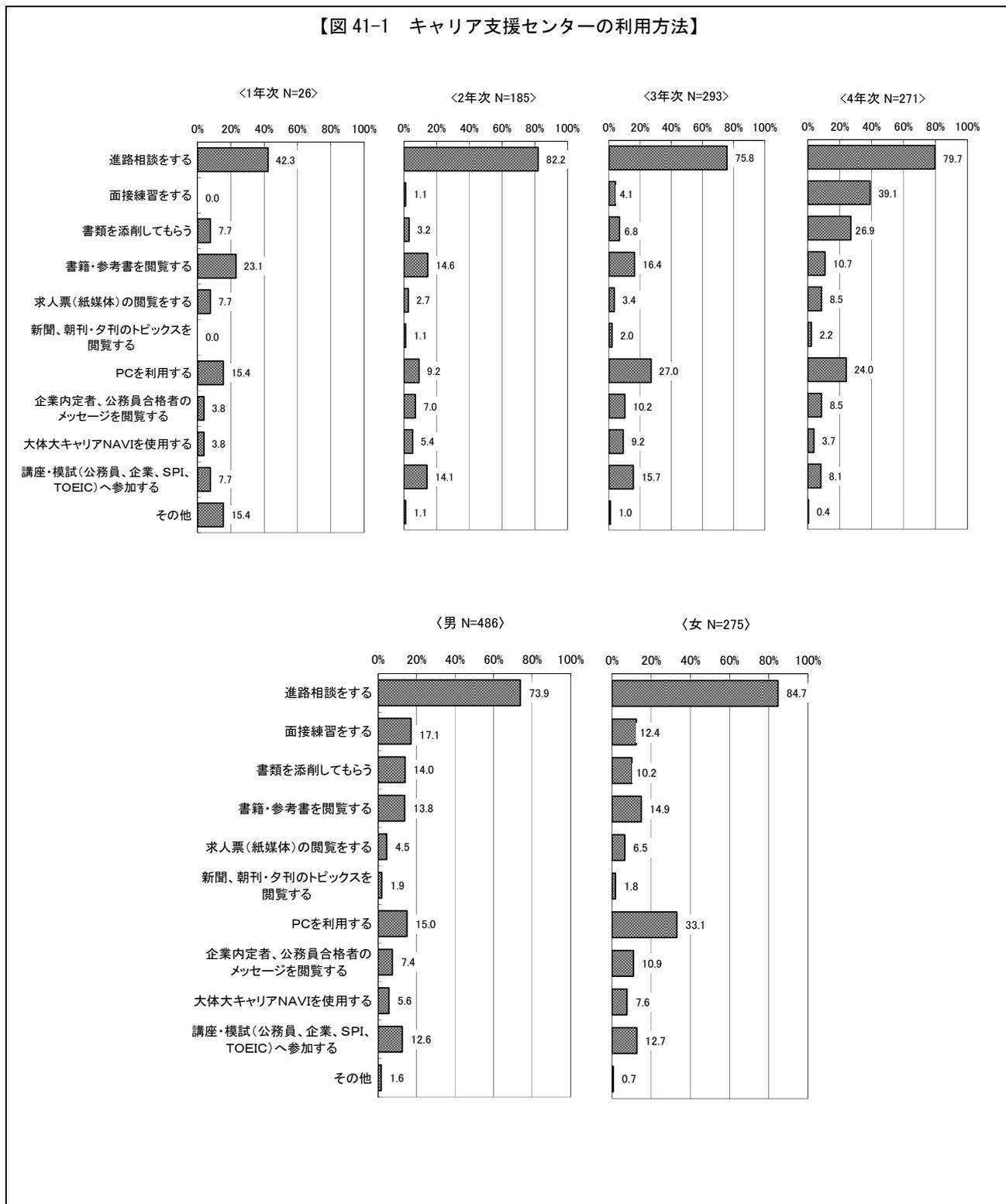
■問41-1. キャリア支援センターの利用方法（過年度調査）

【図41-1 キャリア支援センターの利用方法】



■問41-1. キャリア支援センターの利用方法（年次別・男女別）

【図41-1 キャリア支援センターの利用方法】



【結果概要（問41-2）】

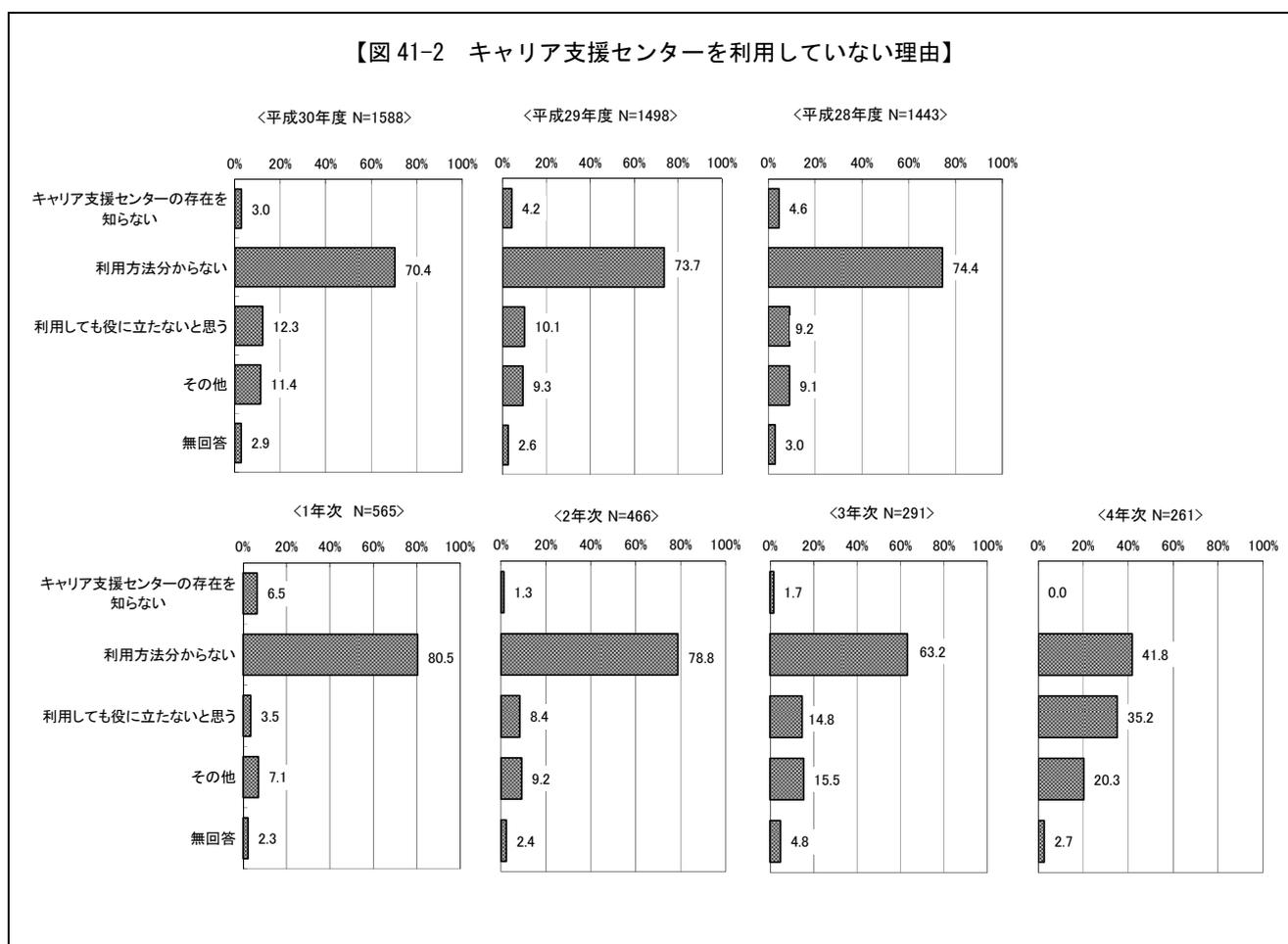
問41-2. キャリア支援センターを利用していない理由としては、「利用方法がわからない」が70.4%と利用していない理由の7割を占めている。

前回調査と比べると、「キャリア支援センターの存在を知らない」が1.2ポイント減少、「利用方法がわからない」が3.3ポイント減少、「利用しても役に立たないと思う」が2.2ポイント増加となっている。

年次別でみると、4年次の「利用方法がわからない」は41.8%と他の年次に比べて割合は低くなっているが、「利用しても役に立たないと思う」の35.2%は他の年次と比べて高くなっている。

<図41-2>

■問41-2. キャリア支援センターを利用していない理由（過年度調査・年次別）



【結果概要（問42）】

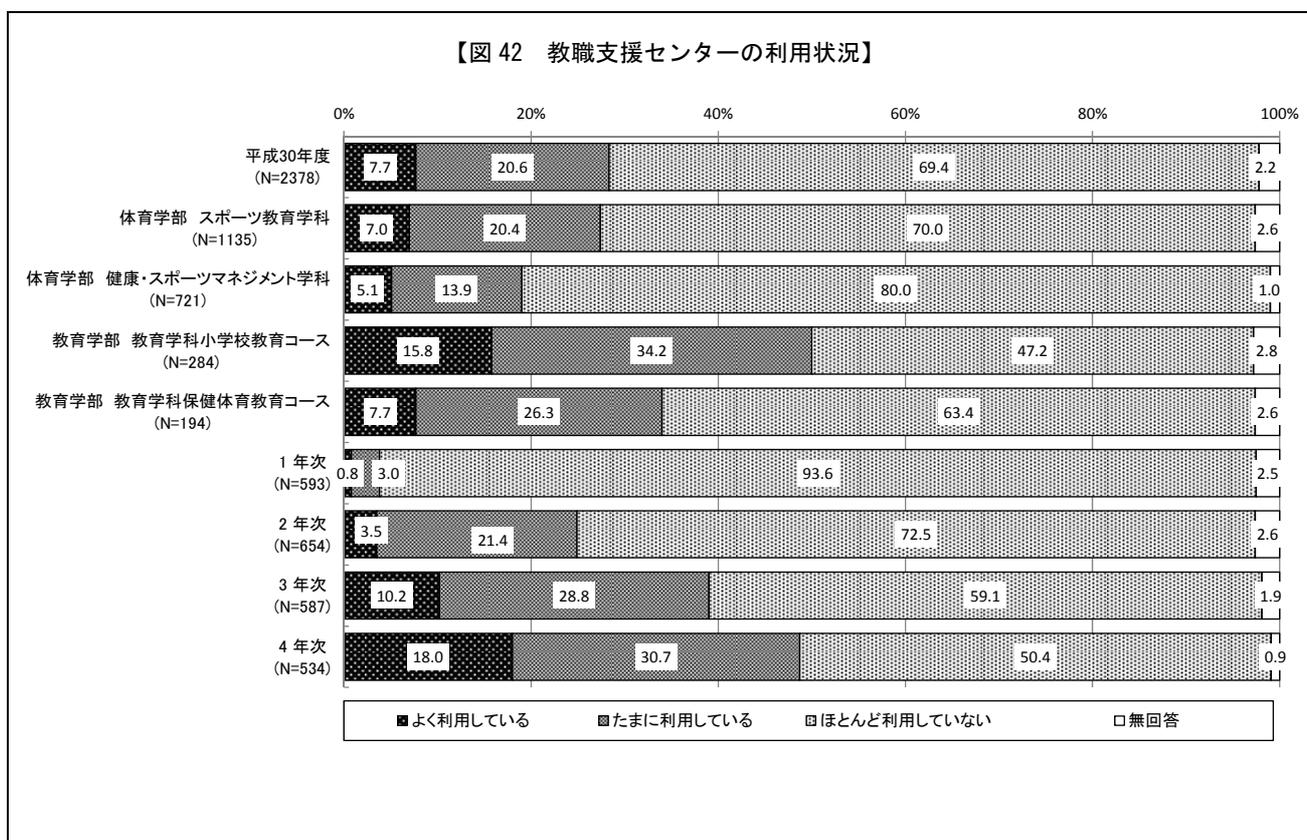
問42. 教職支援センターの利用について、「ほとんど利用していない」が69.4%で最も多く、次に「たまに利用している」が20.6%となっている。

所属学部・学科別でみると、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた「利用している」は、教育学部教育学科小学校教育コースが50.0%で最も高く、次に教育学部教育学科保健体育教育コースの34.0%となっている。

年次別では、4年次の「よく利用している」(18.0%)が他の年次と比べ最も高くなっている。

<図42>

■問42. 教職支援センターの利用状況（過年度調査・学科別・年次別）

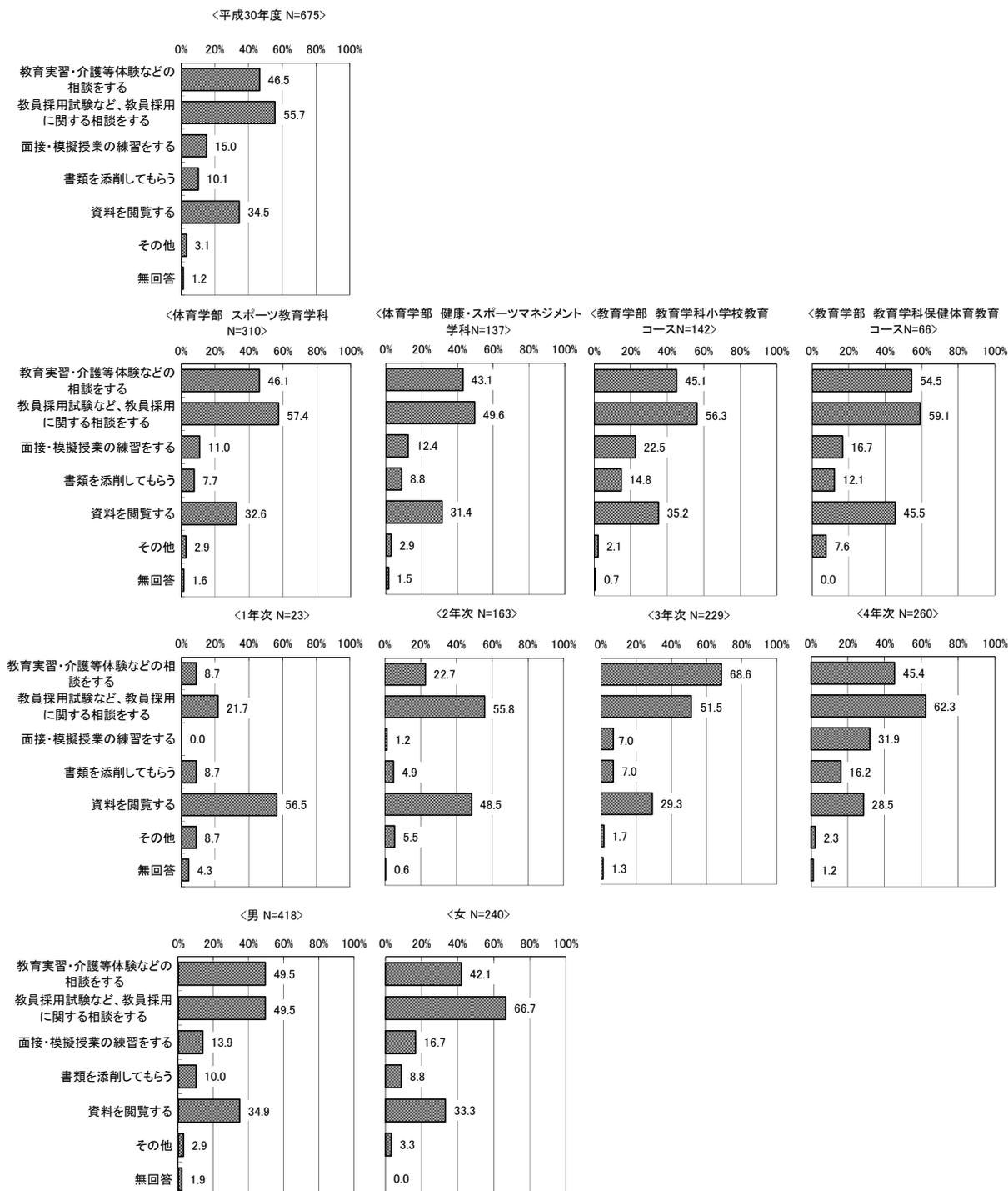


【結果概要（問42-1）】

問42-1. 教職支援センターの利用方法については、「教員採用試験など、教員採用に関する相談をする」が55.7%と最も多く、次に「教育実習・介護等体験などの相談をする」が46.5%となっている。<図42-1>

■問42-1. 教職支援センターの利用方法について（過年度調査・学科別・年次・性別）

【図42-1 教職支援センターの利用方法】

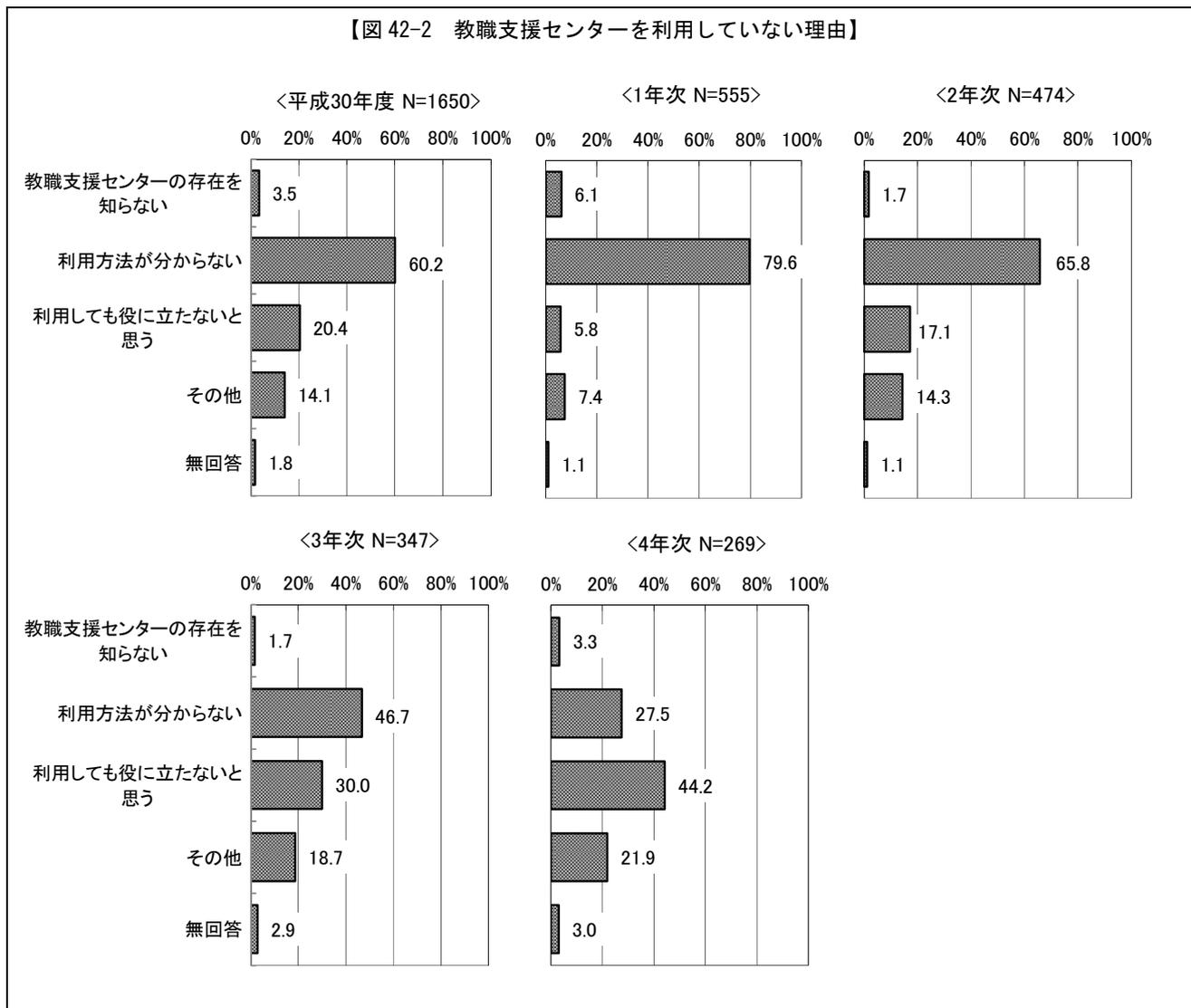


【結果概要（問42-2）】

問42-2. 教員支援センターの利用しない理由については、「利用方法が分からない」が60.2%と最も多く、次に「利用しても役に立たないと思う」が20.4%となっている。

年次別でみると、「利用方法が分からない」は1年次で79.6%、2年次で65.8%となっている。しかし、3年次では、「利用方法が分からない」は46.7%、4年次は27.5%と1~2年次に比べると減少している。また、「利用しても役に立たないと思う」は年次が上がるごとに増加しており、1年次5.8%に対し4年次では44.2%まで上がっている。＜図42-2＞

■問42-2. 教職支援センターを利用していない理由（年次別）



9. ボランティア活動について

【結果概要（問43）】

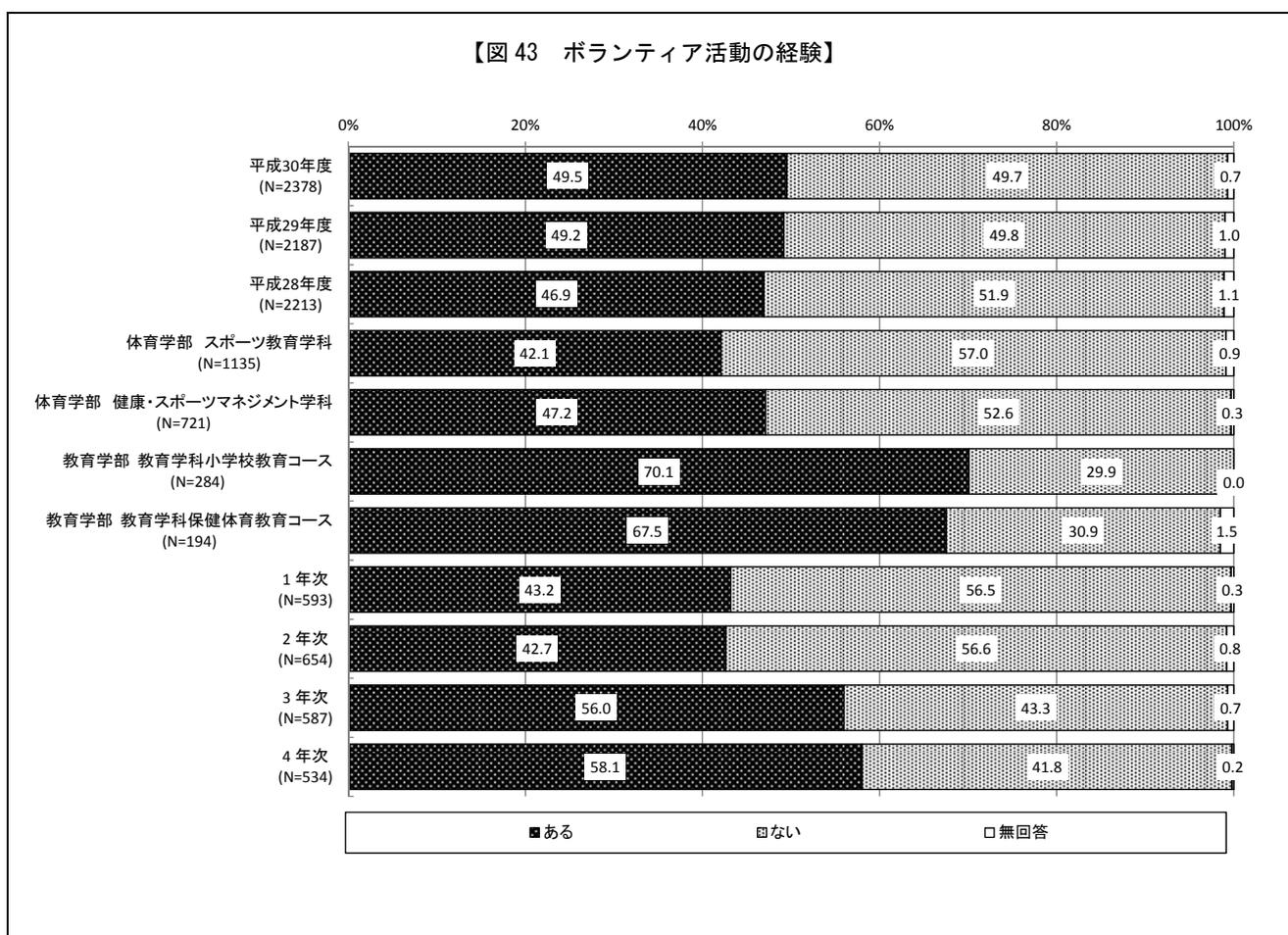
問43. ボランティア活動の経験としては、「ある」が49.5%、「ない」が49.7%となっている。

前回調査に比べ、今回調査では「ある」(49.5%)が0.3ポイント増加している。

所属学部・学科別では、教育学部教育学科小学校教育コースの「ある」が70.1%と最も多く、次に教育学部教育学科保健体育教育コースが67.5%となっている。

年次別では、3年次以上では「ある」が「ない」を上回っている。<図43>

■問43. ボランティア活動の経験（過年度調査・学科別・年次別）



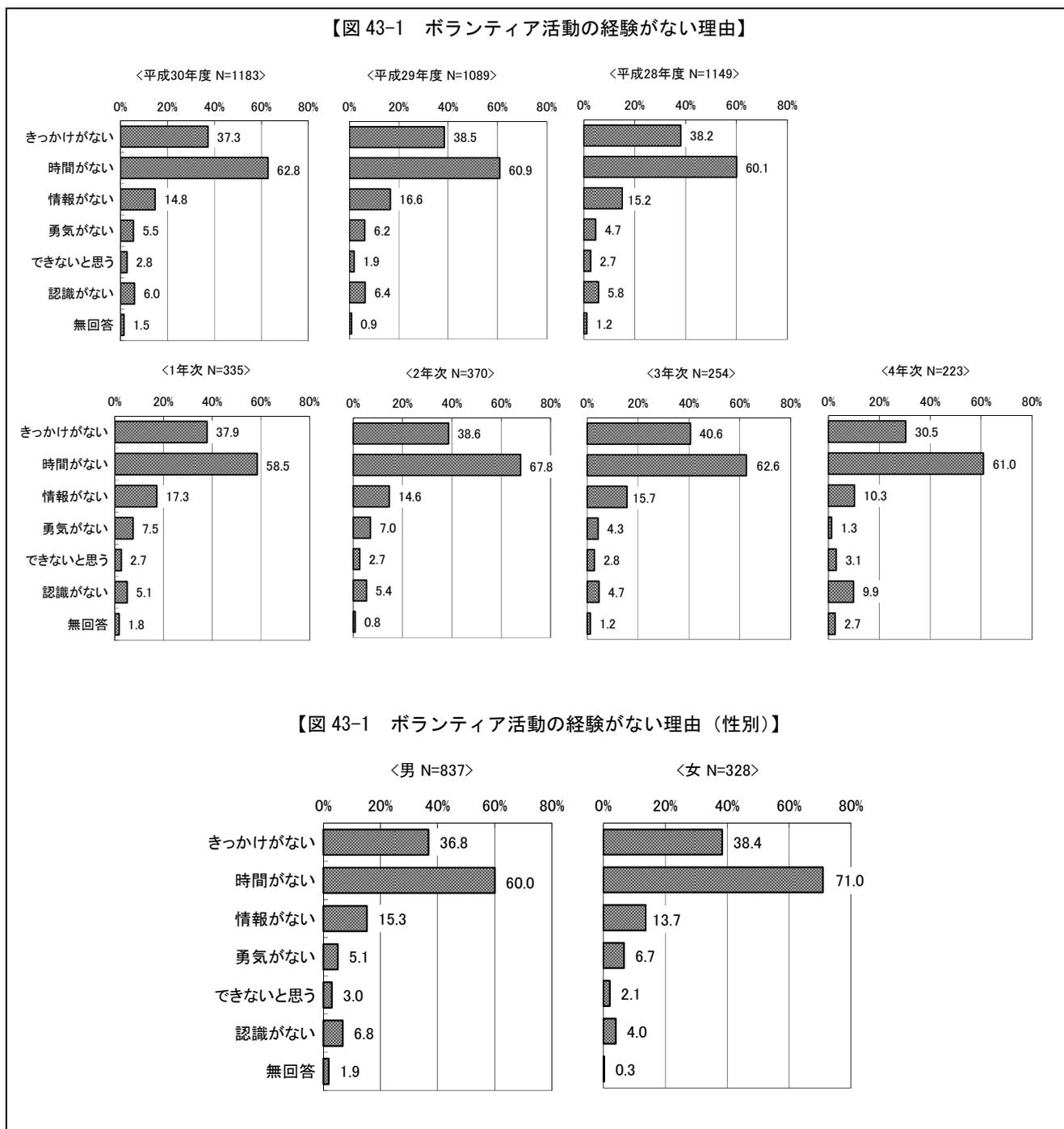
【結果概要（問43-1）】

問43-1. ボランティア活動の経験がない理由としては、「時間がない」が62.8%で最も多く、次に「きっかけがない」が37.3%となっている。

年次別でみると、「情報がない」と「勇気がない」は年次が上がるごとに減少傾向にある。

性別でみると、男女ともに「時間がない」の理由が高くなっており、男子学生の60.0%に対して女子学生は71.0%と7割を占めている。＜図43-1＞

■問43-1. ボランティア活動の経験がない理由（過年度調査・年次別・性別）



【結果概要（問44）】

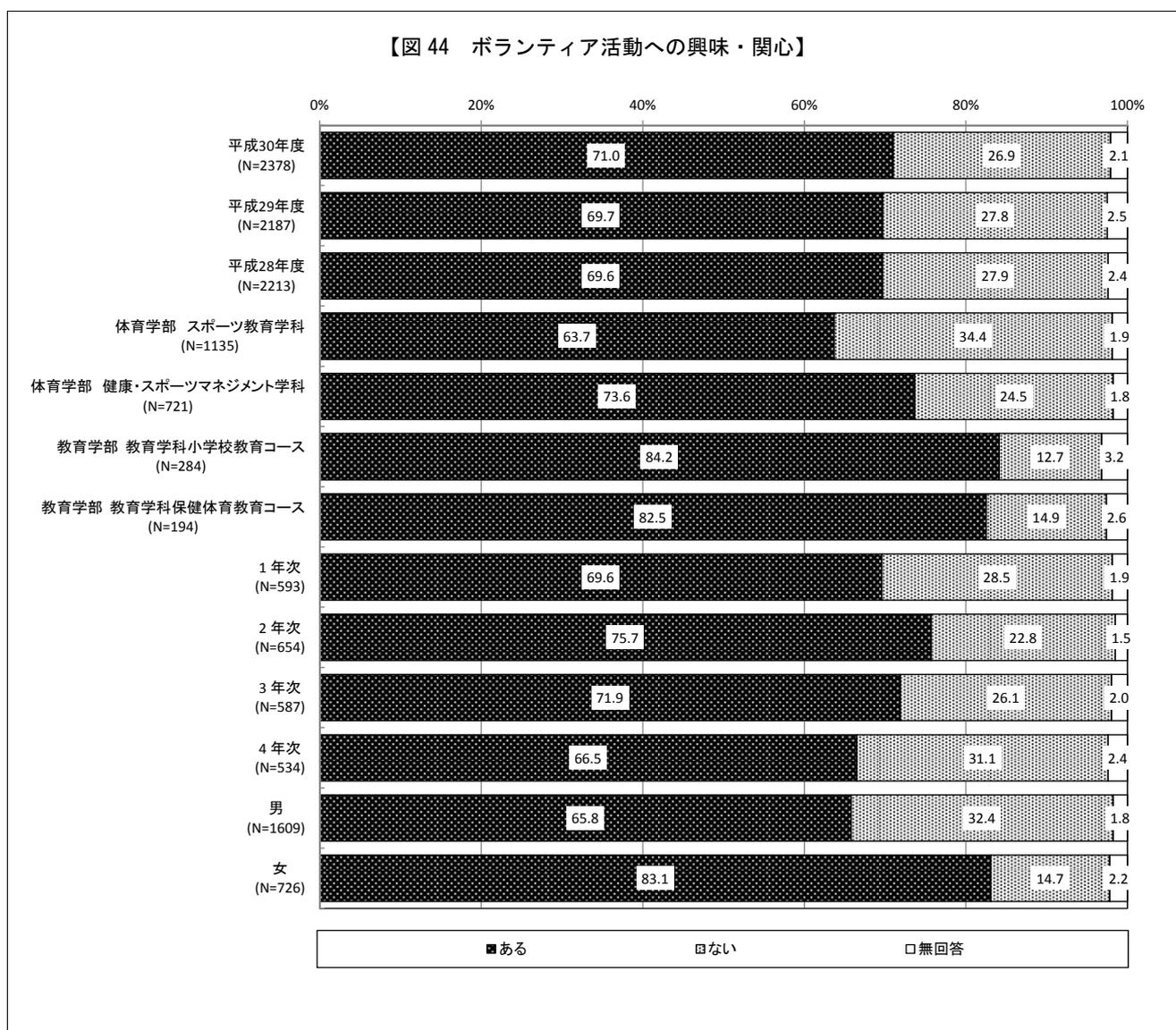
問44. ボランティア活動への興味・関心が「ある」と回答した学生は71.0%となっている。

所属学部・学科別でみると、興味・関心が「ある」との回答は、教育学部教育学科小学校教育コースで84.2%と最も高く、体育学部スポーツ教育学科で63.7%と最も低くなっており、学部・学科で興味・関心度に差が見られた。

年次別でみると、興味・関心が「ある」は2年次が75.7%と最も高く、4年次は66.5%と他の年次と比べて最も低くなっている。

性別でみると、興味・関心が「ある」は男子学生が65.8%に対し、女子学生は83.1%と女子学生の方が高くなっている。<図44>

■問44. ボランティア活動への興味・関心（過年度調査・学科別・年次別・性別）



【結果概要（問44-1）】

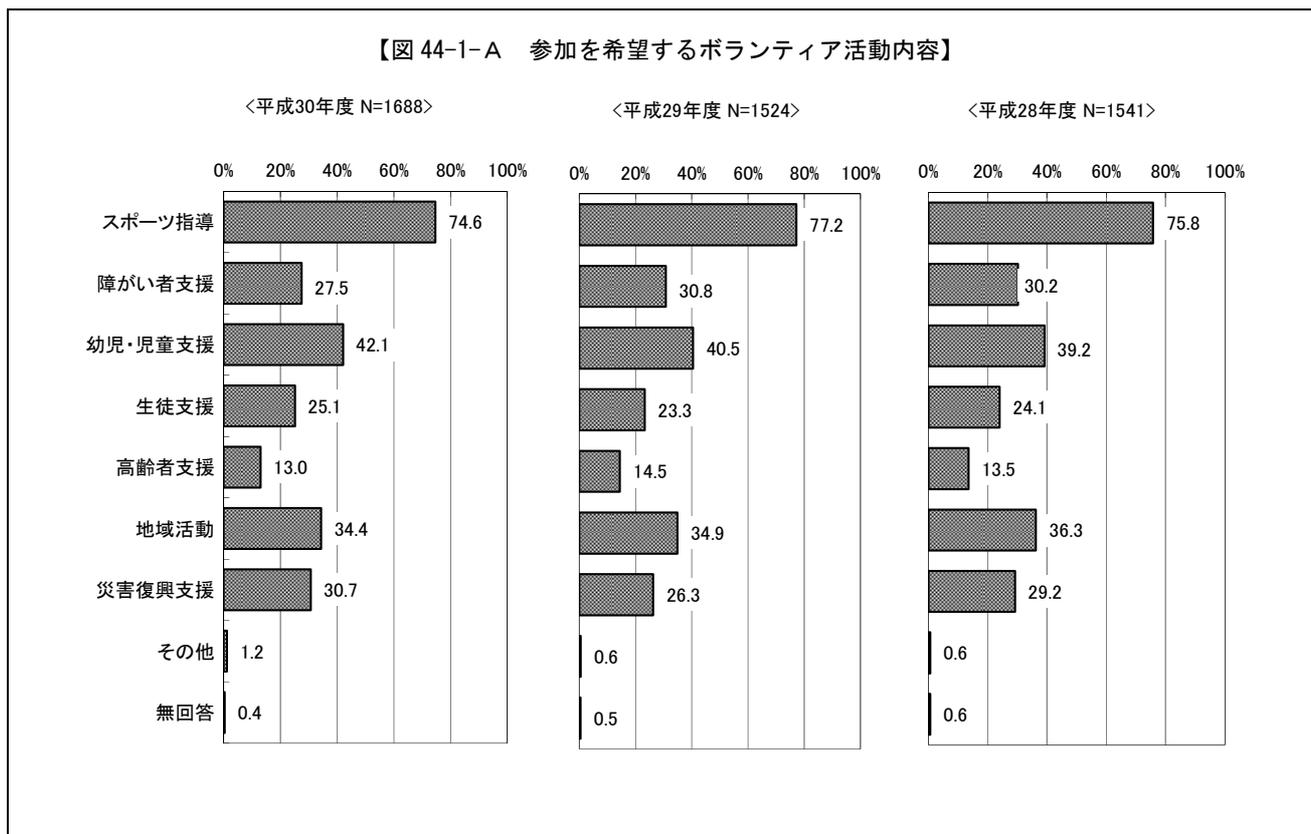
問44-1. 参加を希望するボランティア活動内容としては、前回調査同様「スポーツ指導」が74.6%、「幼児・児童支援」が42.1%、「地域活動」が34.4%と上位にきている。<図44-1-A>

所属学部・学科別でみると、全ての学部・学科ともに「スポーツ指導」の参加希望が最も高くなっているが、各学生が専攻する学部・学科に準じたボランティア活動内容に希望が高くなっており、体育学部は「スポーツ指導」の希望が高く、教育学部教育学科小学校教育コースでは「幼児・児童支援」の希望が高く、教育学部教育学科保健体育教育コースでは「障がい者支援」や「生徒支援」が高くなっている。<図44-1-B>

年次別でも「スポーツ指導」が全ての年次で最も高くなっている。<図44-1-C>

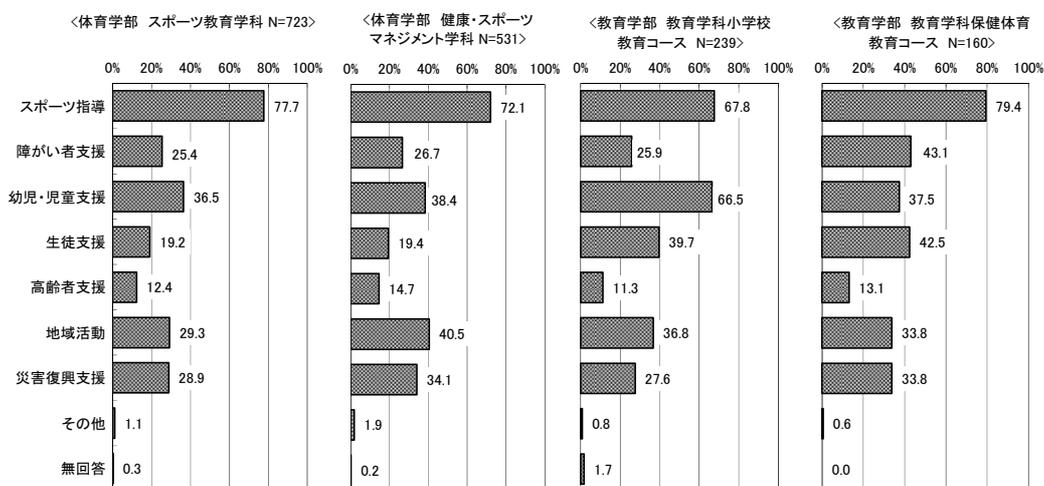
性別では、男子学生、女子学生ともに「スポーツ指導」の参加希望が最も多く、次いで男子学生では「地域活動」(35.4%)、女子学生では「幼児・児童支援」(58.0%)となっている。<図44-1-D>

■問44-1. 参加を希望するボランティア活動内容（過年度調査）

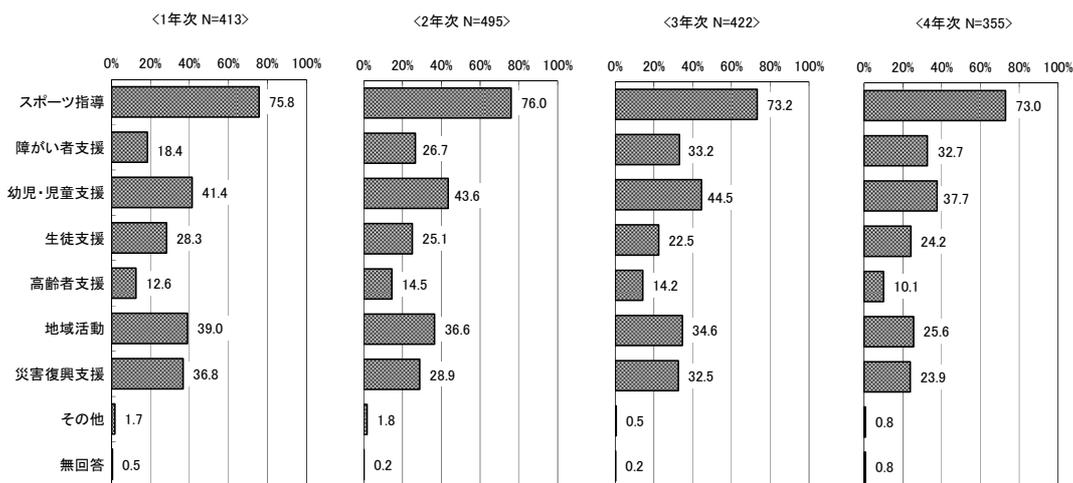


■問44-1. 参加を希望するボランティア活動内容（学科別・年次別・性別）

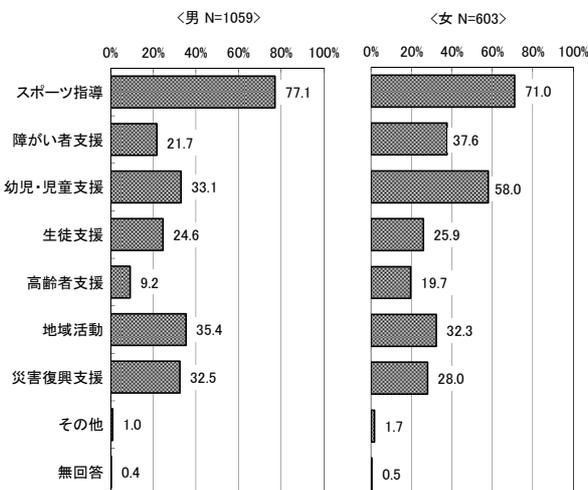
【図44-1-B 参加を希望するボランティア活動内容（学科別）】



【図44-1-C 参加を希望するボランティア活動内容（年次別）】



【図44-1-D 参加を希望するボランティア活動内容（性別）】



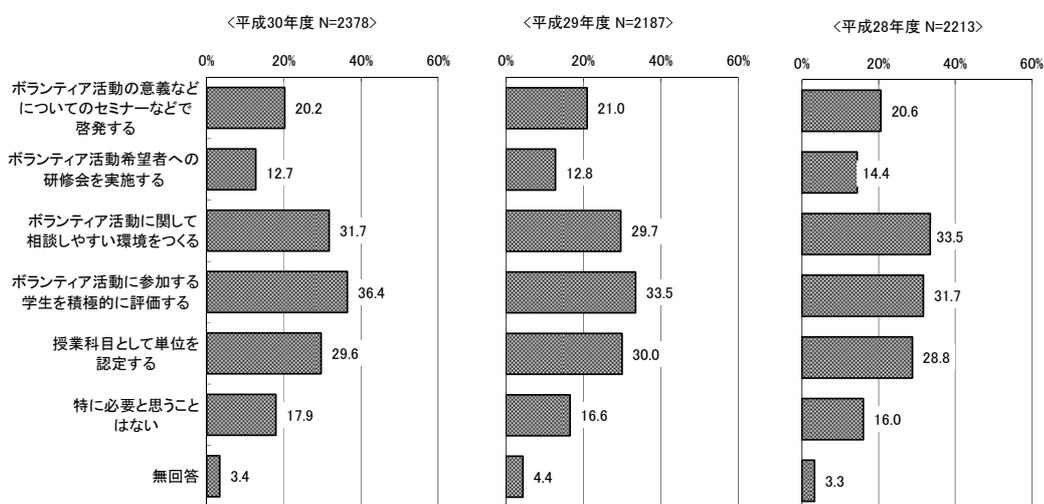
【結果概要（問45）】

問45. ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて必要なことは「ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する」が36.4%で最も多く、次に「ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる」が31.7%となっている。〈図45-A〉

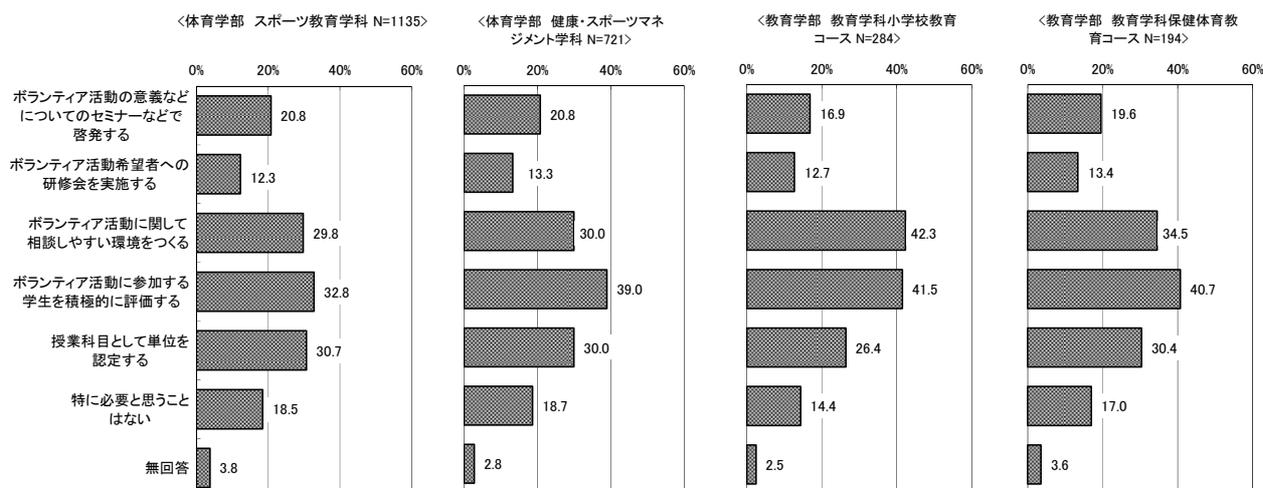
所属学部・学科別で見ると、「ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる」、「ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する」とも、教育学部教育学科小学校教育コースで最も多くなっている（各42.3%、41.5%）。〈図45-B〉

■問45. ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（過年度調査・学科別）

【図45-A ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて】



【図45-B ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（学科別）】

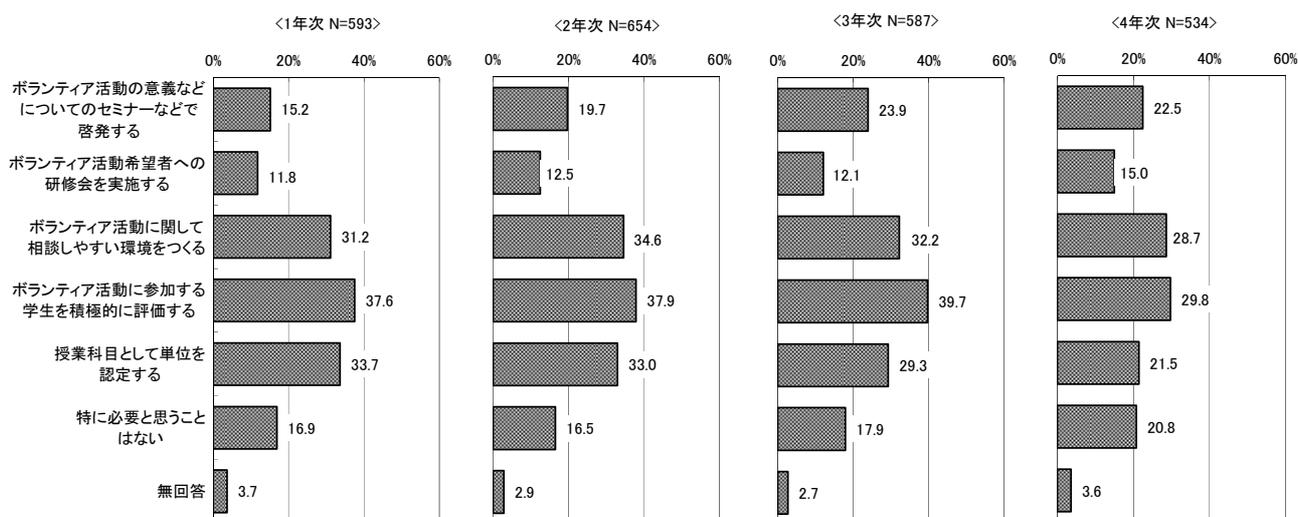


問45. 年次別では、すべての年次で「ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する」が最も多くなっている。＜図45-C＞

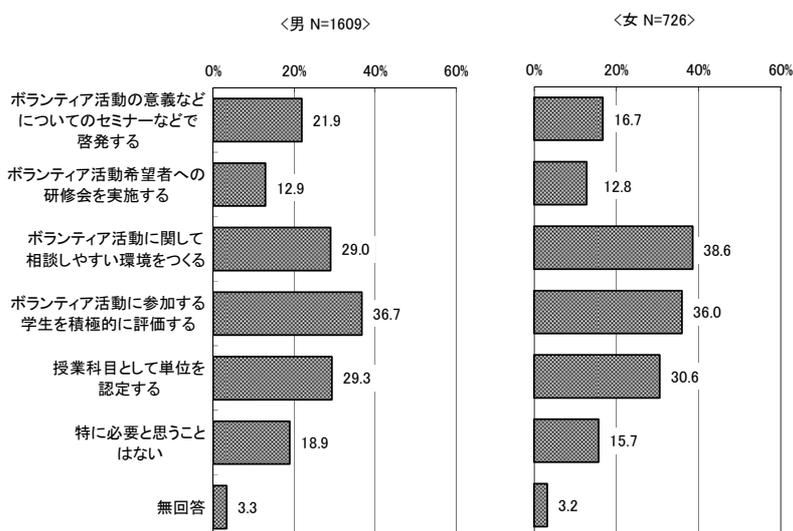
性別でみると、男子学生は「ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する」が36.7%で最も多くなっており、女子学生は「ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる」が38.6%と最も多くなっている。＜図45-D＞

■問45. ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（年次別・性別）

【図45-C ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（年次別）】



【図45-D ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（性別）】

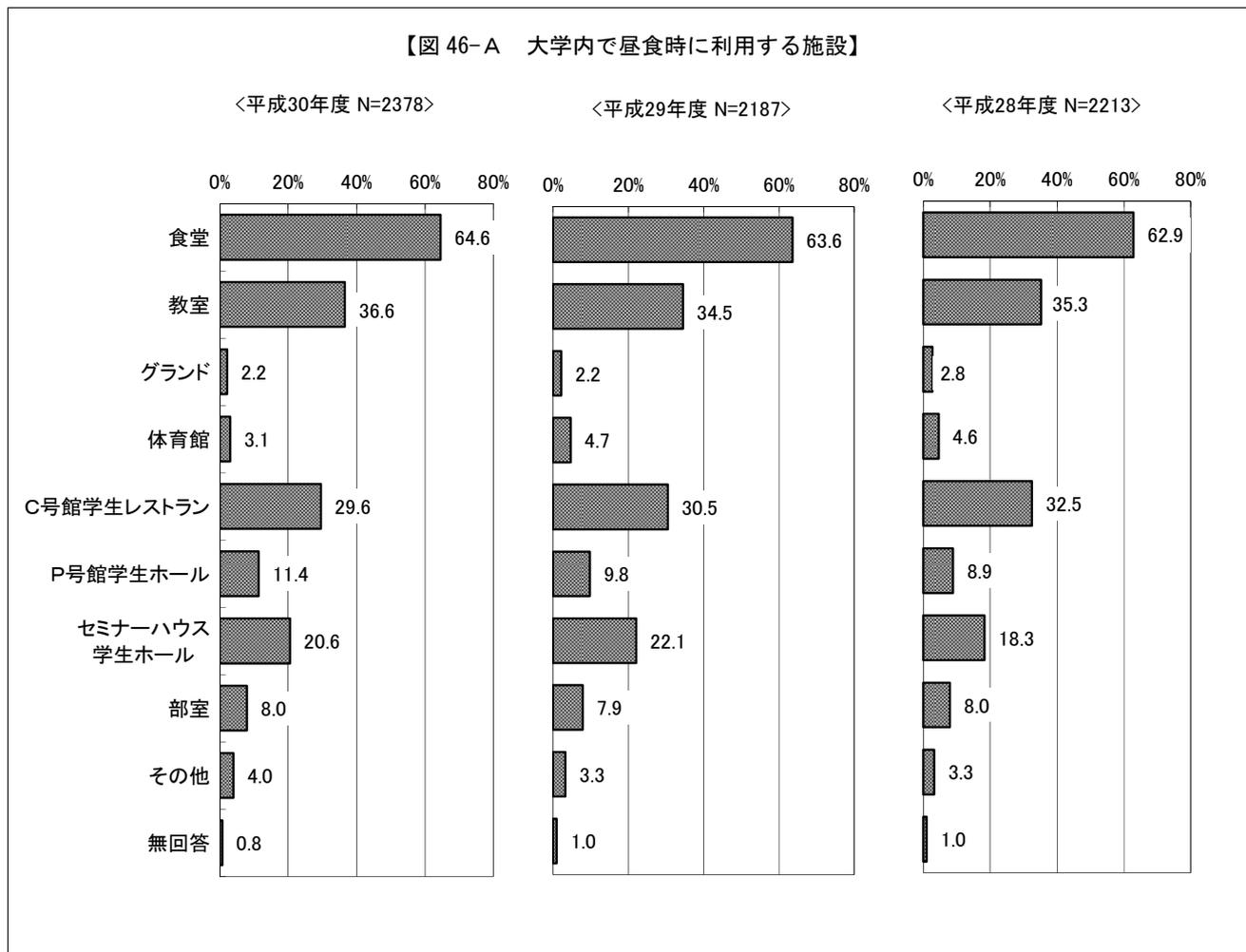


10. 大学施設等について

【結果概要（問46）】

問46. 大学内で昼食時に利用する施設は、「食堂」が64.6%と最も多く、次いで「教室」が36.6%、「C号館学生レストラン」が29.6%となっている。＜図46-A＞

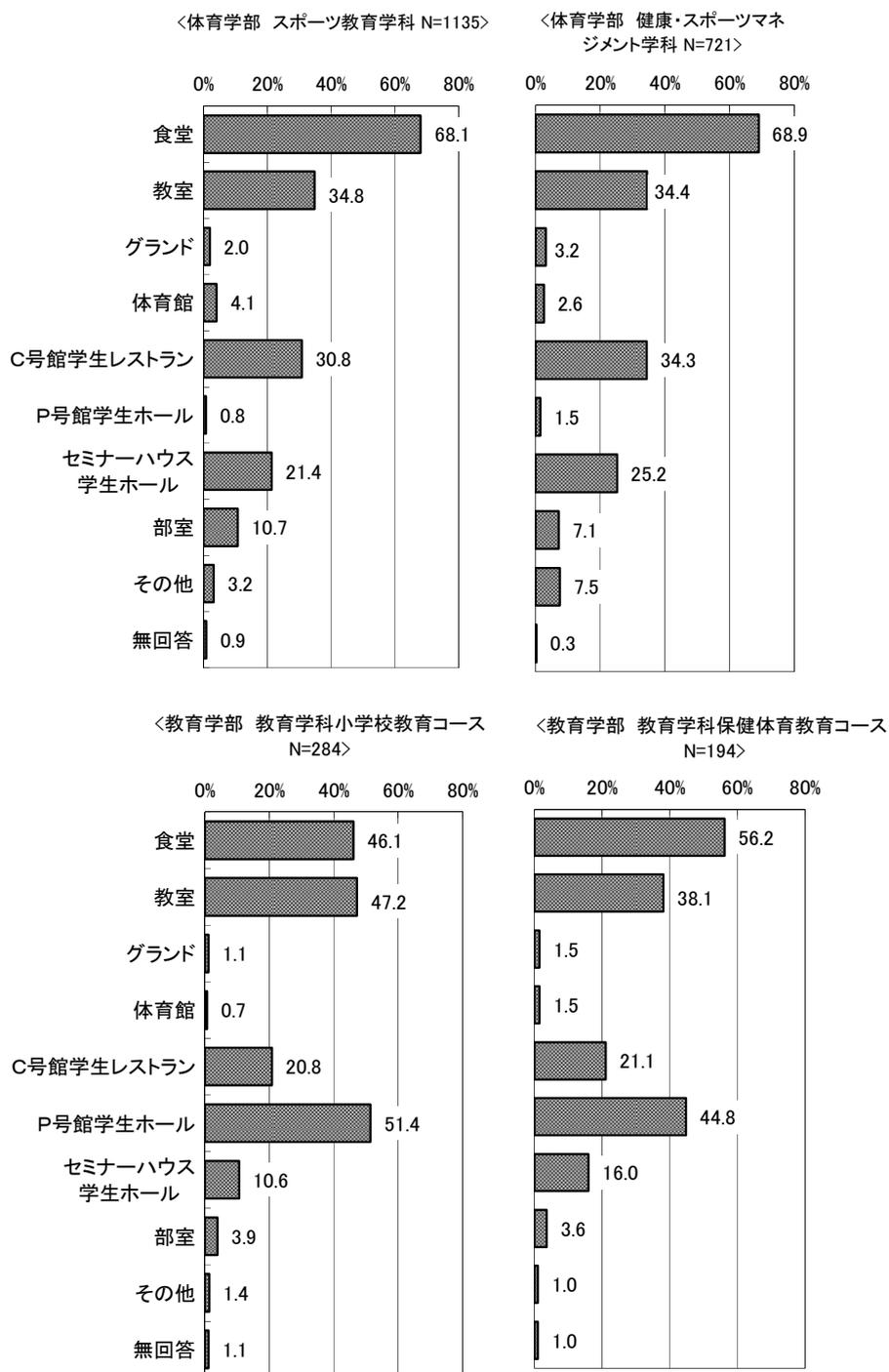
■問46. 大学内で昼食時に利用する施設（過年度調査）



問46. 所属学部・学科別でみると、教育学部教育学科小学校教育コースは「P号館学生ホール」の利用が最も多くなっているが、それ以外の学部・学科では「食堂」の利用が多くなっている。〈図46-B〉

■問46. 大学内で昼食時に利用する施設（学科別）

【図46-B 大学内で昼食時に利用する施設（学科別）】

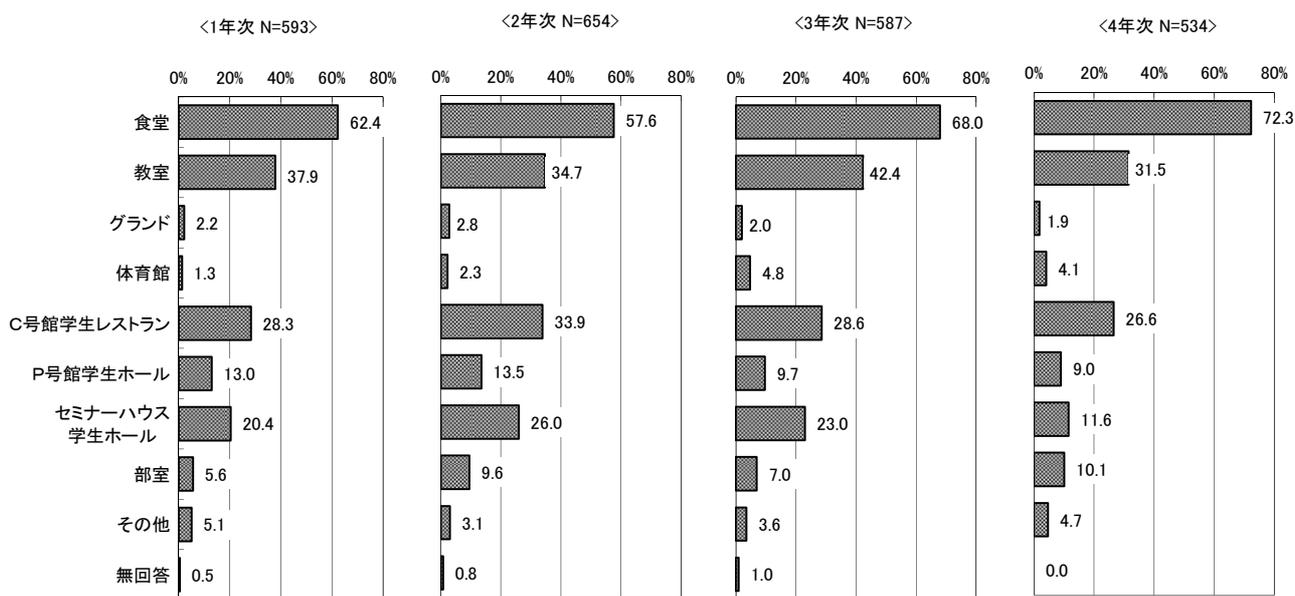


問46. 年次別では、各年次とも「食堂」が最も多く、4年次は7割を占めている。「C号館学生レストラン」は2年次が33.9%と、他の年次に比べ多い。<図46-C>

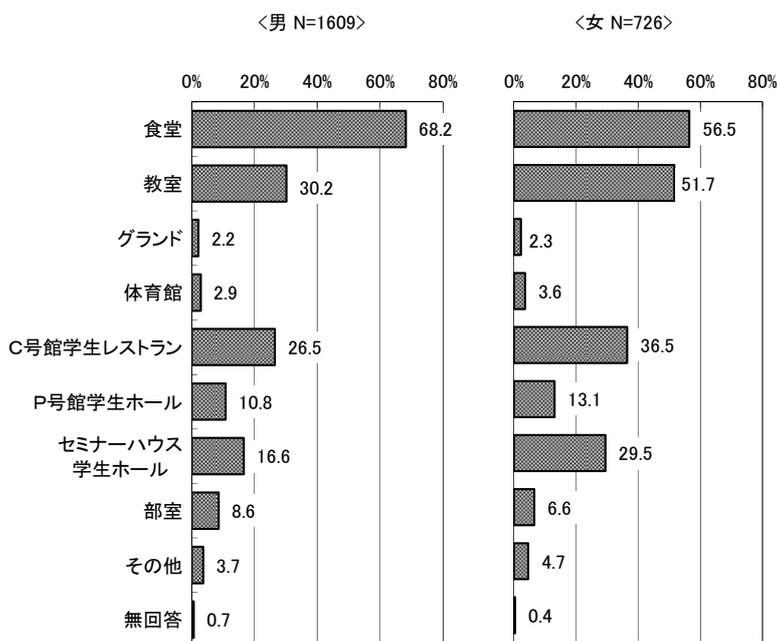
性別でみると、「食堂」は、女子学生の56.5%より男子学生の68.2%の方が多いが、「教室」では男子学生の30.2%より女子学生の51.7%の方が21.5ポイント多くなっている。<図46-D>

■問46. 大学内で昼食時に利用する施設（年次別・性別）

【図46-C 大学内で昼食時に利用する施設（年次別）】



【図46-D 大学内で昼食時に利用する施設（性別）】



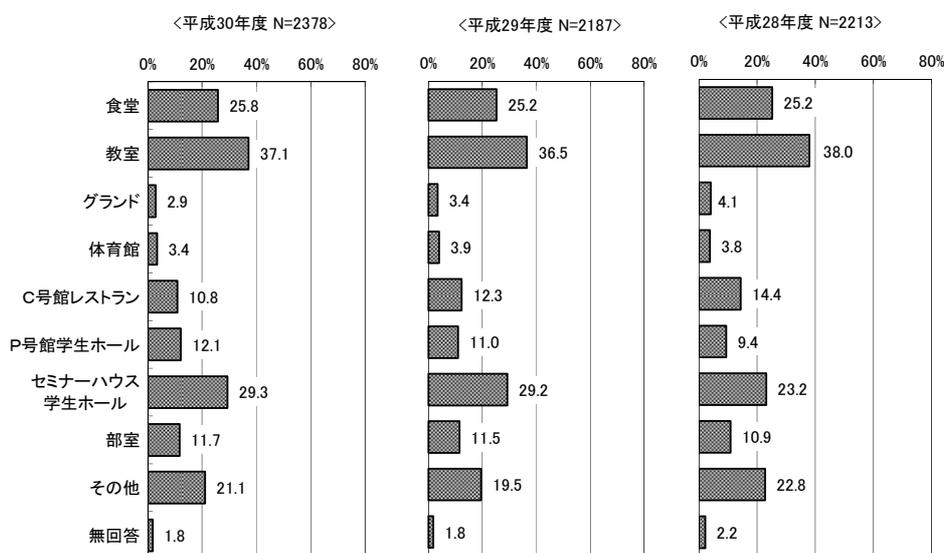
【結果概要（問47）】

問47. 大学内で空き時間に利用する施設としては、「教室」が37.1%で最も多く、次いで「セミナーハウス学生ホール」が29.3%、「食堂」が25.8%となっている。「その他」の施設としては「図書館」等が挙げられている。＜図47-A＞

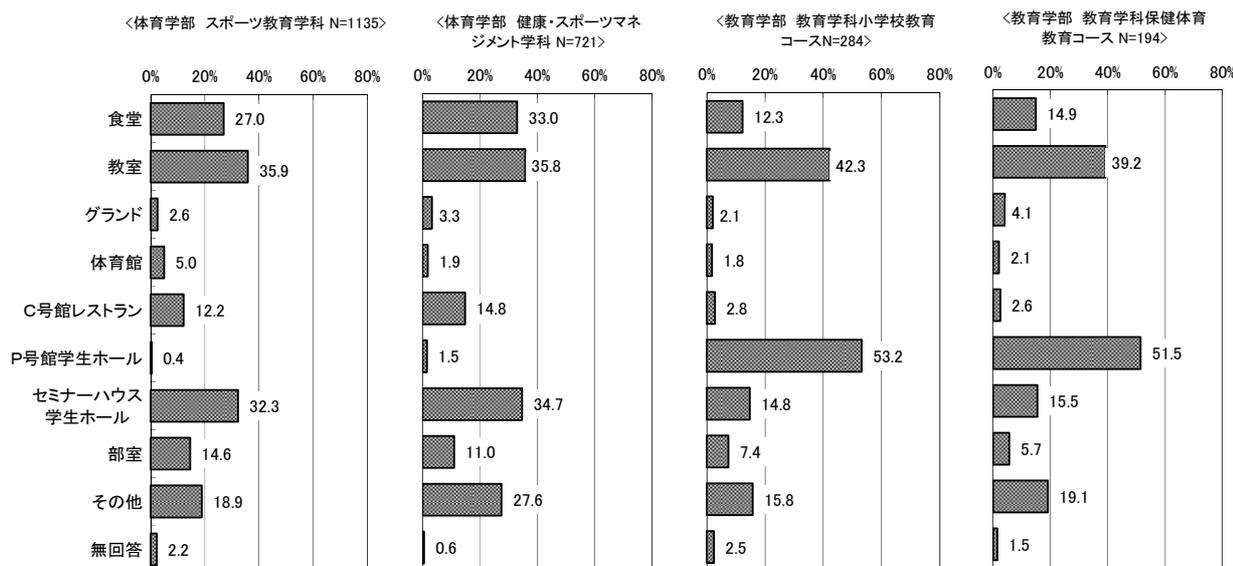
所属学部・学科別では、教育学部では「P号館学生ホール」が半数を占め、体育学部には比べて少ない。＜図47-B＞

■問47. 大学内で空き時間に利用する施設（過年度調査・学科別）

【図47-A 大学内で空き時間に利用する施設】



【図47-B 大学内で空き時間に利用する施設（学科別）】

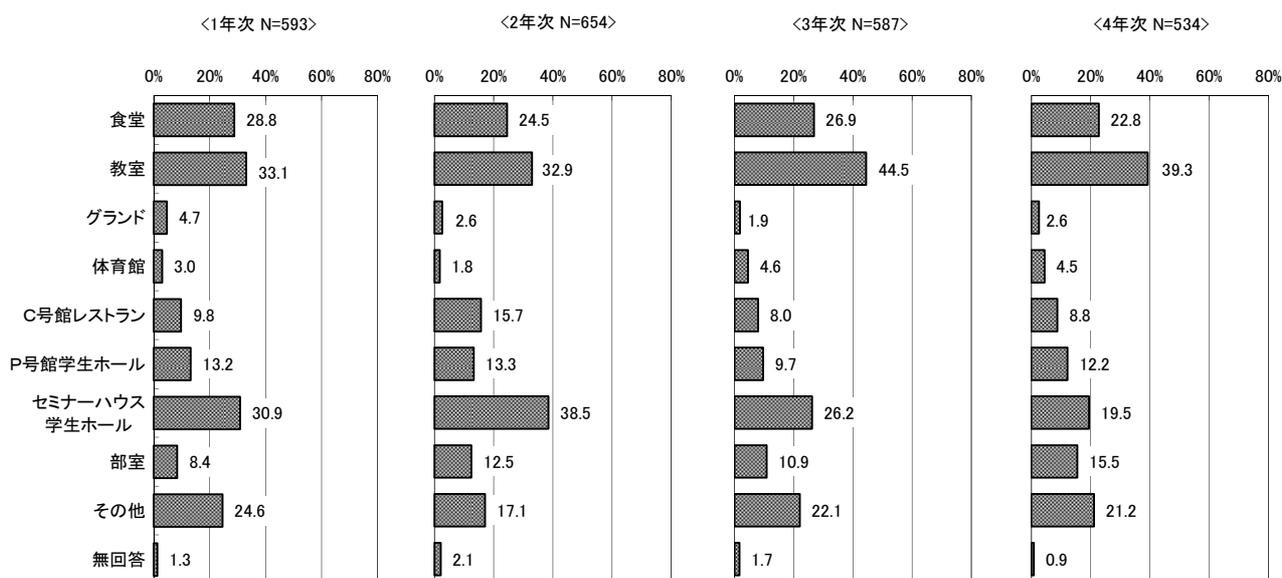


問47. 年次別でみると、2年次は「セミナーハウス学生ホール」が最も高く、それ以外の年次では「教室」の利用が最も高くなっている。＜図47-C＞

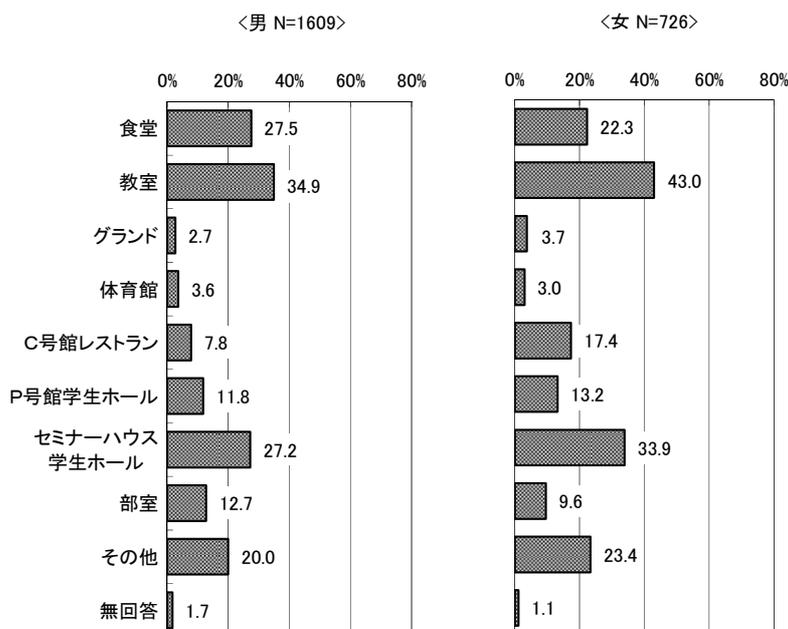
性別でみると、「C号館レストラン」は男子学生は7.8%、女子学生は17.4%と女子学生の方が多く、また「教室」も男子学生34.9%に対して女子学生43.0%と女子学生の方が多くなっている。対して「食堂」は女子学生の方が少ない。＜図47-D＞

■問47. 大学内で空き時間に利用する施設（年次別・性別）

【図47-C 大学内で空き時間に利用する施設（年次別）】



【図47-D 大学内で空き時間に利用する施設（性別）】



【結果概要（問48）】

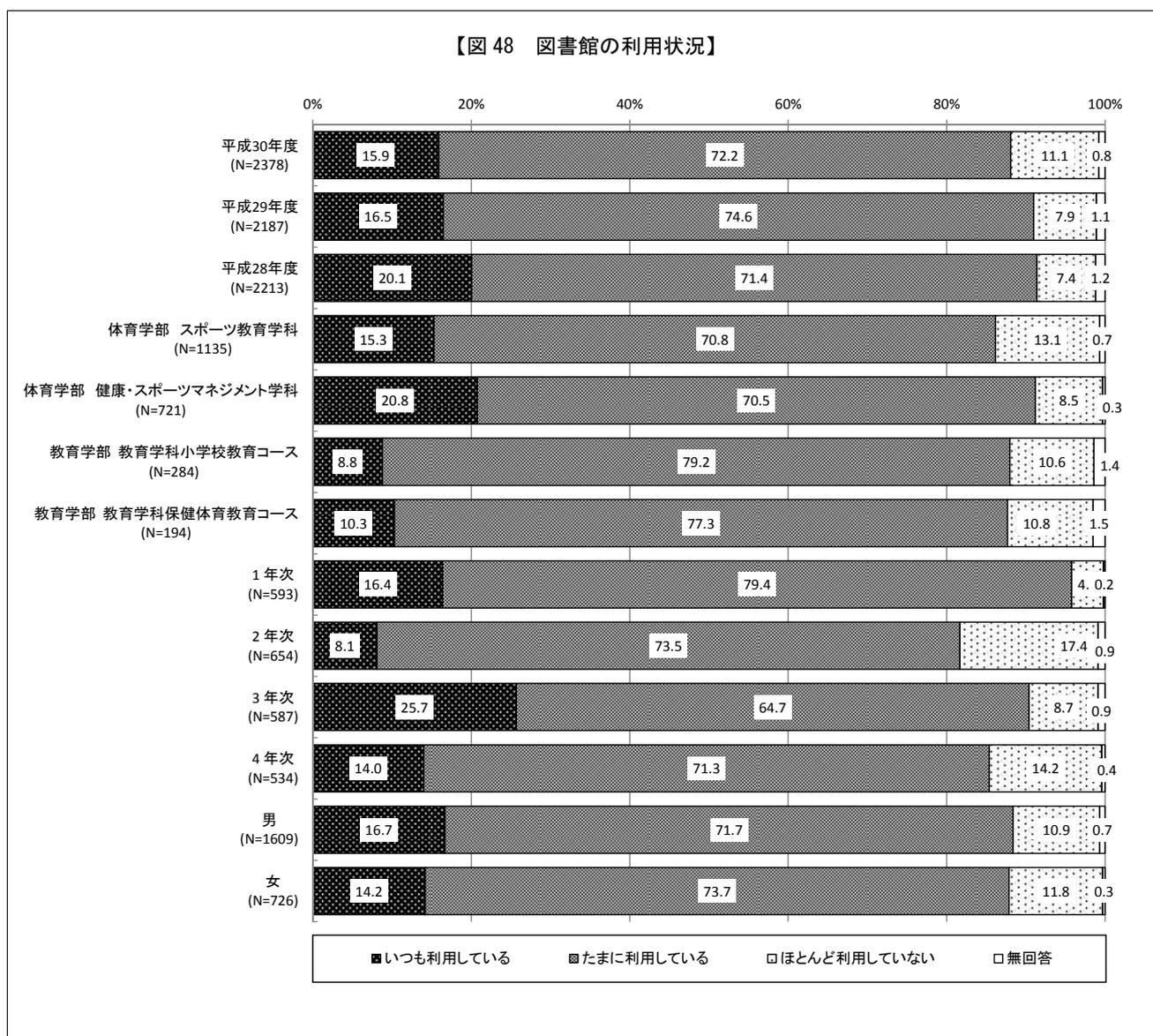
問48. 図書館の利用状況としては、「いつも利用している」と「たまに利用している」を合わせると88.1%（15.9%+72.2%）の学生が利用している。

所属学部・学科別では、「いつも利用している」と「たまに利用している」を合わせた図書館利用は、割合の高い順に体育学部健康・スポーツマネジメント学科が91.3%（20.8%+70.5%）、教育学部教育学科小学校教育コースが88.0%（8.8%+79.2%）、教育学部教育学科保健体育教育コースが87.6%（10.3%+77.3%）、体育学部スポーツ教育学科が86.1%（15.3%+70.8%）となっている。

年次別でみると、「いつも利用している」と「たまに利用している」を合わせた図書館利用の割合は1年次が95.8%（16.4%+79.4%）で最も高くなっている。

性別では、「いつも利用している」は男子学生が16.7%、女子学生が14.2%となっている。< 図48 >

■問48. 図書館の利用状況（過年度調査・学科別・年次別・性別）

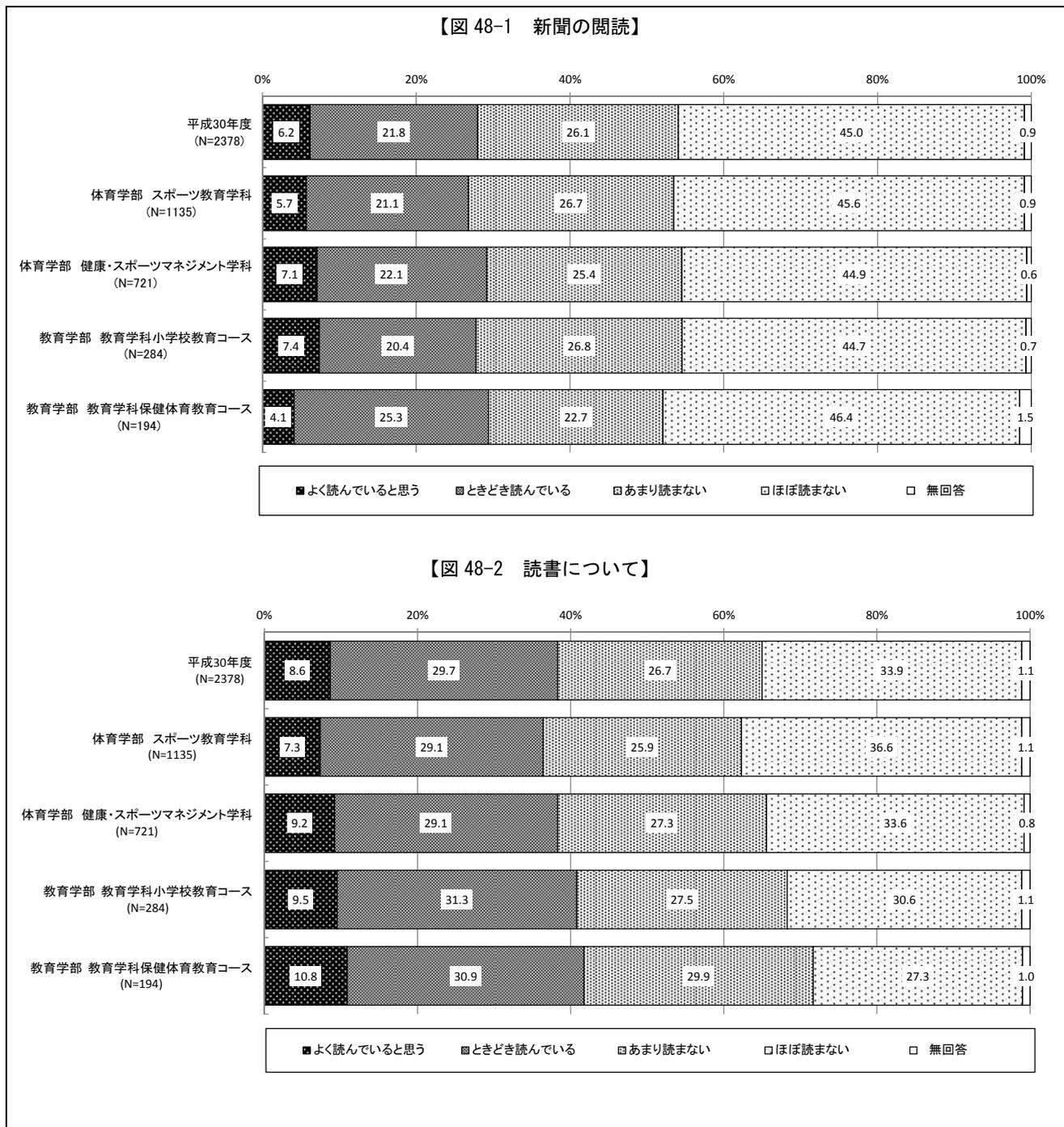


【結果概要（問48-1・48-2）】

問48-1. 新聞の閲読としては、「ほぼ読まない」が45.0%で最も多く、次に「あまり読まない」が26.1%となっている。「よく読んでいると思う」6.2%、「ときどき読んでいる」21.8%の「読んでいる」割合は28.0%となっている。<図48-1>

問48-2. 読書については、「ほぼ読まない」が33.9%で最も多く、次に「ときどき読んでいる」が29.7%となっている。「よく読んでいると思う」8.6%、「ときどき読んでいる」29.7%の「読んでいる」割合は38.3%と約4割となっている。<図48-2>

■問48-1 新聞の利用状況（学科別） ■問48-2 読書について（学科別）



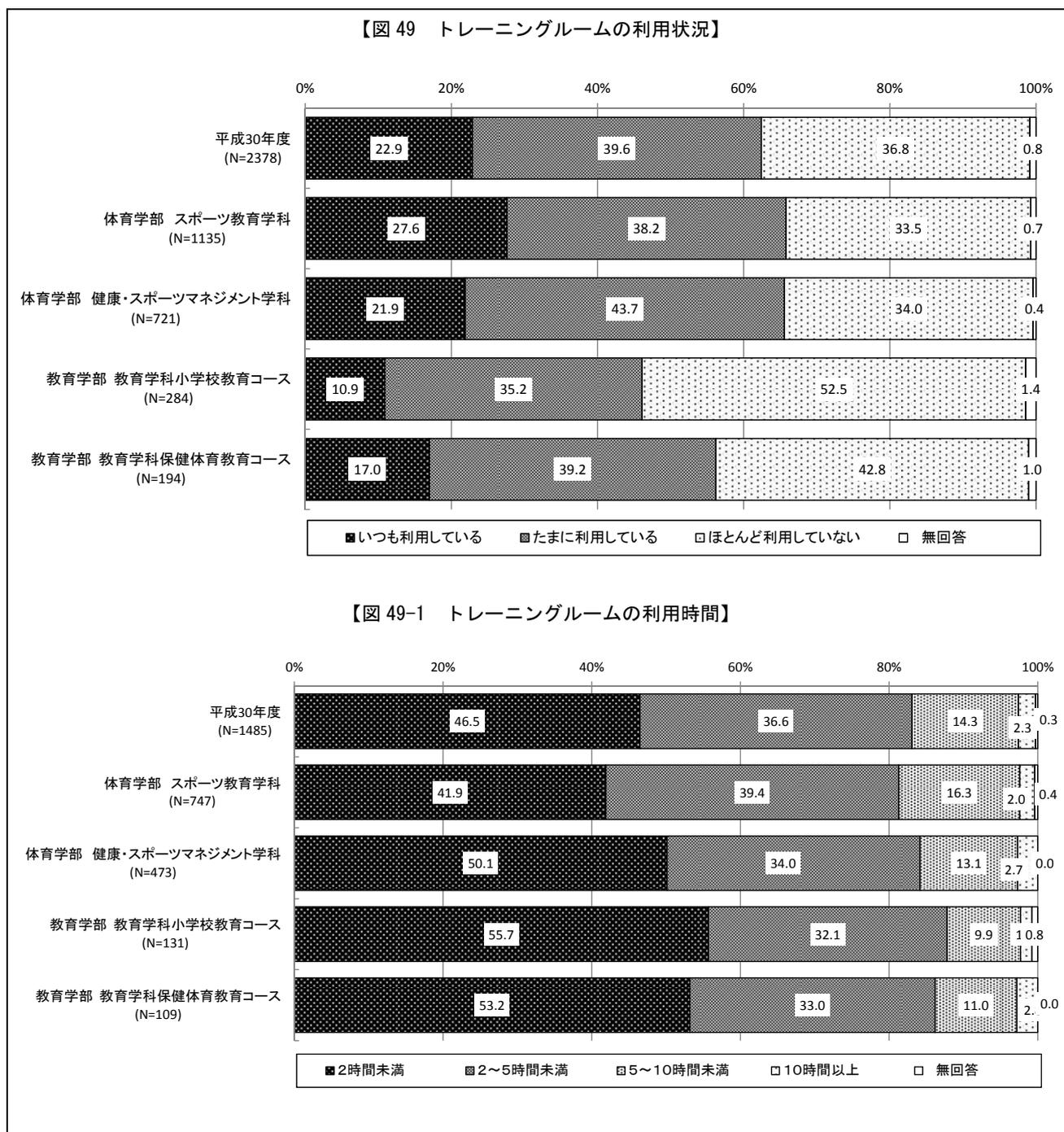
【結果概要（問49・49-1）】

問49. トレーニングルームの利用については、「たまに利用している」が39.6%で最も多く、次に「ほとんど利用していない」が36.8%となっている。

所属学部・学科別でみると、「いつも利用している」が体育学部スポーツ教育学科は27.6%と最も多くなっている。＜図49＞

問49-1. トレーニングルームの利用時間については、「2時間未満」が46.5%と最も多く、次に「2～5時間未満」が36.6%となっている。＜図49-1＞

■問49・問49-1 トレーニングルームの利用状況・利用時間について（学科別）



【結果概要（問50）】

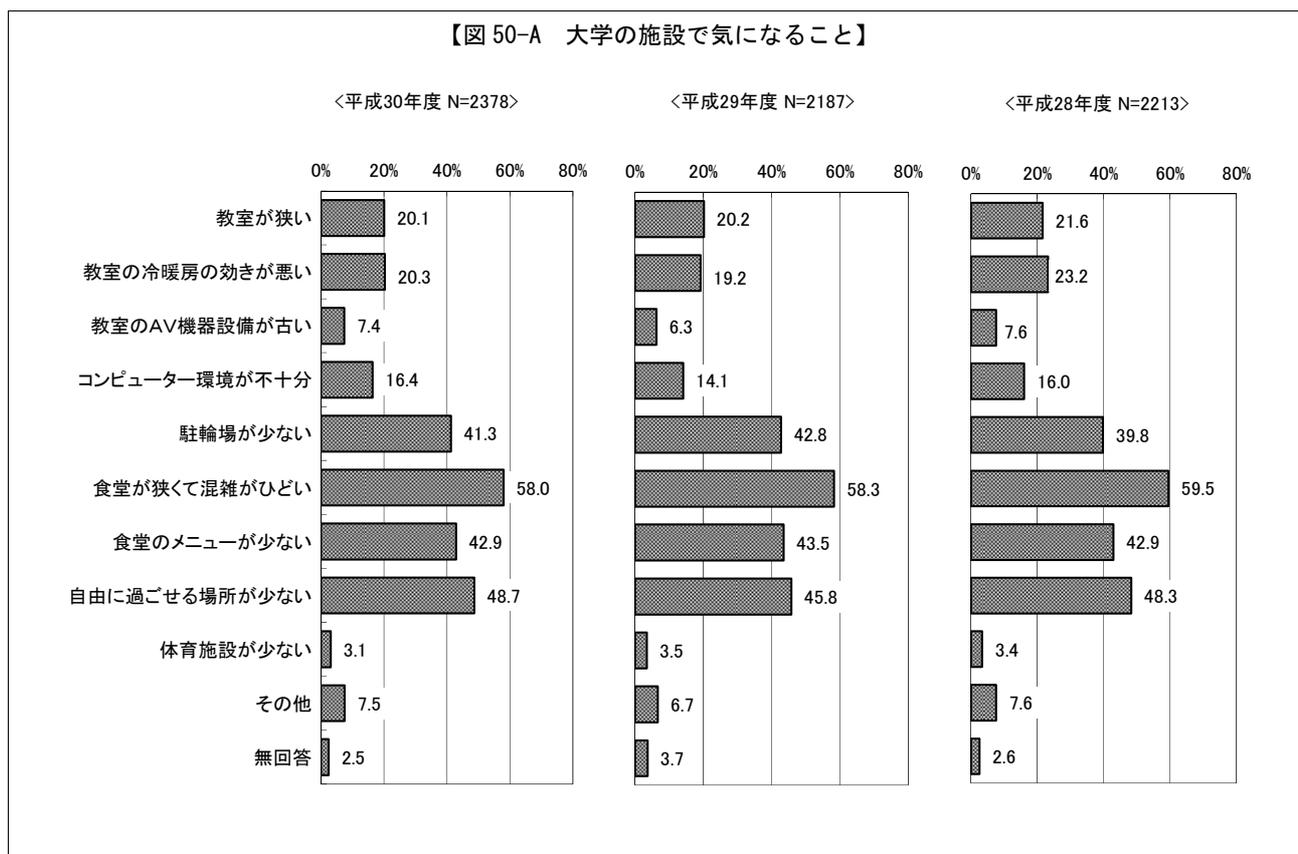
問50. 大学の施設で気になることは、「食堂が狭くて混雑がひどい」が58.0%と最も多く、約6割の学生が回答している。次いで「自由に過ごせる場所が少ない」が48.7%、「食堂のメニューが少ない」が42.9%、「駐輪場が少ない」が41.3%となっている。前回調査と比べると「自由に過ごせる場所が少ない」が2.9ポイント増加している。<図50-A>

所属学部・学科では、全ての学部・学科ともに「食堂が狭くて混雑がひどい」が最も多くなっている。教育学部教育学科小学校教育コースの「コンピューター環境が不十分」は他の学部・学科と比べて高くなっている。<図50-B>

年次別でみると、「食堂のメニューが少ない」は、1年次の34.4%に対し3年次では49.1%と、年次が上がるにつれ高くなる傾向がみられる。<図50-C>

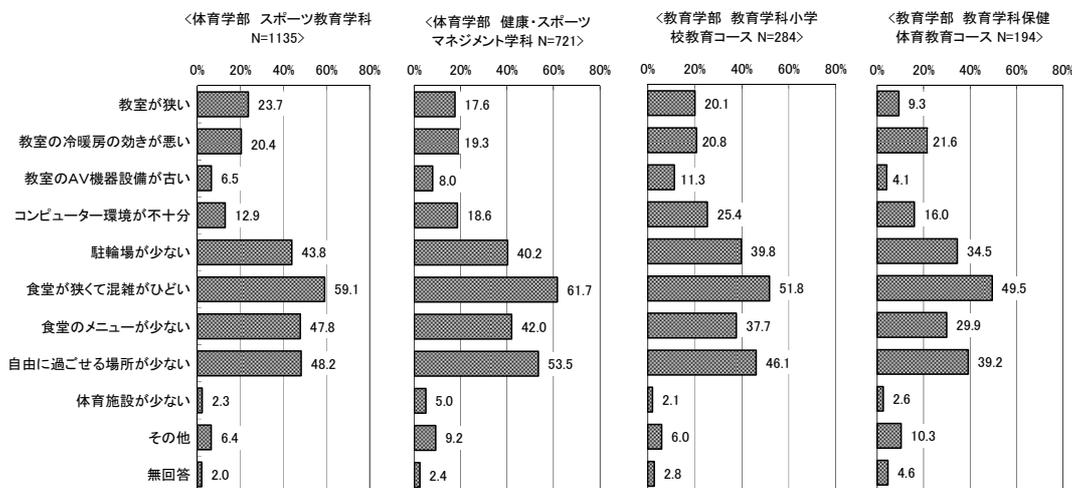
性別でみると、男女とも「気になる」と回答した上位4項目（「食堂が狭くて混雑がひどい」「自由に過ごせる場所が少ない」「食堂のメニューが少ない」「駐輪場が少ない」）は同じとなっている。<図50-D>

■問50. 大学の施設で気になること（過年度調査）

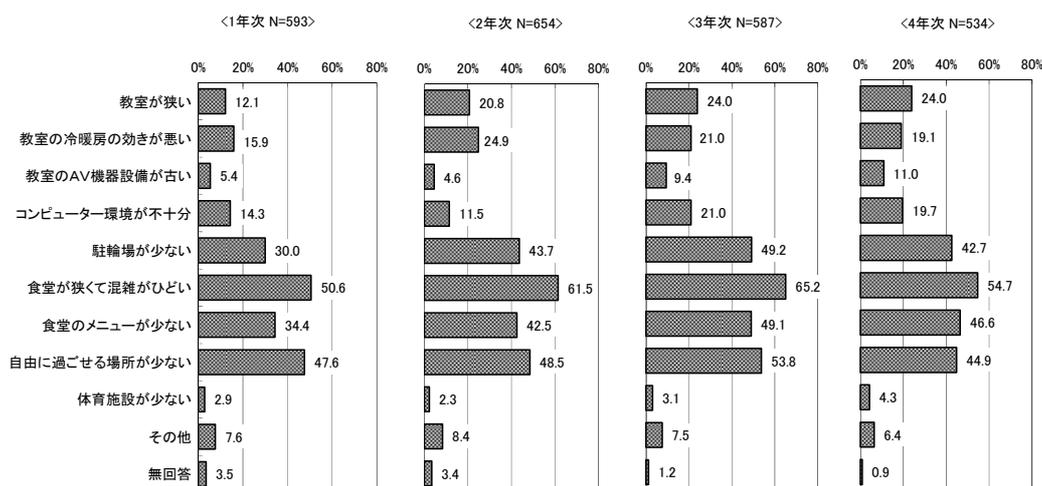


■問50. 大学の施設で気になること（学科別・年次別・性別）

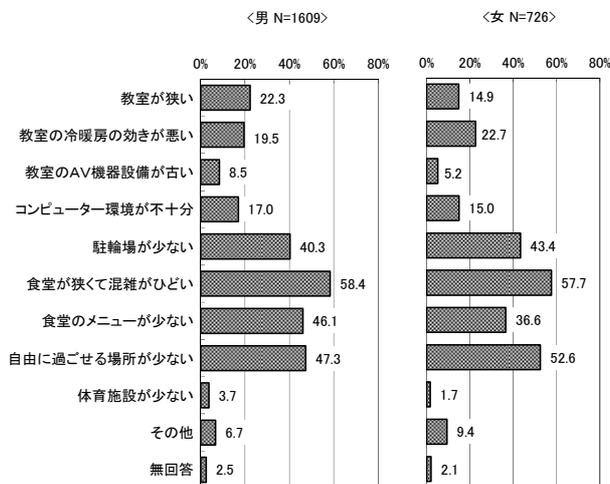
【図 50-B 大学の施設で気になること（学科別）】



【図 50-C 大学の施設で気になること（年次別）】



【図 50-D 大学の施設で気になること（性別）】



【結果概要（問51）】

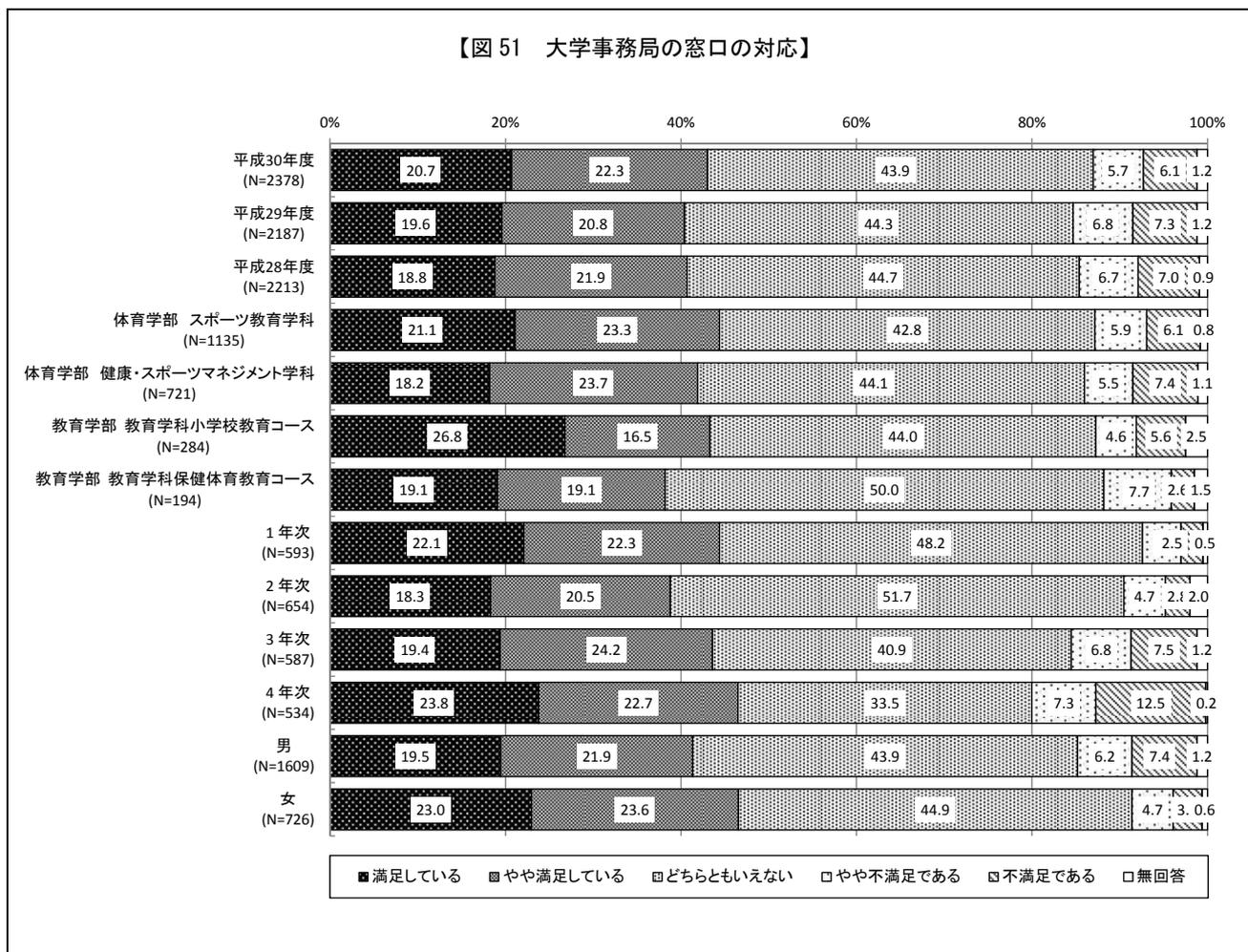
問51. 大学事務局の窓口の対応に対して「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足」は43.0%、「不満足である」と「やや不満足である」を合わせた「不満足」は11.8%と「満足」が上回っている。

所属学部・学科別で見ると、「満足している」と「やや満足している」を合わせた割合は体育学部スポーツ教育学科が44.4%と最も高く、次いで教育学部教育学科小学校教育コースが43.3%、体育学部健康・スポーツマネジメント学科が41.9%、教育学部教育学科保健体育教育コースが38.2%となっている。

年次別では、「満足」と回答した割合は4年次で46.5%と最も高くなっている。

性別では、「満足」と回答した男子学生が41.4%に対して女子学生が46.6%と女子学生の方が高くなっている。<図51>

■問51. 大学事務局の窓口の対応（過年度調査・学科別・年次別・性別）



【結果概要（問52）】

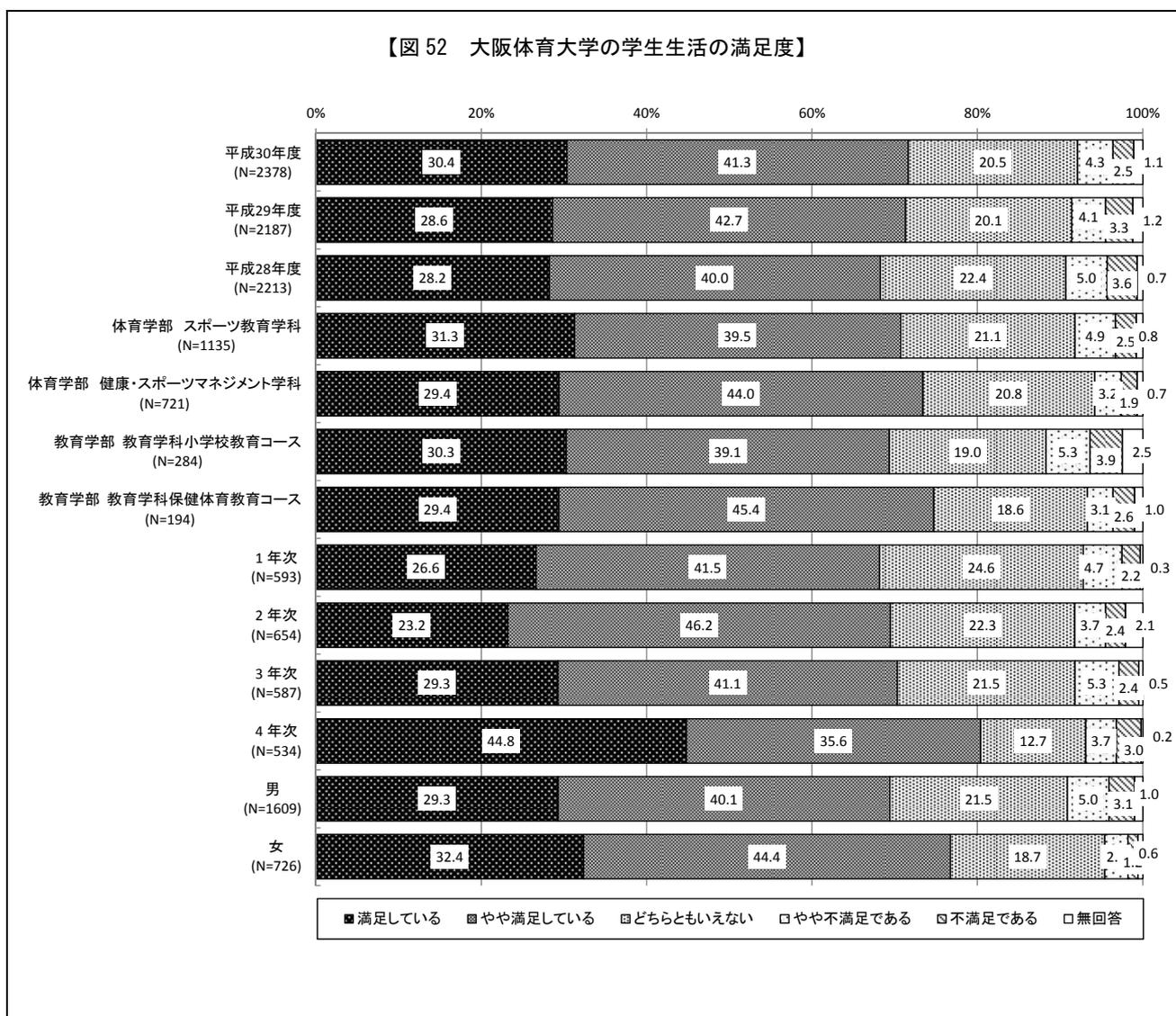
問52. 大学での学生生活の満足度としては、「満足している」と「やや満足している」を合わせた「満足」は71.7%、「不満足である」と「やや不満足である」を合わせた「不満足」は6.8%と「満足」が上回っている。前回調査と比べると、「満足」は0.4ポイント増加している。

所属学部・学科別でみると、「不満足」は各学部・学科とも1割未満となっている。

年次別では、「満足」は4年次で80.4%と最も高く、1年次が68.1%と最も低くなっている。

性別では、「満足」が男子学生69.4%に対して女子学生が76.8%と女子学生の方が高くなっている。<図52>

■問52. 大阪体育大学の学生生活の満足度（過年度調査・学科別・年次別・性別）



11. 大学への意見・要望

大学への意見・要望の記入数は380人、総数559件でした。

主な項目としては、「施設・設備」関係が333件、「学生生活」関係が107件、「授業・教育」関係が60件、「その他」が59件となっており、「施設・設備」関係の意見・要望が最も多くなっていました。以下に主な内容を記載します。

□「施設・設備」関係 333件

「施設・設備」関係で最も意見・要望が多かったのは、「食堂」に関する意見が119件と最も多くなっていました。その中で「食堂メニューの改善」が49件と最も多く、次に「食堂増設の要望」が29件となっています。ほかには「食堂が狭い」、「食堂の値段を安くしてほしい」、「食堂の味をおいしくしてほしい」などの運営や施設改善に関しての要望が多く寄せられています。

次に多かったのが「運動施設の拡大・改善」が37件で、「体育館に冷暖房をつけてほしい」や「トレーニングルームの器具を充実させてほしい」などの要望が多く出ています。次に「ロッカールームの改善」に関する意見が31件で、「ロッカーに冷暖房がほしい」や「ロッカーが汚い」、「ロッカーが狭い」といったロッカールームの改善を望む声が出ています。

また、「駐輪場・駐車場の改善」や「自由に過ごせる場所の要望」、「Wi-Fi環境の充実」、「バリアフリー環境の促進」などの設備改善に関する意見がありました。

□「学生生活」関係 107件

「学生生活」関係で最も多かったのは、「教職員の対応」と「大学送迎バスの要望」の意見・要望が24件でした。「教職員の対応」では「態度・対応が悪い」、「怖いのでやさしく接してほしい」などの否定的な意見が寄せられました。事務局としてこれらの意見をしっかりと受け止める必要があると思われます。

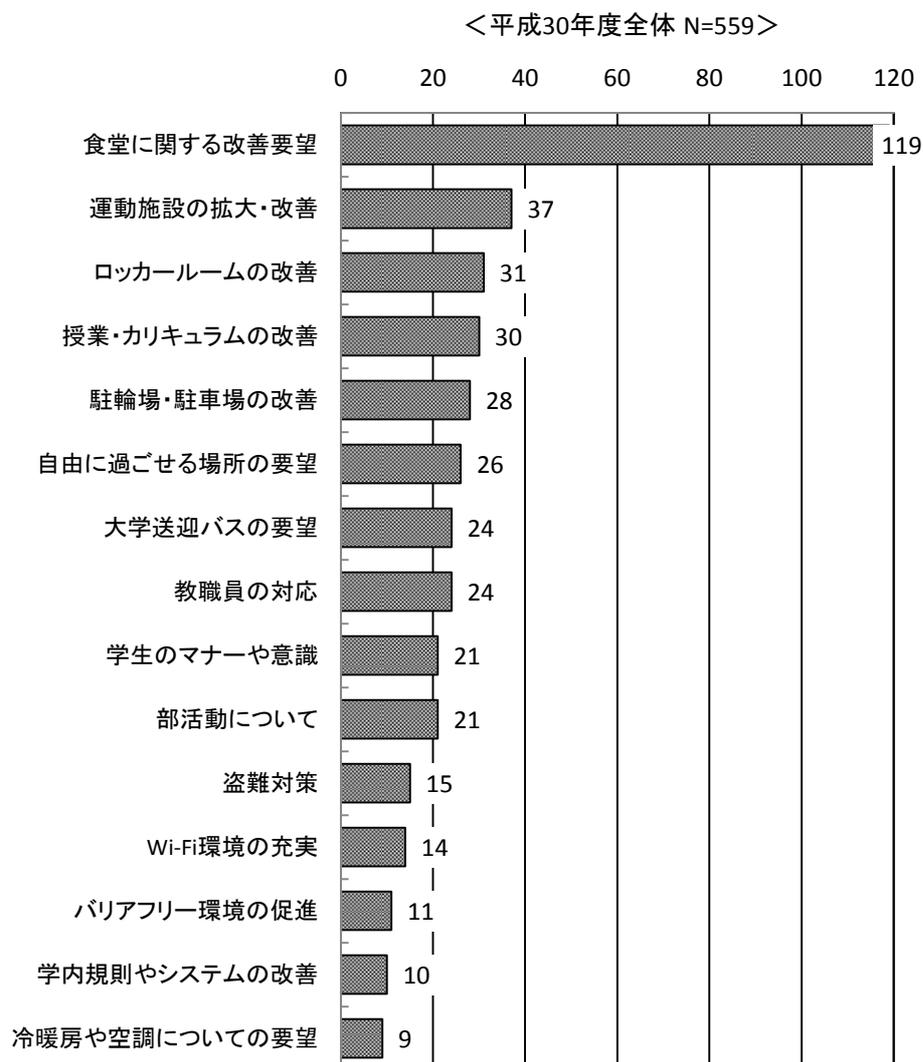
「大学送迎バスの要望」では、「スクールバスがほしい」、「無料バス」、「本数を増やしてほしい」などの意見がありました。次に多い「学生のマナーや意識」は21件で、「交通マナー」、「授業中のマナー」などの意見が出ており学生の意識の向上を求められる結果となりました。また「盗難対策」も15件あり、「防犯カメラの設置」や「盗難に対する厳罰をするべき」などセキュリティについての要望意見が出ています。

その他には、「学内規則やシステムの改善」などの要望が寄せられていました。

□「授業・教育」関係 60件

「授業・教育」関係では、「授業・カリキュラムの改善」という要望が30件と最も多く、具体的な内容は「授業の改善」、「公欠制度を作してほしい」などの意見がありました。

【大学への意見・要望の主要な15項目】



Ⅲ 資料編

調査票

平成30年度学生生活実態調査ご協力をお願い

この調査は、本学学生の生活実態及び学生の意識を把握することにより、大学の運営の参考にし、より充実した学生生活の提供に資することを目的とし実施するものです。

ご回答いただいた内容は全て統計資料としてのみ活用し、内容や意見が個人のものとして取り扱われることはありませんので、ありのままできるだけ正確に回答して下さい。

平成30年11月

大阪体育大学

全学学生委員会

調査票の記入にあたって

1. アンケート調査票に鉛筆またはシャープペンシルで直接記入してください。
(お名前の記入は必要ありません)
2. 質問文で(複数回答可)と記載がある質問に関しては、あてはまる選択肢全てに○印をつけてください。(複数回答可)と記載がない質問に関しては、選択肢の中から最もあてはまるもの1つだけに○印をつけてください。

1. 基本項目

F1 次のそれぞれの項目について、あてはまるものに○印をつけてください。

①所属学部・学科	1. 体育学部 スポーツ教育学科 2. 体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 3. 健康福祉学部 健康福祉学科 4. 教育学部 教育学科小学校教育コース 5. 教育学部 教育学科保健体育教育コース
----------	--

②年次	1. 1年次 2. 2年次 3. 3年次 4. 4年次
③性別	1. 男 2. 女
④入学方法	1. AO入試 2. スポーツ特別AO入試 3. 推薦入試 4. 一般入試 5. 編入学入試
⑤課外活動 (クラブ・同好会)	1. 参加している 2. 参加していない
⑥居住形態	1. 自宅 2. 自宅外で一人生活 → 問1へ 3. 自宅外で共同生活 → 問1へ ↳ 問2へ

2. 住居と暮らしについて

問1 上記⑥で「自宅外」と回答した方にお聞きします。家賃等(共益費等含む)はいくらですか。

1. 3万円未満	2. 3万円～5万円未満	3. 5万円～7万円未満
4. 7万円～9万円未満	5. 9万円以上	

問2 大学への通学方法はどれですか。

1. 電車+バス	2. 電車+バイク	3. 電車+自転車	4. 自動車
5. バイク	6. 自転車	7. 徒歩	8. その他

問3 通学時間は、片道どれくらいですか。

1. 30分未満	2. 30分～60分未満	3. 60分～90分未満
4. 90分～120分未満	5. 120分以上	

問4 通学中に事故の経験がありますか。

- | | |
|---------------|-------|
| 1. ある → 問4-1へ | 2. ない |
|---------------|-------|

問4-1 どのような事故でしたか？(複数回答可)

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 自損事故(転倒など) | 2. 接触・衝突をした | 3. 接触・衝突をされた |
| 4. その他() | | |

問5 1ヶ月平均の生活費はいくらですか。(家賃等を除く)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 2万円未満 | 2. 2万円～4万円未満 | 3. 4万円～6万円未満 |
| 4. 6万円～8万円未満 | 5. 8万円以上 | |

問6 家族からもらう1ヶ月の平均金額はいくらですか。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 2万円未満 | 2. 2万円～4万円未満 | 3. 4万円～6万円未満 |
| 4. 6万円～8万円未満 | 5. 8万円以上 | |

問7 アルバイトの週平均労働時間数はいくらですか。

- | | |
|----------------|---------|
| 1. していない | → 問11へ |
| 2. 10時間未満 | } 問7-1へ |
| 3. 10時間～20時間未満 | |
| 4. 20時間以上 | |

問7-1 アルバイトの時間帯はどれですか。

- | | | |
|----------------------|--------------------|----------------------|
| 1. 午前中(6:00～12:00) | 2. 昼間(12:00～17:00) | 3. 夕方～夜(17:00～24:00) |
| 4. 深夜から早朝(0:00～6:00) | 5. その他 [] | |

問8 アルバイトの月平均収入はいくらですか。

- | | | |
|----------|--------------|--------------|
| 1. 4万円未満 | 2. 4万円～6万円未満 | 3. 6万円～8万円未満 |
| 4. 8万円以上 | | |

問9 アルバイトをする理由は何ですか。(複数回答可)

- | | | | | |
|------------------|-------|------------|--------|-------------|
| 1. 生活費 | 2. 学費 | 3. 課外活動費 | 4. 交際費 | 5. 旅行・レジャー費 |
| 6. 携帯電話・インターネット費 | | 7. その他 [] | | |

問14 1週間あたりの授業の予習・復習や課題をする時間はどれくらいですか。

1. 0時間	2. 1時間未満	3. 1時間～6時間未満
4. 6時間～11時間未満	5. 11時間～16時間未満	6. 16時間以上

問15 学習支援室の利用についてお聞きします。

1. よく行って利用している
2. たまに行って利用している
3. 学習支援室があるのを知っているが利用したことはない
4. 学習支援室があるのを知らない

問16 通信機器を持っていますか。(複数回答可)

1. 携帯電話	2. パソコン	3. タブレット端末	4. 持っていない
---------	---------	------------	-----------

問17 大学でのパソコンの利用目的はどれですか。(複数回答可)

1. 授業・演習・実習	2. レポート・課題作成	3. Eメール
4. 就職活動	5. クラブ・同好会の活動	6. ブログ・HP作成
7. ウェブページ閲覧	8. チケット予約・ショッピング・ネットオークション	
9. その他 []

問18 大学でのパソコンの主な利用場所はどこですか。

1. 大学図書館	2. キャリア支援センター	3. ゼミ室
4. その他 []

問19 大阪体育大学のGoogleポータルサイト(大学からの各種情報提供サイト)を知っていますか。

1. よく知っており、毎日アクセスしている	2. 名称は知っており、時々アクセスする
3. 名称を知らないし、アクセスしたこともない	

問20 Gmailを利用していますか。

1. 大学とプライベートの両方で利用している	2. 大学からの通信手段として利用している
3. 公私ともにあまり利用していない	

問21 Campusmateポータルサイト(休講情報や呼出し、セミナー情報等提供サイト)を知っていますか。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. よく知っており、毎日アクセスしている | 2. 名称は知っており、時々アクセスする |
| 3. 名称を知らないし、アクセスしたこともない | |

問22 問19、問20、問21で「1」または「2」と回答した方のみ、利用している媒体をお答え下さい。(複数回答可)

- | | | | |
|------------|------------|---------|------------|
| 1. 自宅のパソコン | 2. 大学のパソコン | 3. 携帯電話 | 4. タブレット端末 |
|------------|------------|---------|------------|

4. 課外活動等について

問23 学内の課外活動に参加していますか。

- | | | |
|----------------|---|--------|
| 1. クラブに参加 | } | 問23-1へ |
| 2. 同好会・サークルに参加 | | |
| 3. 参加していたがやめた | } | 問23-2へ |
| 4. 当初から参加していない | | |

問23-1 1週間あたりの活動時間はどれくらいですか。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 5時間未満 | 2. 5～10時間未満 | 3. 10～15時間未満 |
| 4. 15～20時間未満 | 5. 20時間以上 | |

問23-2 不参加の理由は何ですか。(複数回答可)

- | | | |
|------------------|-------------|-----------|
| 1. 練習・活動についていけない | 2. 人間関係 | 3. 経済的な負担 |
| 4. 時間的余裕がない | 5. 学業の妨げになる | 6. 面白くない |
| 7. 学外での活動に参加したい | | |
| 8. その他 [| |] |

問24 2年生以上の方にお聞きします。大学祭(兩山祭)に参加していますか。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 参加したことがある → 問25へ | 2. 参加したことがない → 問24-1へ |
|---------------------|-----------------------|

問24-1 不参加の理由は何ですか。

- | | | |
|-------------|----------|-------------|
| 1. クラブ等で忙しい | 2. 興味がない | 3. 内容が面白くない |
| 4. その他 [| |] |

5. 健康等について

問25 朝食を摂っていますか。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. ほとんど毎日摂る → 問25-1へ | 2. 週に2～3回摂る → 問25-1へ |
| 3. 摂らない → 問26へ | |

問25-1 朝食は主にどこで摂っていますか。

- | | | |
|------------|------------|---------------------------------|
| 1. 自宅または下宿 | 2. 大学の学生食堂 | 3. その他 [] |
|------------|------------|---------------------------------|

問26 三食の栄養摂取状況についてお答え下さい。(該当する物の数字をカッコ内に5つまで記入)

- | | | | |
|------------------|----------------------------------|--------|--------|
| 1. 主食(ご飯、麺類、パン等) | 2. 野菜 | 3. 肉類 | 4. 魚介類 |
| 5. 豆類(豆腐、納豆等) | 6. 卵 | 7. 海藻類 | 8. 乳製品 |
| 9. 果物 | 10. その他 [] | | |



朝食 ⇒	()	()	()	()	()
昼食 ⇒	()	()	()	()	()
夕食 ⇒	()	()	()	()	()

問27 食生活についてどう感じていますか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 1. 特に不満なし | 2. 食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない → 問27-1へ |
| 3. 食べたいものが食べられない | 4. 野菜が不足している |
| 5. 栄養が偏っている | 6. インスタントや加工食品が多い |
| 7. 何を食べたらよいか分からない | |

問27-1 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由は何ですか。

(複数回答可)

- | | | | |
|----------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 身近にない | 2. 時間的余裕がない | 3. 経済的余裕がない | 4. 作るのが面倒 |
|----------|-------------|-------------|-----------|

問28 本学が毎日実施している「100円朝食」について、お聞きします。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. ほぼ毎日利用している。 | 2. ときどき利用している。 |
| 3. たまに利用している。 | 4. 知っているが、利用したことがない。 |
| 5. 知らなかったので、利用したことがない。 | |

問28-1 「100円朝食」について、感じたことはどれですか。(複数回答可)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 100円朝食は良い試みなので、今後も継続してほしい。 |
| 2. 100円朝食に和・洋の2種類のメニューが選べるのが良い。 |
| 3. 100円朝食の1日60食は少ないので、増やしてほしい。 |
| 4. 100円朝食には、あまり関心がない。 |
| 5. 100円朝食は意味がないので、やめた方がよい。 |

問29 タバコについてお聞きします。

- | | | | |
|-------------|----------|-----------|----------|
| 1. 以前から吸わない | → 問30へ | 2. 今は吸わない | → 問29-1へ |
| 3. 現在喫煙している | → 問29-1へ | | |

問29-1 喫煙はいつごろから始めましたか。(問29-2へ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 大学入学前から吸っている | 2. 大学入学後から吸い始めた |
|-----------------|-----------------|

問29-2 喫煙のきっかけは何でしたか。(問29-3へ)

- | | | |
|----------------|-----------|-----------|
| 1. カッコいいから | 2. 友人のすすめ | 3. 先輩のすすめ |
| 4. いつの間にか吸っていた | 5. その他 [|] |

問29-3 禁煙をしたことがありますか。(問29-4へ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問29-4 学内が全面禁煙(喫煙場所がなくなる)になった場合どうしますか。

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 積極的に受け入れる | 2. 仕方なく受け入れる | 3. 受け入れできない |
|--------------|--------------|-------------|

問30 学内での喫煙・禁煙についてお聞きします。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 全面禁煙にすべき | 2. 喫煙場所での喫煙のみ認める |
|-------------|------------------|

6. 不安や悩みについて

問31 現在、悩みや課題はありますか。

- | | | |
|-------|---------|-----------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ほとんどない |
|-------|---------|-----------|

問32 悩みや課題の具体的内容は何ですか。(複数回答可)

- | | | | |
|-----------|------------|-------------|---------|
| 1. クラブ活動 | 2. 学業 | 3. 就職・進路など | 4. 対人関係 |
| 5. 身体上の健康 | 6. 精神上的の健康 | 7. 家族の問題 | 8. 学生生活 |
| 9. 恋愛 | 10. ハラスメント | 11. 悩み・課題なし | |
| 12. その他 [| | |] |

問33 悩みは誰に相談しますか。(複数回答可)

- | | | | |
|-----------|---------------|-------------|----------|
| 1. 家族 | 2. 大学の友人 | 3. 高校までの友人 | 4. 大学の教員 |
| 5. 学生相談室 | 6. キャリア支援センター | 7. 教職支援センター | 8. 教学部 |
| 9. 身近にいない | 10. 誰にも相談しない | 11. その他 [|] |

問34 学生相談室についてお答え下さい。

- | |
|-----------------------|
| 1. 利用したことがある |
| 2. 存在は知っているが利用したことはない |
| 3. 存在を知らないので利用したことがない |

7. マナー等について

問35 マナーアップキャンペーンについてお答え下さい。

- | |
|------------------------|
| 1. 参加したことがある |
| 2. キャンペーンをしていることは知っている |
| 3. 全然知らない |

問35-1 マナーアップキャンペーンに5回参加したら「活動参加証明書」をもらえるのを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問36 あなたが悪いと思う学生のマナーをお答え下さい。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------------|
| 1. 授業中の私語 | 2. 授業中の携帯電話 | 3. 教室内での飲食 |
| 4. ゴミの捨て方 | 5. 食堂でのマナー | 6. 通学時のバイク等の交通マナー |
| 7.ロッカーの整理・整頓 | 8. その他 [|] |

問37 あなたは学内で何らかの被害にあったことがありますか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. かばん、服、靴などの盗難被害 | 2. 財布・現金等の盗難被害 |
| 3. 自動車・バイク・自転車の盗難被害 | 4. 痴漢・のぞき等被害 |
| 5. 暴行・傷害被害 | 6. ストーカー被害 |
| 7. 霊感、マルチなどの悪徳商法の被害 | 8. 新興宗教などへの強引な勧誘被害 |
| 9. いじめ被害 | 10. その他被害 [|
| 11. 被害にあったことはない |] |

8. 進路と就職について

問38 あなたの進路についてお答え下さい。

- | | | |
|----------|---------|-------------|
| 1. 進学する | 2. 就職する | 3. まだ決めていない |
| 4. その他 [|] | |

問39 あなたの進路を考える上での情報の入手手段は何ですか。(複数回答可)

- | | | | |
|---------------|--------------------------|------------|---------------|
| 1. 指導教員(ゼミ) | 2. クラブ指導教職員 | 3. 先輩・知人 | |
| 4. 就職情報誌・マスコミ | 5. 家族 | 6. インターネット | 7. キャリア支援センター |
| 8. 教職支援センター | 9. 授業(キャリアセミナー、キャリアデザイン) | | |
| 10. キャリアフェスタ | 11. その他 [|] | |

問40 あなたの将来の希望職種は何ですか。(複数回答可)

- | | | | |
|-------------|----------------------|------------|-----------|
| 1. 教員 | 2. 警察官 | 3. 消防士 | 4. その他公務員 |
| 5. 企業 | 6. 生涯スポーツ(フィットネス等)関係 | 7. 医療・福祉関係 | |
| 8. プロ・実業団選手 | 9. その他 [|] | |

問41 あなたはキャリア支援センターを利用していますか。

- | | | | |
|----------------|----------|--------------|----------|
| 1. よく利用している | → 問41-1へ | 2. たまに利用している | → 問41-1へ |
| 3. ほとんど利用していない | → 問41-2へ | | |

問41-1 キャリア支援センターをどのように利用していますか。(複数回答可)

- | | | |
|----------------------------------|---------------------|---------------|
| 1. 進路相談をする | 2. 面接練習をする | 3. 書類を添削してもらう |
| 4. 書籍・参考書を閲覧する | 5. 求人票(紙媒体)の閲覧をする | |
| 6. 新聞、朝刊・夕刊のトピックスを閲覧する | 7. PCを利用する | |
| 8. 企業内定者、公務員合格者のメッセージを閲覧する | 9. 大体大キャリアNAVIを使用する | |
| 10. 講座・模試(公務員、企業、SPI、TOEIC)へ参加する | | |
| 11. その他 [|] | |

問41-2 キャリア支援センターを利用していない理由は何ですか。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. キャリア支援センターの存在を知らない | 2. 利用方法が分からない |
| 3. 利用しても役に立たないと思う | 4. その他 [] |

問42 あなたは教職支援センターを利用していますか。

- | | | | |
|----------------|----------|--------------|----------|
| 1. よく利用している | → 問42-1へ | 2. たまに利用している | → 問42-1へ |
| 3. ほとんど利用していない | → 問42-2へ | | |

問42-1 教職支援センターをどのように利用していますか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 教育実習・介護等体験などの相談をする | |
| 2. 教員採用試験など、教員採用に関する相談をする | |
| 3. 面接・模擬授業の練習をする | 4. 書類を添削してもらう |
| 5. 資料を閲覧する | 6. その他 [] |

問42-2 教職支援センターを利用していない理由は何ですか。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 教職支援センターの存在を知らない | 2. 利用方法が分からない |
| 3. 利用しても役に立たないと思う | 4. その他 [] |

問50 大学の施設で気になるのは何ですか。(複数回答可)

- | | | |
|------------------|------------------|-----------------|
| 1. 教室が狭い | 2. 教室の冷暖房の効が悪い | 3. 教室のAV機器設備が古い |
| 4. コンピューター環境が不十分 | 5. 駐輪場が少ない | 6. 食堂が狭くて混雑がひどい |
| 7. 食堂のメニューが少ない | 8. 自由に過ごせる場所が少ない | 9. 体育施設が少ない |
| 10. その他 [| |] |

問51 大学事務局の窓口の対応をどう思いますか。

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満足である | 5. 不満足である | |

問52 大阪体育大学の学生生活に満足していますか。

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満足である | 5. 不満足である | |

11. 大学への意見・要望

(満足な点、不満足な点などを自由に記述して下さい。)

--

ご協力ありがとうございました。

平成30年度 学生生活実態調査 報告書

平成31年3月

編集・発行 大阪体育大学 学生委員会
教学部学生支援担当
